

令和7年度
秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査

調査報告書

令和8年3月

秋田市 観光文化スポーツ部 スポーツ振興課

<目 次>

I アンケート調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 実施方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 回答状況	1
(6) 調査結果の表示方法	1
II 調査結果の概要	2
(1) あなたご自身について	2
(2) 健康について	2
(3) 運動やスポーツについて	2
(4) 秋田市にあるスポーツ施設について	3
(5) 八橋運動公園の利用について	3
(6) 秋田市などが主催するスポーツ・レクリエーション行事について.....	4
(7) スポーツクラブや同好会について	4
(8) スポーツボランティアについて	4
(9) トップスポーツクラブについて	4
(10) パラスポーツ（障がい者スポーツ）について	5
(11) スポーツ推進委員について	5
(12) 今後の本市のスポーツ振興策について	5
III 調査結果	6
(1) 回答者の属性	6
(2) 健康について	9
(3) 運動やスポーツについて	18
(4) 秋田市にあるスポーツ施設について	49
(5) 八橋運動公園の利用について	55
(6) 秋田市が主催するスポーツ・レクリエーション行事について.....	62
(7) スポーツクラブや同好会などについて	67
(8) スポーツボランティアについて	72
(9) トップスポーツクラブについて	77
(10) パラスポーツ（障がい者スポーツ）について	83
(11) スポーツ推進委員について	86
(12) 今後の本市のスポーツ振興施策について	91
IV これまでの取り組みと課題	101
(1) スポーツを『みずから』楽しむことができているか.....	102
(2) スポーツを『みて』楽しむことができているか.....	103
(3) スポーツを『みんなで』楽しむことができているか.....	104

資料	105
自由記述意見	105
秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査票	106

I アンケート調査の概要

(1) 調査の目的

本アンケート調査は、令和8年度に策定する「(仮称)第5次秋田市スポーツ振興マスタープラン」の基礎資料として、「第4次秋田市スポーツ振興マスタープラン」に掲げる施策の評価や市民のスポーツに関する意識等を把握するため実施した。

(2) 調査対象

令和7年10月1日時点で、住民基本台帳から無作為抽出された20歳以上の男女3,000人

(3) 実施方法

郵送およびインターネットによる無記名式アンケート

(4) 調査期間

令和7年11月4日から令和7年11月25日まで

(5) 回答状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000 通	1,262 通	42.1%

(6) 調査結果の表示方法

- 調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数または属性分類別の回答者数を示している。
- 回答の構成比は百分率であらわし、小数第2位を四捨五入して算出している。
- 単回答の設問の場合、小数第2位を四捨五入しているため、回答割合の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選べる方式）の設問の場合、各設問の調査数を基数として回答比率を算出するため、選択肢の回答割合の合計は100.0%を超える場合がある。
- 調査票における設問や選択肢の語句などを短縮・簡略化して表記している場合がある。
- 前回調査（令和2年度実施）、前々回調査（平成27年度実施）と同様の設問があった場合には、全体回答について前回調査・前々回調査との比較を行っている。
- 前回調査・前々回調査と同種の設問があっても、設問文章や選択肢の内容・数、選択肢の選択個数（複数回答設問の場合）などが異なる場合には、原則として比較は行わない。
- 今回調査で新設された質問には質問番号の前に「罇」印を、また、新設された選択肢（変更を除く）にはグラフ中の選択肢に「○」印を、それぞれ表記している。

Ⅱ 調査結果の概要

(1) あなたご自身について

- ・ お住まいの地域は、中央地域、北部地域がそれぞれ全体の5分の1以上を占め、東部地域、西部地域、南部地域はそれぞれ1割台となっている。河辺地域と雄和地域はともに1割未満の極めて低い割合となっている。
- ・ 年代は、70歳以上が3割台となっており、60～69歳が2割台、40～49歳、50～59歳がそれぞれ1割台、20～29歳、30～39歳がそれぞれ1割未満となっている。
- ・ 性別は、女性が5割を超え、男性に比べて高い割合となっている。
- ・ 職業は、会社員が2割台後半で最も割合が高くなっている。

(2) 健康について

- ・ 自身が“健康である”（「健康である」+「まあまあ健康である」）と答えた方の割合は8割台と高いものの、前回調査結果に比べて低下している。
- ・ 心身の状況への不安度については、「体力のおとろえについて」が77.9ポイントで最も高く、「運動不足」が63.3ポイントで続いている。最も不安度が低いのは「体重や体脂肪率の増加について」で、19.4ポイントとなっている。
- ・ 健康を保つために心掛けていることでは、「睡眠・休養を十分とる」の割合が5割台で最も高くなっている。
- ・ 休日における1日の余暇時間は「8時間以上」の割合が3割台、「5～8時間」が2割台後半で、これらを合わせた“5時間以上”は6割台となっている。

(3) 運動やスポーツについて

- ・ 運動やスポーツをすることが“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と答えた人の割合は6割台後半と高いものの、前回調査から低下している。
- ・ 運動やスポーツを観ることが“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と答えた人の割合は8割台と高く、前回調査から上昇している。
- ・ この1年間に何らかの運動やスポーツをやったかについて「はい」と答えた人の割合は6割台となり、前回調査から上昇している。
- ・ どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをやっているかについては、「運動不足の解消」、「健康や体力の保持、増進」の割合が6割台となり、この2つが特に高くなっている。
- ・ この1年間にやった運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」の割合が4割台後半で突出して高く、これに「軽い体操（ラジオ体操など）」が2割台、「器具を使ったトレーニング」、「ランニング・ジョギング」が1割台で続いている。
- ・ 運動やスポーツをどの時間帯にやっているかについては、平日、休日ともに「午前」の割合が3割前後で最も高くなっている。
- ・ 運動やスポーツを今後どの程度行いたいかについては、「今以上にしたい」と「今の程度でよい」の

割合が、ともに4割台後半となっている。

- ・ この1年間運動やスポーツをやらなかった理由は、「機会がないから」の割合が3割台後半で、最も高くなっている。
- ・ この1年間運動やスポーツをやっていない人のうち4割以上の方は、条件などが整えば、今後運動やスポーツをやりたいと答えている。
- ・ 今後やみたい運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」の割合が3割台で突出して高く、これに「軽い体操（ラジオ体操など）」、「器具を使ったトレーニング」が2割台で続いている。

(4) 秋田市にあるスポーツ施設について

- ・ 運動やスポーツをする際に施設や場所を“確保できる”（「いつも確保できる」+「だいたい確保できる」）と答えた人の割合は7割台と高いものの、前回調査に比べて低下している。
※「運動やスポーツをしていないのでわからない」と「無回答」を除いた“施設利用者”の回答
- ・ 身近な場所に運動やスポーツを気軽に楽しめる施設はあるかについては、「わからない」の割合が4割台で最も高く、「十分にある」と“不足”（「不足している」+「やや不足している」）はそれぞれ2割台となっている。また、“不足”と回答した人が不足していると思うスポーツ施設については、「屋内多目的運動場」の割合が4割台後半で最も高くなっている。
- ・ 身近なスポーツ施設をつくるとしたら、どのような機能をもった施設を望むかについては、「気兼ねな遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」の割合が6割台で最も高く、「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」が5割台で続いており、この2つが特に高くなっている。

(5) 八橋運動公園の利用について

- ・ どの程度訪れるかについては、「ほとんど訪れることはない」の割合が8割台と、特に高くなっている。
- ・ 1回あたりの滞在時間については、「1時間未満」の割合が4割台と、特に高くなっている。
- ・ 訪れる目的については、「散歩（ペットとの散歩含む）・ジョギング」の割合が1割台後半で最も高く、「アマチュアスポーツ観戦」、「プロスポーツ観戦」が1割台前半で続いている。
- ・ 試合観戦前後の飲食については、試合前では「キッチンカー」の割合が4割台で最も高く、「飲食しない」が2割台後半で続いている。試合後では、「飲食しない」の割合が5割を超え、特に高くなっている。
- ・ どのような交通手段で来るかについては、「自家用車（自分で運転）」の割合が4割台と、特に高くなっている。
- ・ 追加や充実させてほしい機能については、「駐車場」の割合が4割台と最も高く、「屋外トイレ」が2割台、「売店」、「飲食スペース」が1割台後半で続いている。

(6) 秋田市などが主催するスポーツ・レクリエーション行事について

- ・ この1年間に秋田市や各地域、町内会およびPTAなどが開催したスポーツ・レクリエーション行事に参加したことが「ある」と答えた人の割合は1割台前半であるものの、前回調査に比べて上昇している。
- ・ 「ない」と答えた人の参加しなかった理由では「そのような行事を知らなかった」の割合が3割台後半で最も高くなっている。
- ・ 「ない」と答えた人が今後どのような行事に参加したいかについては、「健康づくり的行事」の割合が2割台後半で最も高くなっている。

(7) スポーツクラブや同好会について

- ・ スポーツクラブや同好会、サークルに「加入している」と答えた人の割合は1割台前半となっている。
- ・ 「加入している」と答えた人の加入しているクラブや同好会、サークルの形式では、「広く同好者でつくるクラブや同好会」の割合が3割台後半で最も高く、「地域の仲間をつくるクラブや同好会」、「民間スポーツクラブなどが開設している会員制のクラブ」が2割台で続いている。
- ・ 「加入していない」と答えた人の加入していない理由では、「自分のペースでやりたいから」、「時間がない(忙しい)から」の割合がともに3割台となっている。

(8) スポーツボランティアについて

- ・ 過去1年間に何らかのスポーツに関わるボランティアを行ったことが「ある」と答えた人の割合は1割未満で、前回調査結果に比べて低下している。
- ・ 「ある」と答えた人の行ったボランティアの内容については、「その他の大会・イベントの手伝い」の割合が3割台で、「スポーツの審判・役員」、「団体・クラブ運営の手伝い」、「スポーツの指導・コーチ」の3つがいずれも2割台で続いている。
- ・ 「ない」と答えた人のうち、機会があれば行いたいと思う人の割合は1割未満で、その8割近い人が「大会・イベントの手伝い」を行いたいと答えている。

(9) トップスポーツクラブについて

- ・ この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことが「ある」と答えた人の割合は1割台であるが、前回調査結果に比べて上昇している。
- ・ 「ある」と答えた人の観戦したトップスポーツについては、「秋田ノーザンハピネッツ」の割合が5割台で最も高く、「ブラウブリッツ秋田」は3割台、「秋田ノーザンブレッツ」は1割となっている。
- ・ 「ない」と答えた人の観戦しなかった理由については、「テレビなどで観戦するから」、「仕事や家事、学業が忙しいから」の割合が3割台となっている。

(10) パラスポーツ（障がい者スポーツ）について

- ・ 障がい者スポーツにどのような競技・種目があるかを“知っている”（「だいたい知っている」+「少し知っている」）と答えた人の割合は6割近くになっている。
- ・ 障がい者スポーツをより多くの人に知ってもらうために必要な取り組みとしては、「秋田市で大きな大会を開催する」と「体験型のイベントを開催する」の割合が4割台で高くなっている。

(11) スポーツ推進委員について

- ・ スポーツ推進委員を各地域に配置していることを「知っていた」人の割合は1割未満で、前回調査に比べて若干低下している。
- ・ スポーツ推進委員に地域でどんな活動をしてほしいかについては、「教室・大会・イベントなどの催しについて」に関するものの割合が、4割近くで最も高くなっている。（自由記述集計）
- ・ 「知っていた」と答えた人がどこで知ったかについては、「秋田市が主催や共催するイベント」の割合が4割台で最も高くなっている。

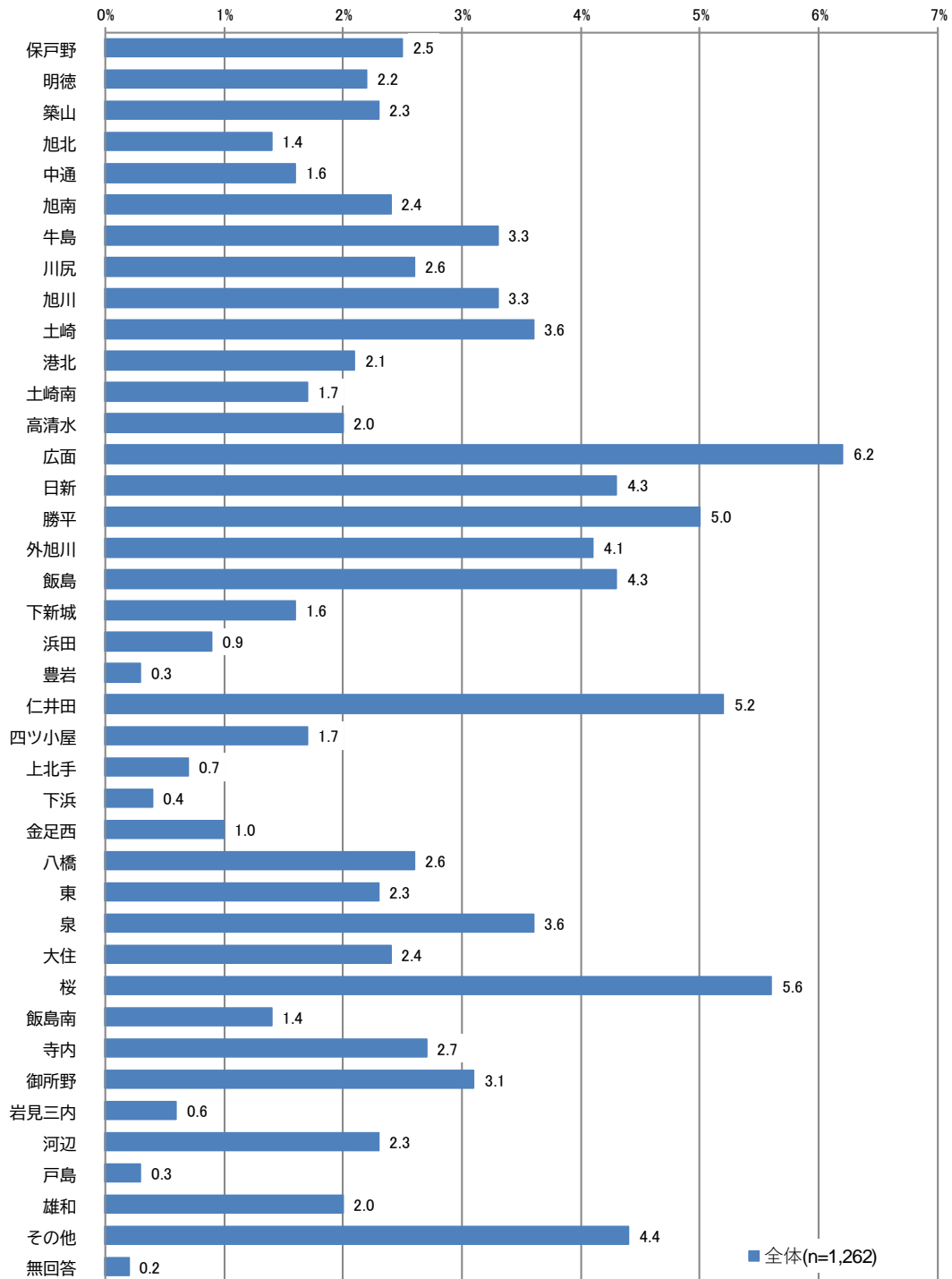
(12) 今後の本市のスポーツ振興策について

- ・ 今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の拡大や地域のにぎわい創出を図るためには何が必要だと思うかについては、「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」の割合が3割台後半で最も高くなっている。
- ・ 多くの市民が気軽に参加でき、地域の活性化につながるものとして具体的にどのようなイベントや大会などがあればよいと思うかについて自由記述意見を整理すると、「レジャー、レクリエーション、お祭り要素」が2割台、「特典」、「体験、教室」、「無料」、「アプリ活用」がそれぞれ1割台となっており、多くの意見がこうした要素を複数個組み合わせた内容となっている。
- ・ 「働き盛り世代」のスポーツ実施率を高めるために必要なことについては、「様々な運動ができる施設の整備」の割合が4割台で最も高くなっている。
- ・ 秋田市におけるスポーツ振興に関する意見や要望については、「未就学児・小学生のスポーツについて」が69件で最も多く、指導者に関する意見が多く寄せられた。そのほか、「スポーツ施設について」が68件、「高齢者のスポーツについて」が58件、「八橋運動公園について」が53件で続いている。（延べ回答件数：518件）

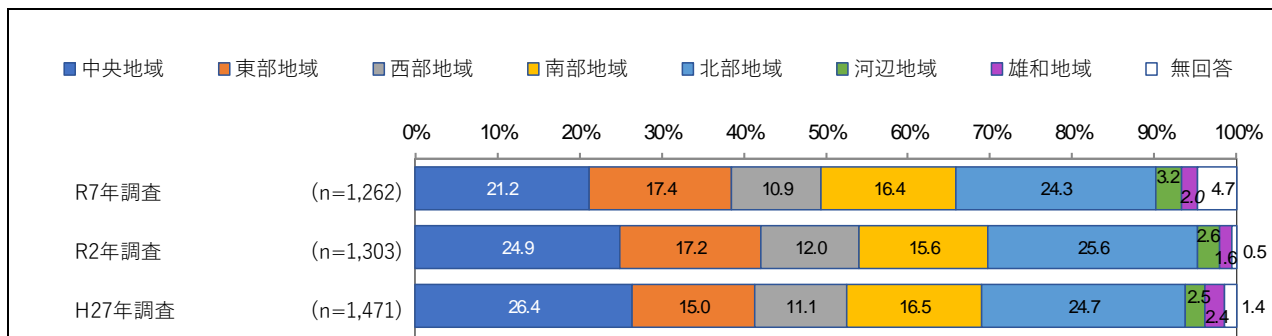
Ⅲ 調査結果

(1) 回答者の属性

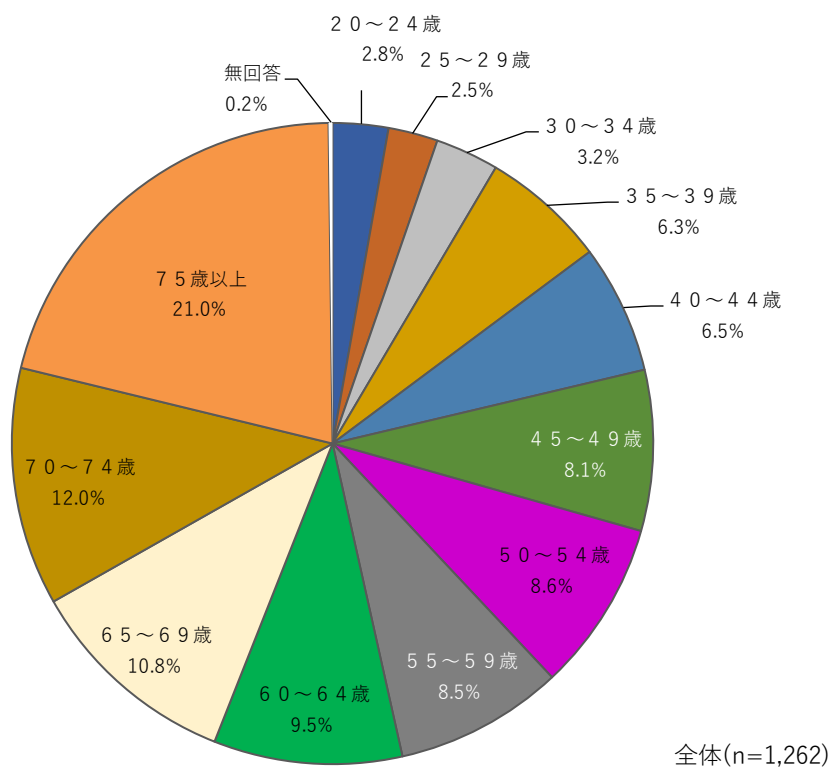
① お住まいの学区（小学校区）【問1】



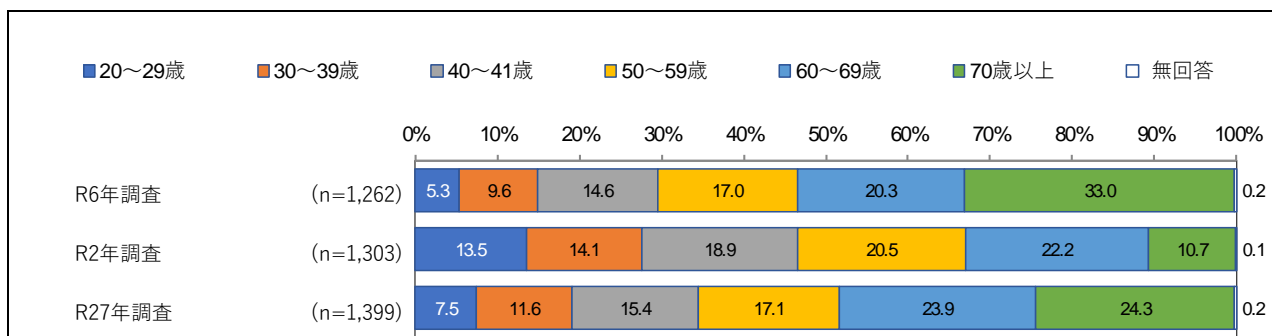
② お住まいの地域【①より分類】



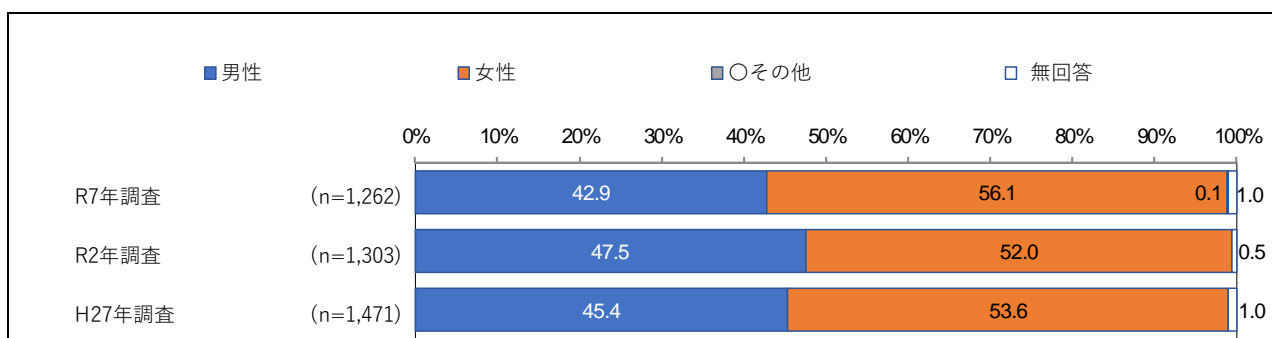
③ 年齢【問2】



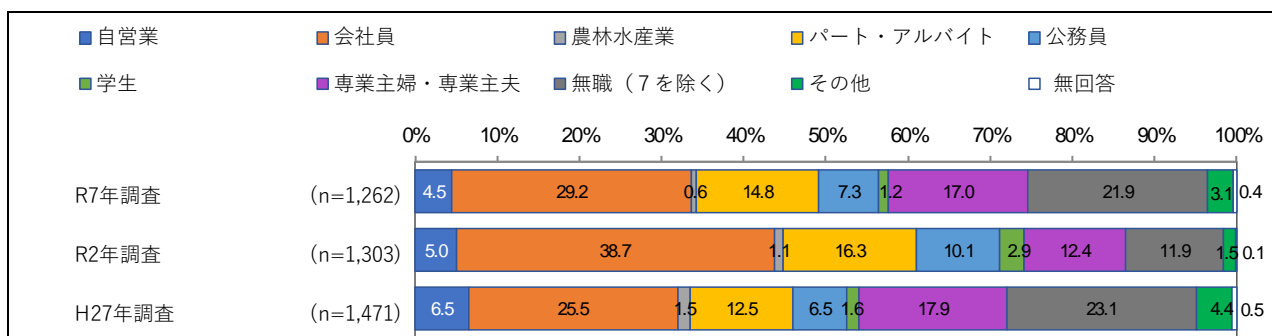
④ 年齢【③より分類】



⑤ 性別【問3】



⑥ 職業【問4】

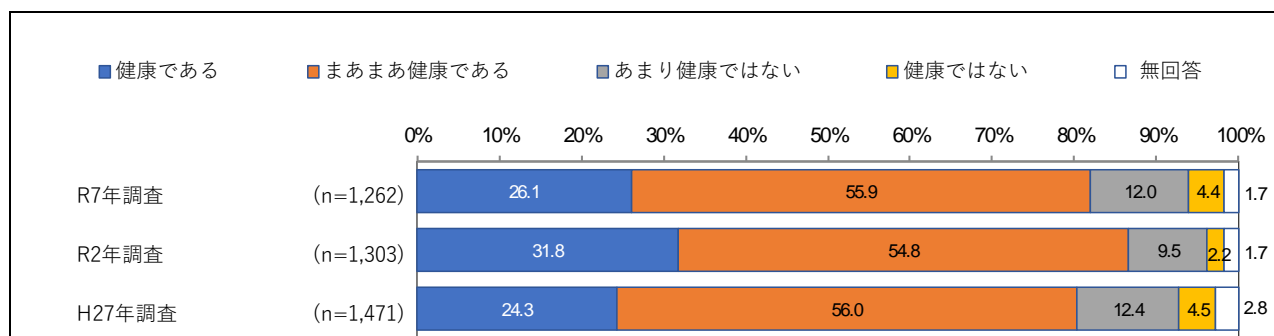


(2) 健康について

問5 あなたは、ご自身の健康についてどのようにお考えですか？（当てはまる番号1つに○）

自分の健康については、「健康である」（26.1%）と「まあまあ健康である」（55.9%）を合わせた“健康である”の割合が82.0%と8割台を占めた。一方、「健康ではない」（4.4%）と「あまり健康ではない」（12.0%）を合わせた“健康ではない”の割合は16.4%と低い割合となった。

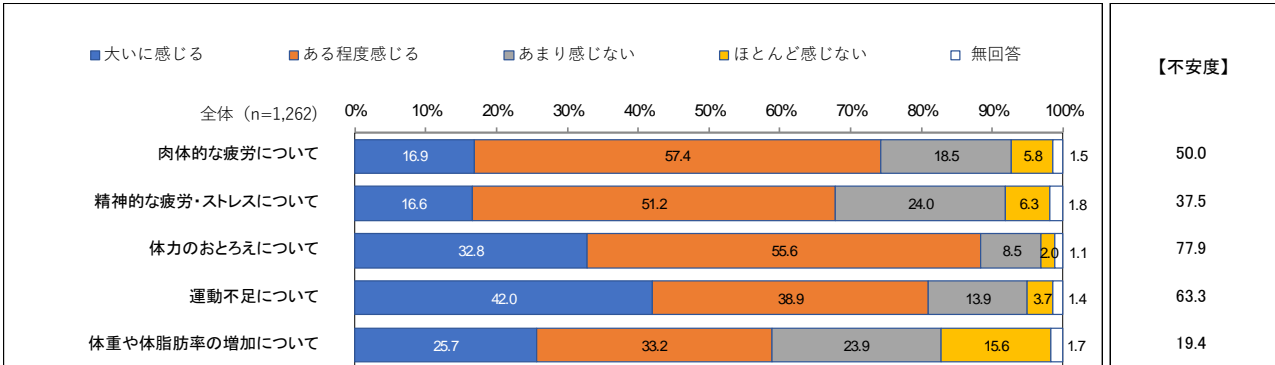
前回調査と比較すると、“健康である”の割合が4.6ポイント低下した一方、“健康でない”の割合は4.7ポイント上昇している。



問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

肉体的な疲労など5項目の実感については、「大いに感じる」と「ある程度感じる」を合わせた“感じる”（問6（1）～（5）についても同じ）の割合は、「体力のおとろえ」が88.4%と最も高く、「運動不足」が80.9%、「肉体的な疲労」が74.3%で続いている。それらに続いて、「精神的な疲労・ストレス」が67.8%、「体重や体脂肪の増加」が58.9%といずれも半数を超えている。

以下の方法で算出した【不安度】については、「体力のおとろえ」が77.9ポイントと最も高く、一方、「体重や体脂肪率の増加」では19.4ポイントと最も低くなっている。



※不安度の算出方法

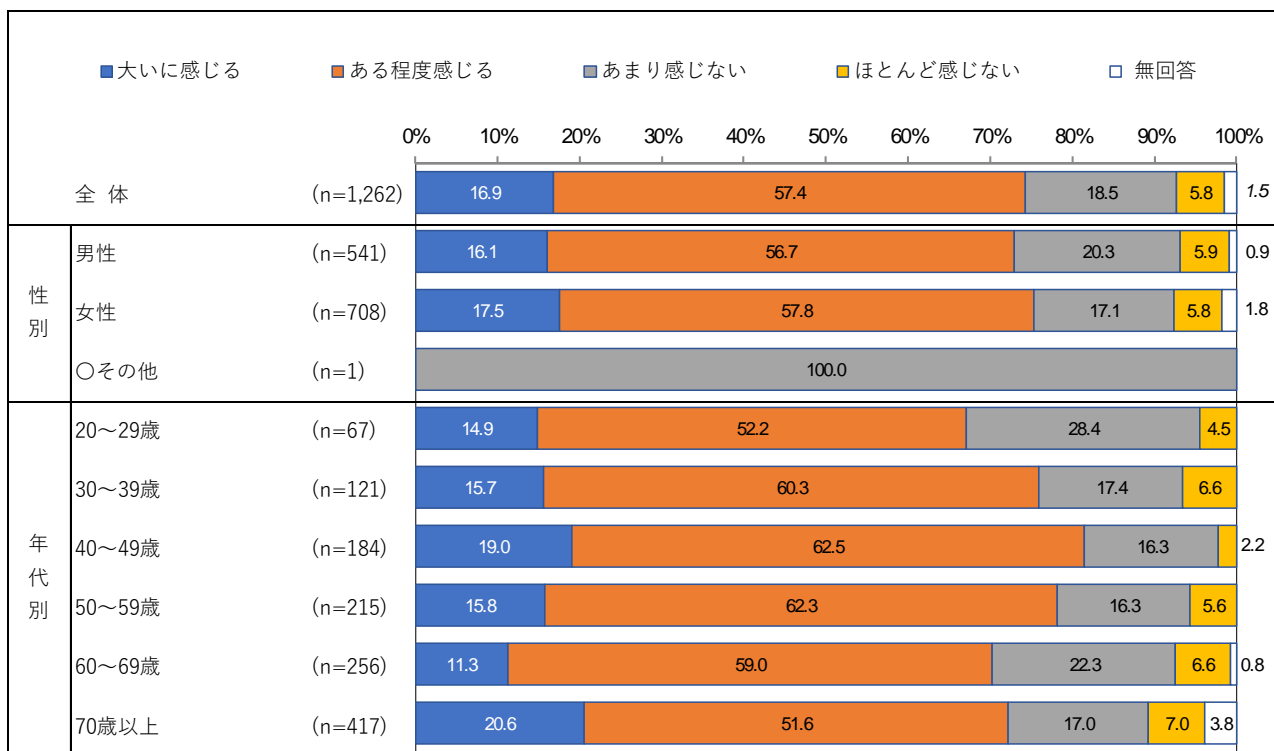
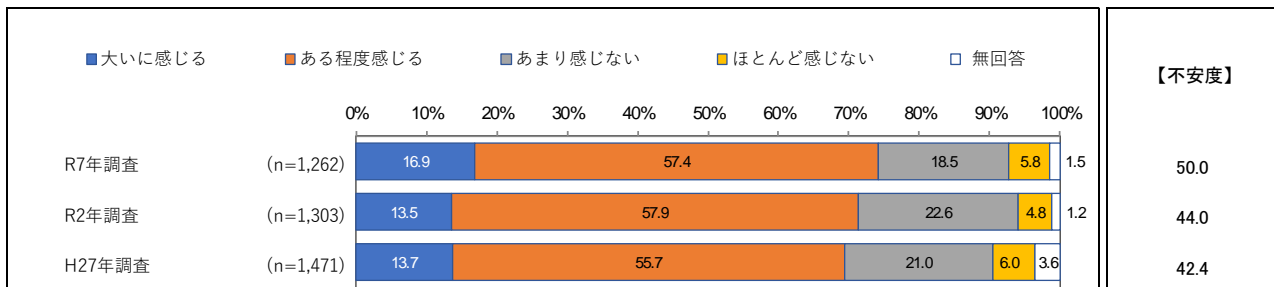
不安度は、「大いに感じる」と「ある程度感じる」の割合の合計から、「あまり感じない」と「ほとんど感じない」の割合の合計を引いて算出している。

問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 肉体的な疲労

肉体的な疲労を“感じる”の割合は74.3%で、この割合は前回調査(71.4%)に比べて2.9ポイント上昇している。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性72.8%、女性75.3%と、どちらも7割を超えている。
年代別にみると、“感じる”の割合はすべての年代で6割を超えている。

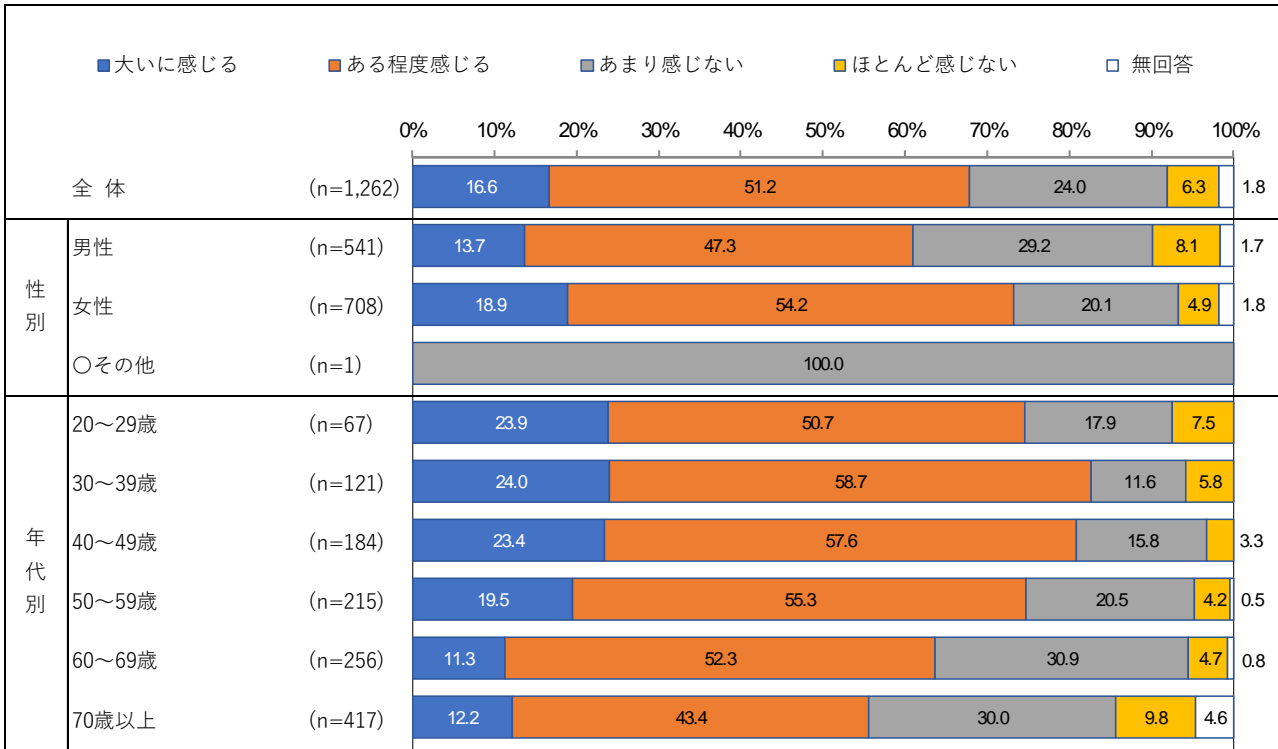
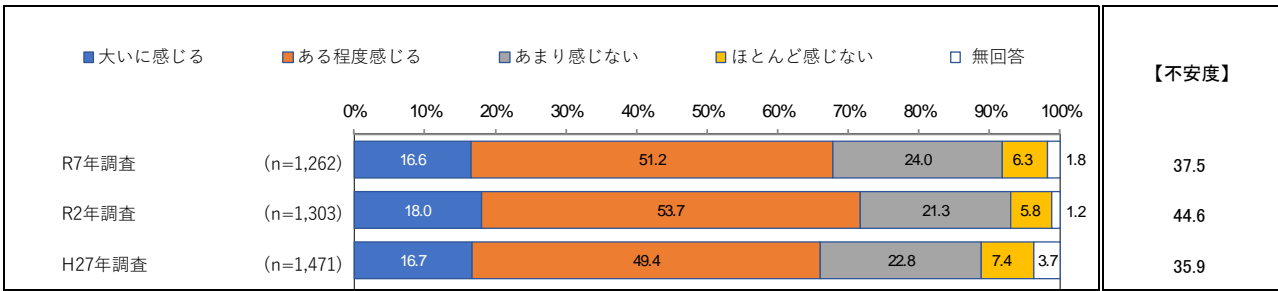


問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (2) 精神的な疲労・ストレス

精神的な疲労・ストレスを“感じる”の割合は67.8%で、この割合は前回調査(71.7%)に比べて3.9ポイント低下している。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性で61.0%、女性では73.1%とともに高いものの、女性の方が10ポイント以上高くなっている。

年代別にみると、“感じる”の割合は50～59歳までの各年代ではいずれも7割以上ながら、60～69歳は6割台、70歳以上では5割台と、60代以上で年代が上がるにつれて低下している。

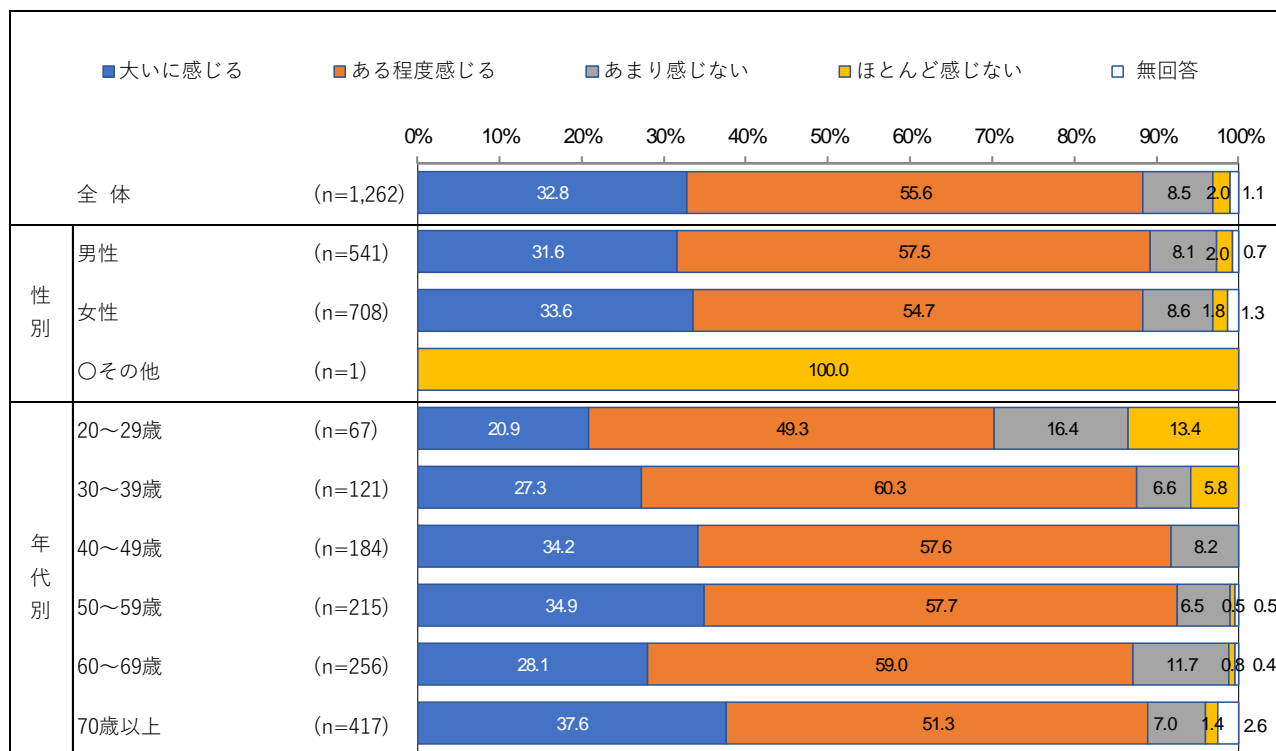
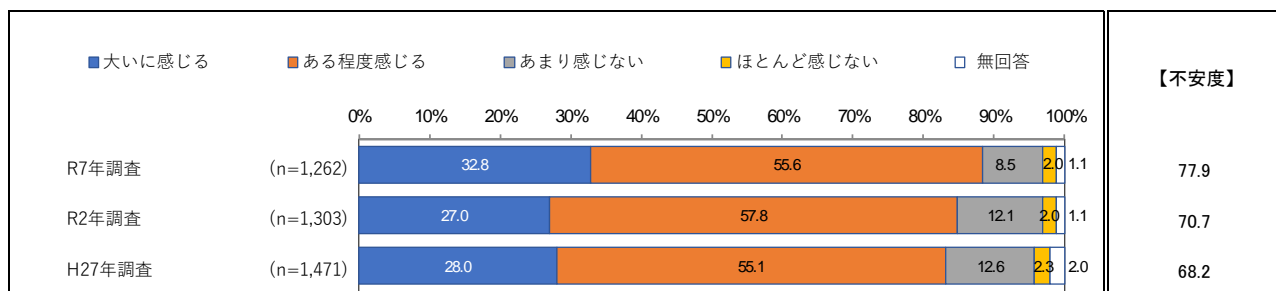


問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (3) 体力のおとろえ

体力のおとろえを“感じる”の割合は88.4%で、この割合は前回調査(84.8%)に比べて3.6ポイント上昇している。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性89.1%、女性88.3%と、どちらも8割台とほぼ同様の割合となっている。

年代別にみると、“感じる”の割合は20～29歳が7割台で最も低く、40～49歳、50～59歳では9割を超え、以降60～69歳、70歳以上で8割台後半となっている。

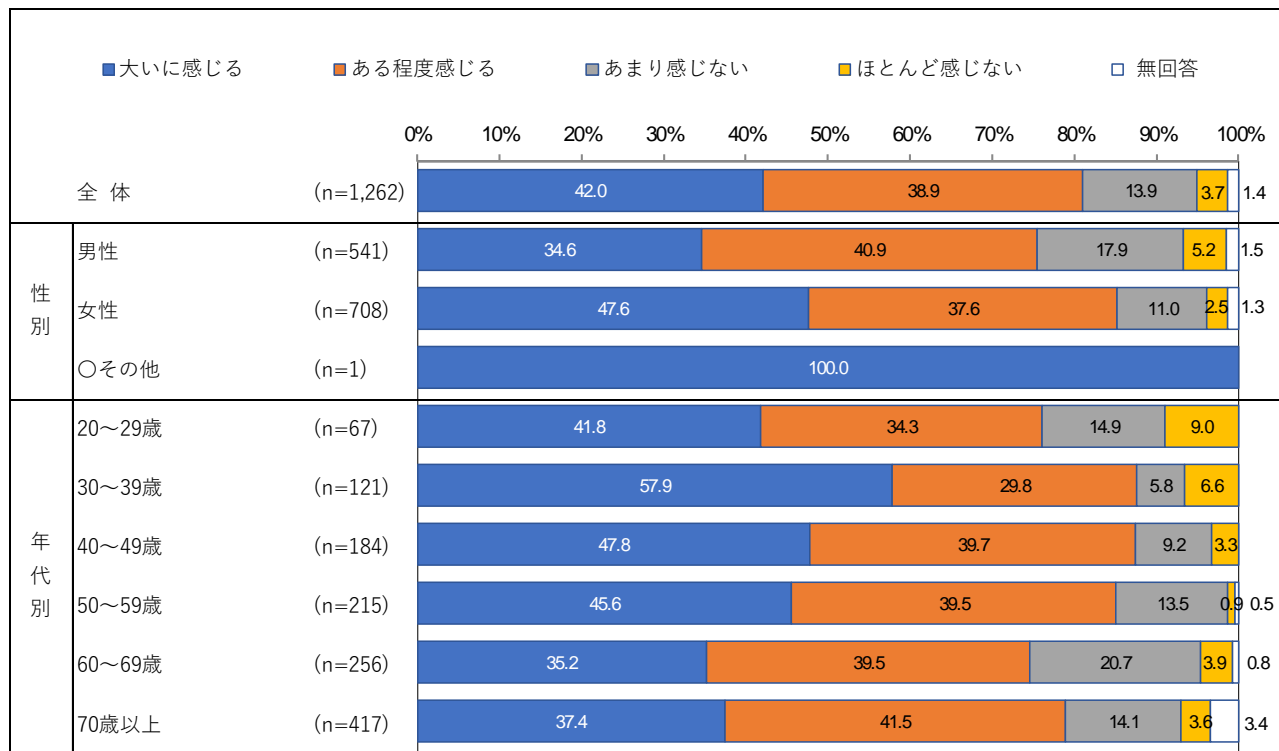
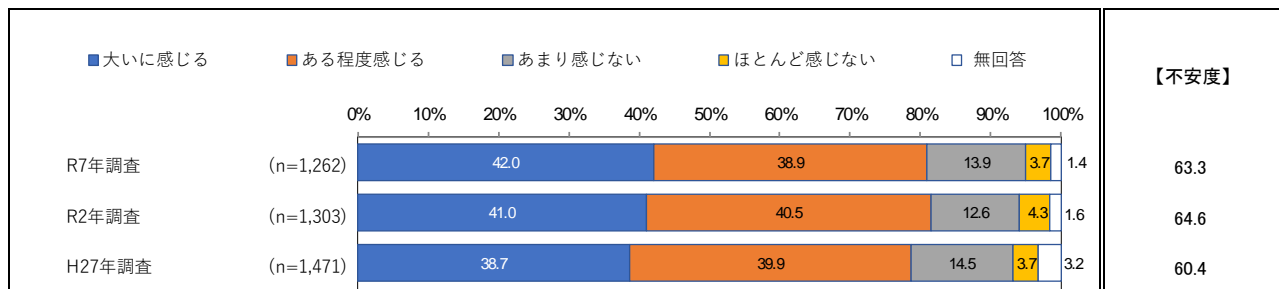


問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (4) 運動不足

運動不足を“感じる”の割合は80.9%で、この割合は前回調査(81.5%)に比べて0.6ポイント低下している。

男女別にみると、“感じる”の割合は、男性で75.5%、女性では85.2%とともに高いものの、この割合は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、“感じる”の割合は、いずれの年代でも7割以上となり、30～39歳、40～49歳、50～59歳では8割を超えている。

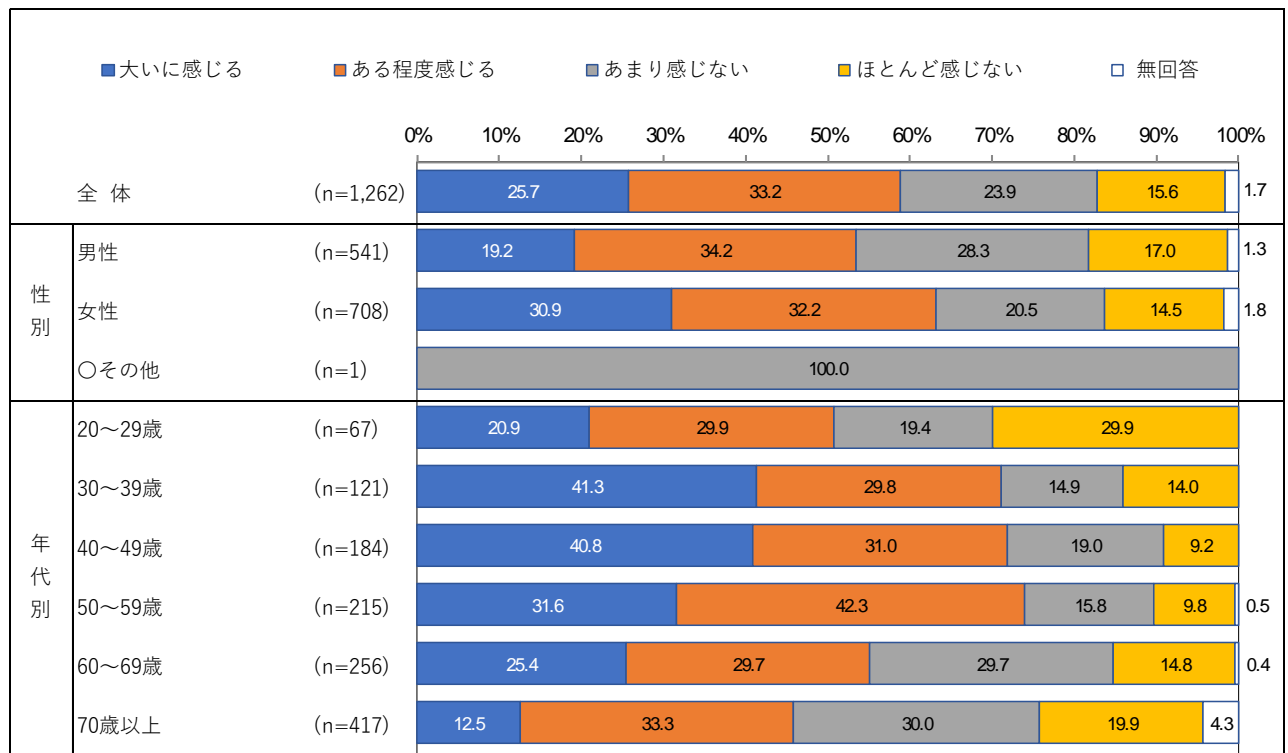
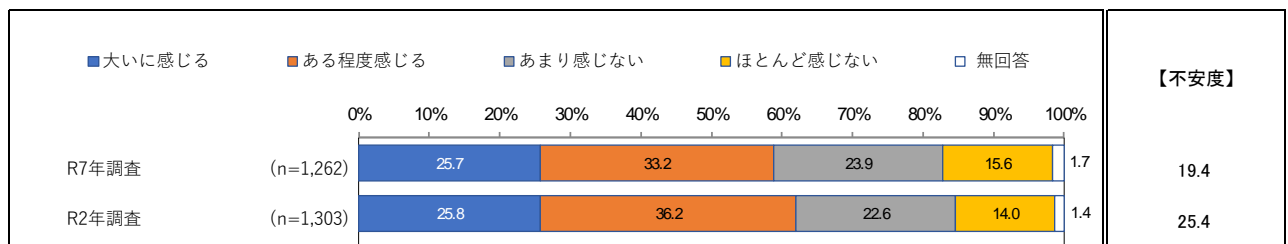


問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。
 (5) 体重や体脂肪率の増加

体重や体脂肪率の増加を“感じる”の割合は58.9%でこの割合は前回調査(62.0%)に比べて3.1ポイント低下している。

男女別にみると、“感じる”の割合は男性で53.4%、女性では63.1%とともに5割以上となっており、女性の方が高くなっている。

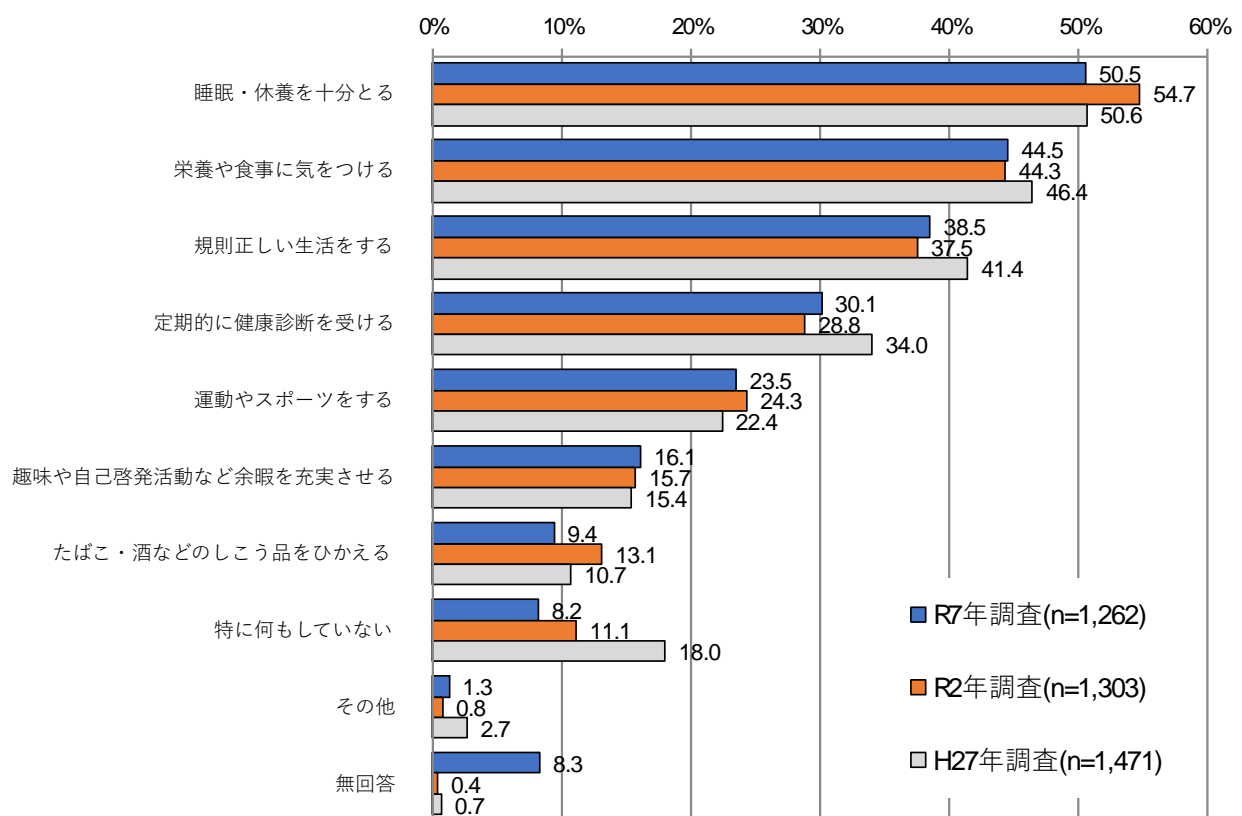
年齢別にみると、“感じる”の割合は30～39歳、40～49歳、50～59歳で7割台、20～29歳、60～69歳で5割台となっている。



問7 あなたは、健康を保つために心がけていることはありますか？（主なもの3つまでに○）

健康を保つために心がけていることについては、「睡眠・休養を十分とる」の割合が50.5%と5割以上で最も高く、「栄養や食事に気をつける」(44.5%)が4割台で続き、以下は「規則正しい生活をする」(38.5%)、「定期的に健康診断を受ける」(30.1%)、「運動やスポーツをする」(23.5%)などの順となった。

前回調査と比較すると、「睡眠・休養を十分とる」の割合が4.2ポイント低下した一方、「栄養や食事に気をつける」、「規則正しい生活をする」、「定期的に健康診断を受ける」の割合は上昇した。

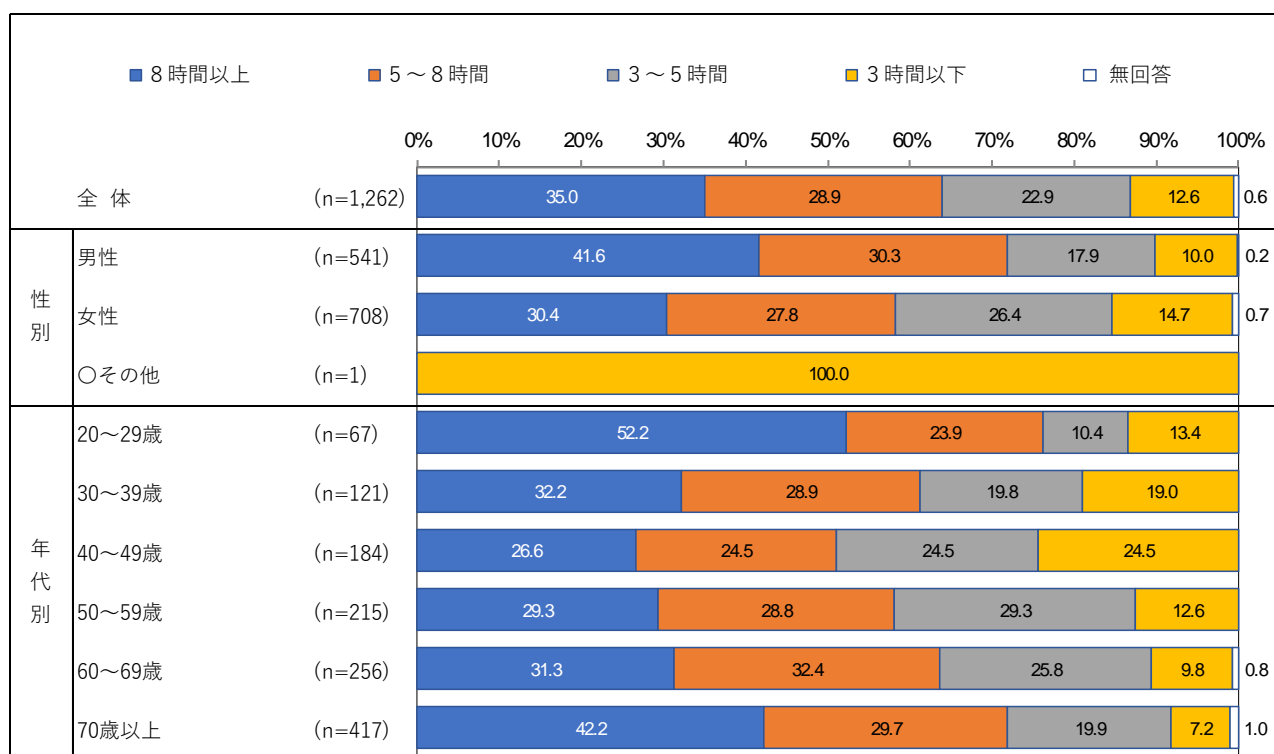
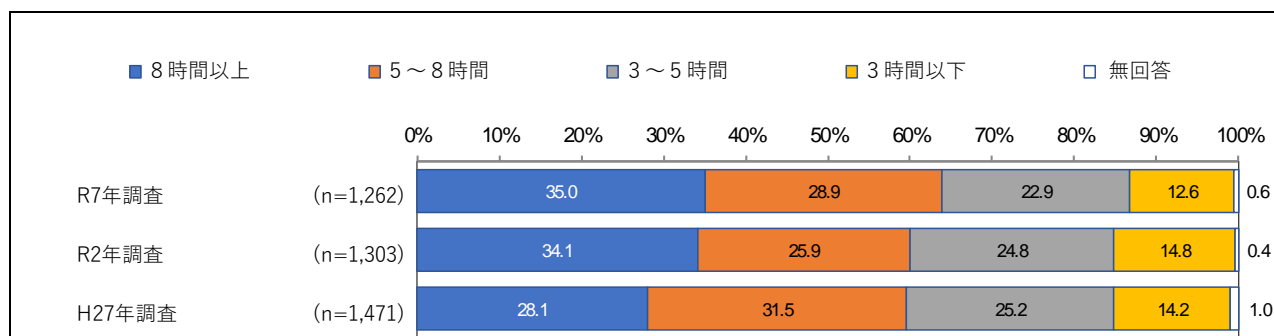


問8 あなたの休日における1日の余暇時間（自由に使える活動時間）は通常どのくらいありますか？（当てはまる番号1つに○）

休日における1日の余暇時間については、「8時間以上」の割合が35.0%で最も高く、「5～8時間」が28.9%で続き、以下は「3～5時間」（22.9%）、「3時間以下」（12.6%）の順となっている。

男女別にみると、いずれも「8時間以上」（男性41.6%、女性30.4%）が最も高い割合ながら、この割合は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、50～59歳では「3～5時間」（29.3%）、60～69歳では「5～8時間」（32.4%）の割合が最も高く（同率含む）、その他の年代では「8時間以上」が最も高い割合となった。



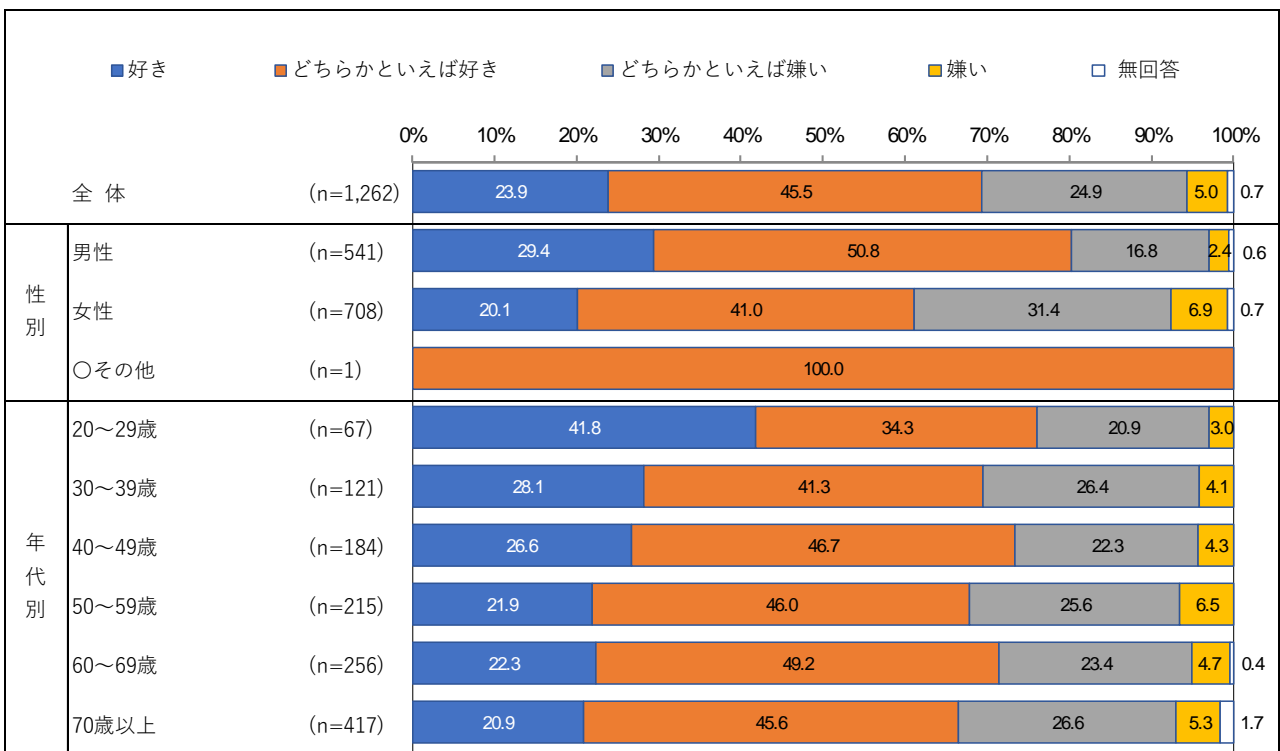
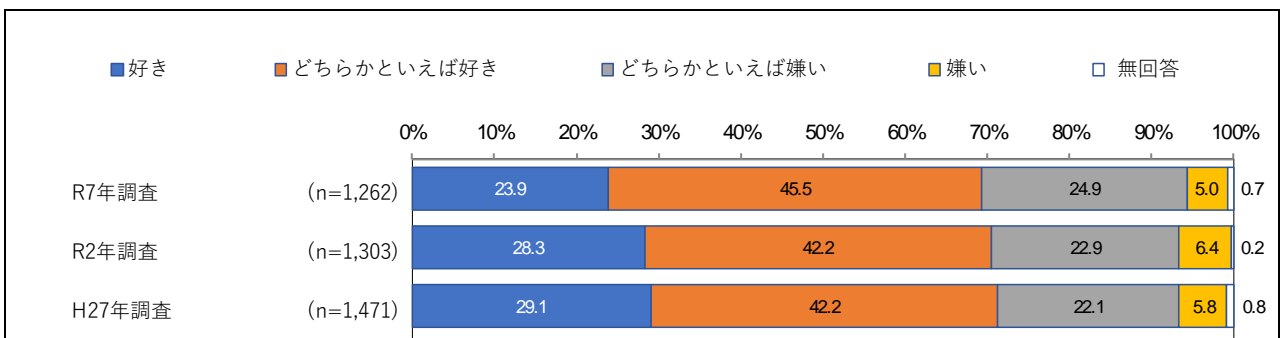
(3) 運動やスポーツについて

問9 あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか？（当てはまる番号1つに○）

運動やスポーツをすることが好きかについては、「好き」(23.9%)と「どちらかといえば好き」(45.5%)を合わせた“好き”の割合は69.4%で、この割合は前回調査(70.5%)から1.1ポイント低下している。

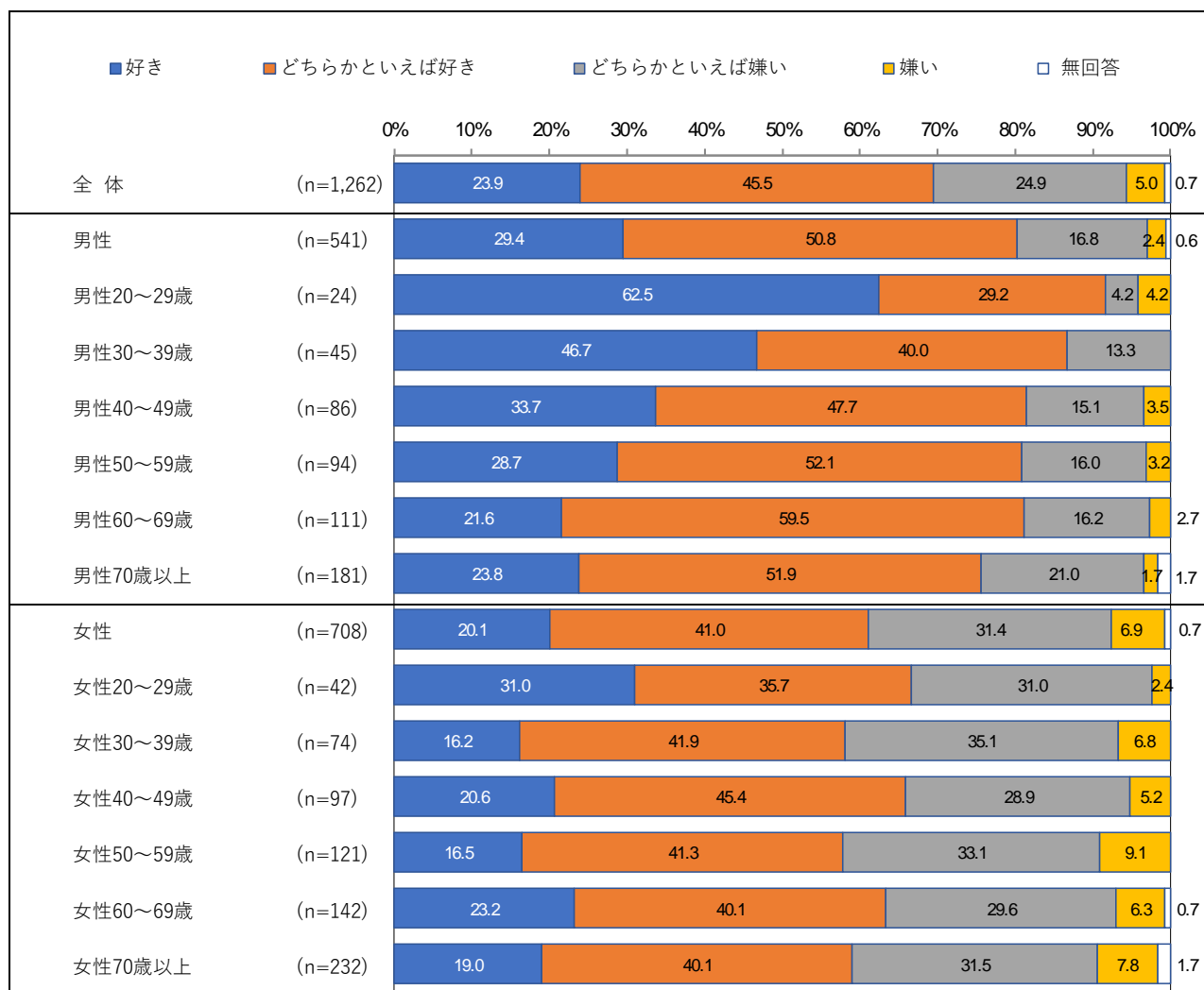
男女別にみると、“好き”の割合は男性で80.2%、女性では61.1%と、男性が女性を19.1ポイント上回っている。

年代別にみると、“好き”の割合はすべての年代で6割を超えている。



⇒参考として、性別年代別の回答割合を次頁に掲載しています

《参考性別年代別の回答割合》

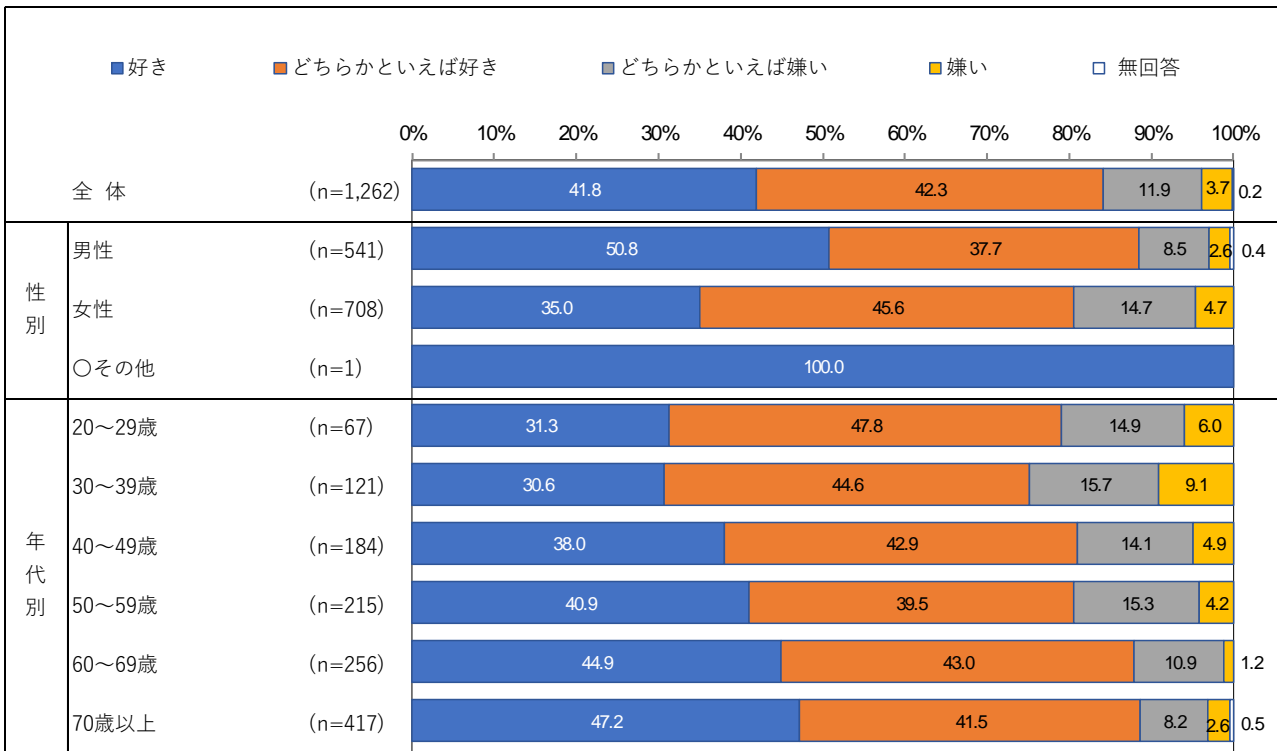
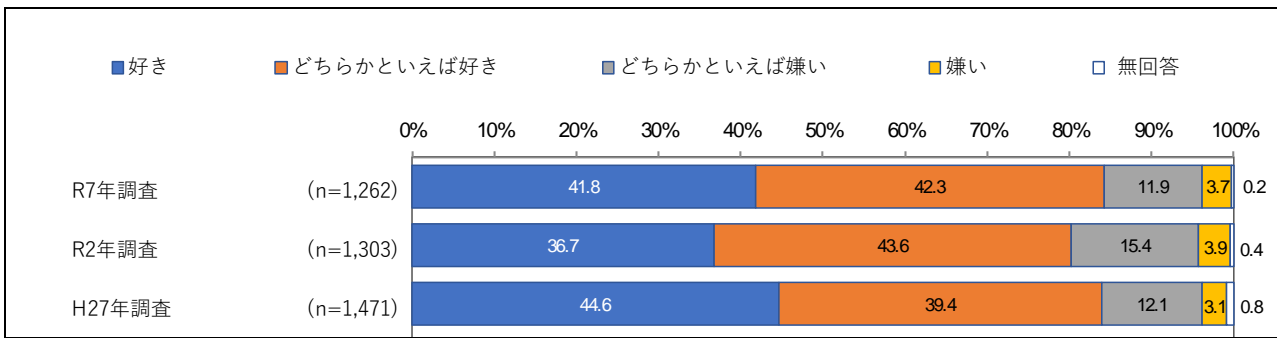


問 10 あなたは、運動やスポーツを観ることが好きですか？（テレビやビデオなどの鑑賞を含みます。）（当てはまる番号1つに○）

運動やスポーツを観ることが好きかについては、「好き」(41.8%)と「どちらかといえば好き」(42.3%)を合わせた“好き”の割合は84.1%で、この割合は前回調査(80.3%)から3.8ポイント上昇している。

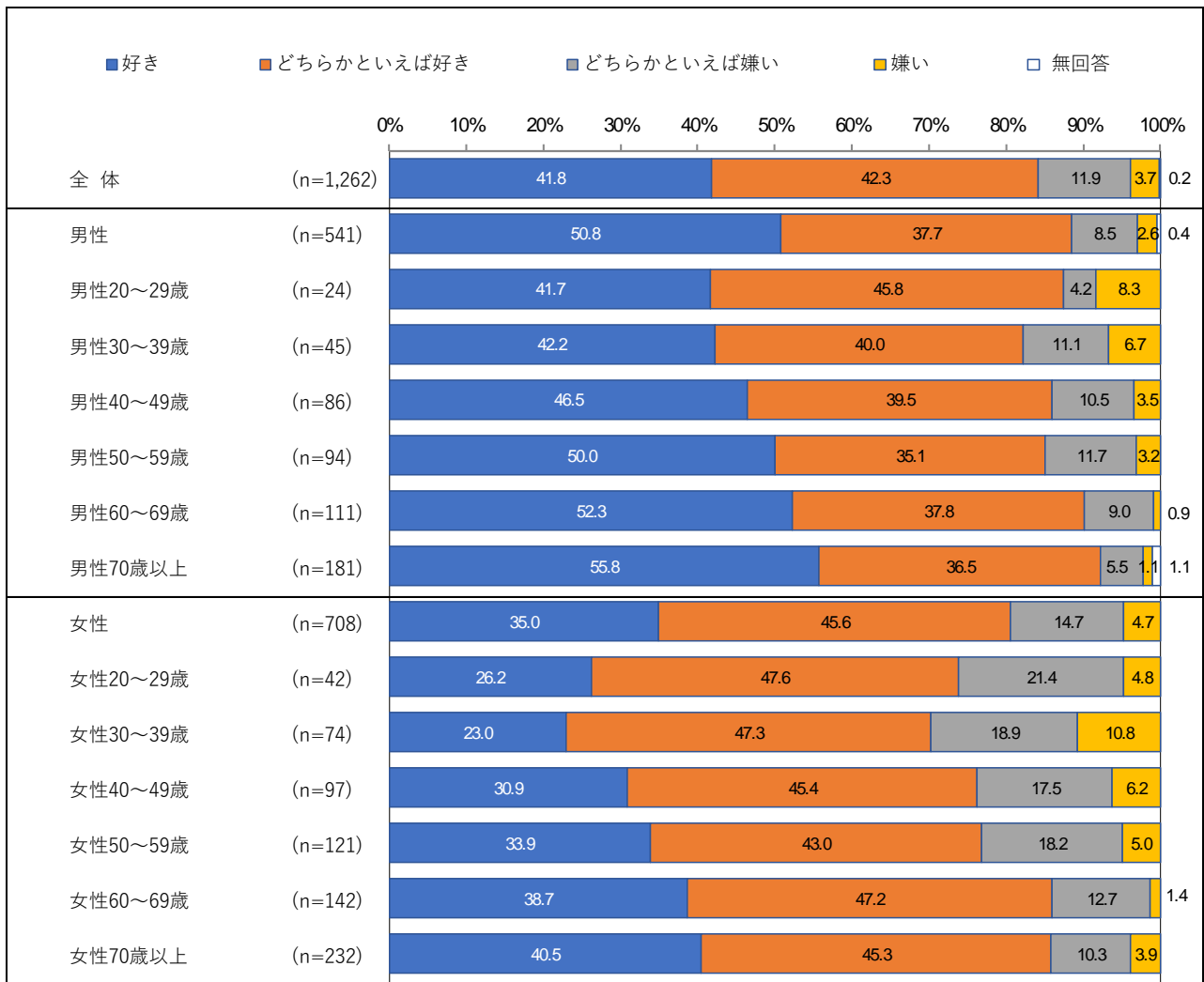
男女別にみると、“好き”の割合は男性で88.5%、女性では80.6%とともに高いものの、この割合は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、“好き”の割合は、すべての年代で7割以上と高く、中でも60～69歳と70歳以上では8割台後半と、特に高い割合となっている。



⇒参考として、性別年代別の回答割合を次頁に掲載しています

《参考性別年代別の回答割合》

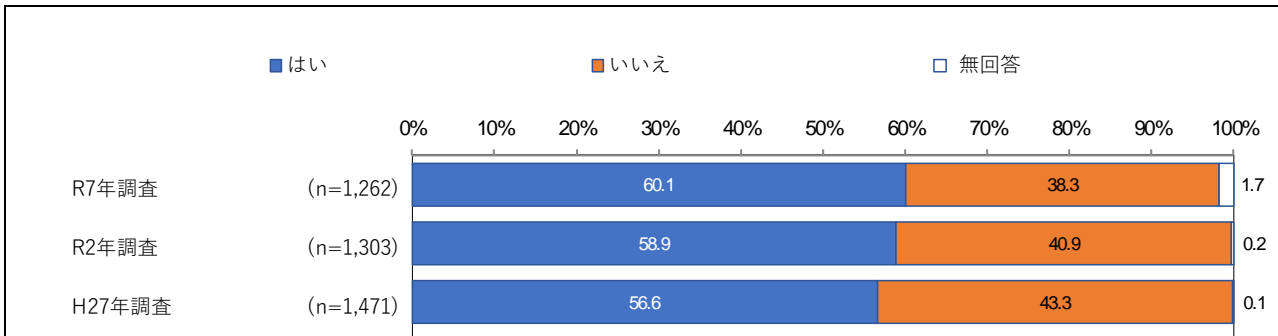


問 11 あなたは、この1年間何らかの運動やスポーツをおこないましたか？
 (どちらか当てはまる番号1つに○)
 ※15 分間以上の運動(散歩やラジオ体操などを含む)

この1年間に何らかの運動やスポーツをやったかについては、「はい」の割合が60.1%と6割以上を占めた一方、「いいえ」(38.3%)の割合は3割台後半となっている。「はい」の割合は前回調査(58.9%)に比べて1.2ポイント上昇している。

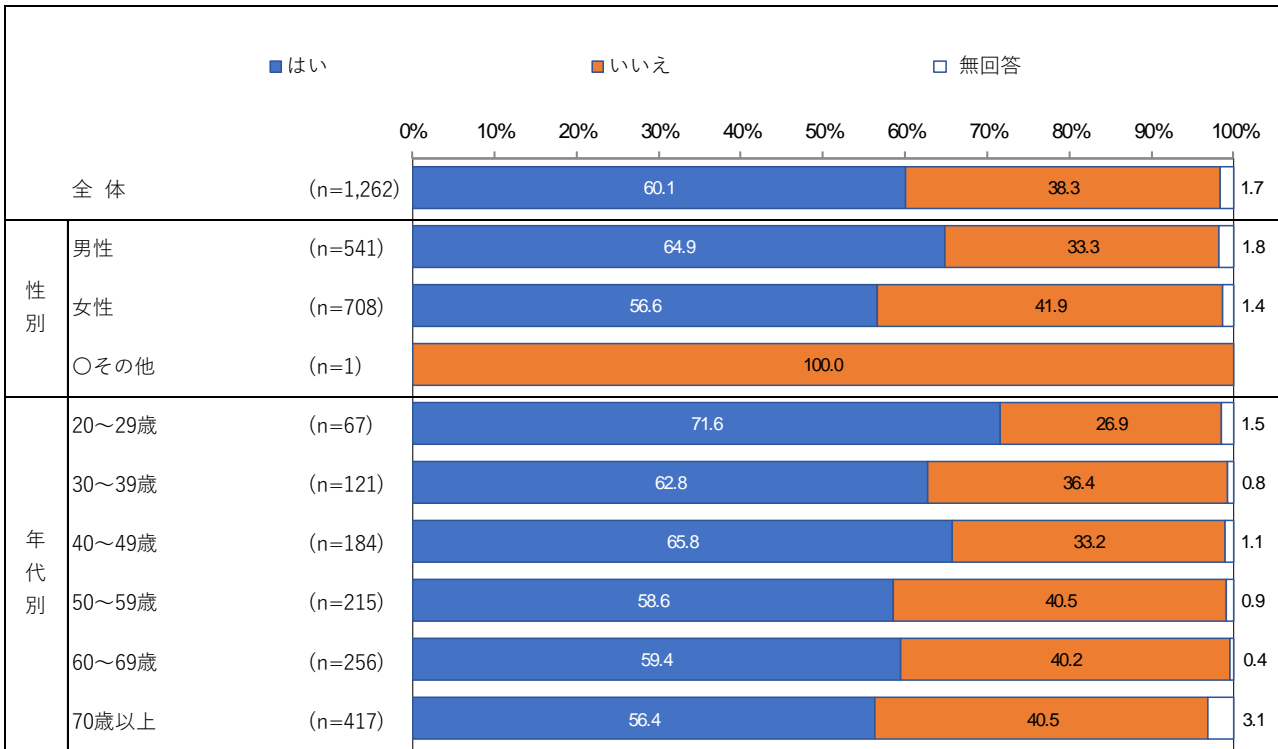
男女別にみると、「はい」の割合が男性で64.9%、女性では56.6%とともに5割以上ながら、この割合は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、「はい」の割合はすべての年代で5割以上となっている。



---過去調査と比較する上での注意点---

設問文章：H27では「あなたは、この1年間、何らかの運動やスポーツを行いましたか。」となっており、※印以下に示される説明は記載されていなかった。

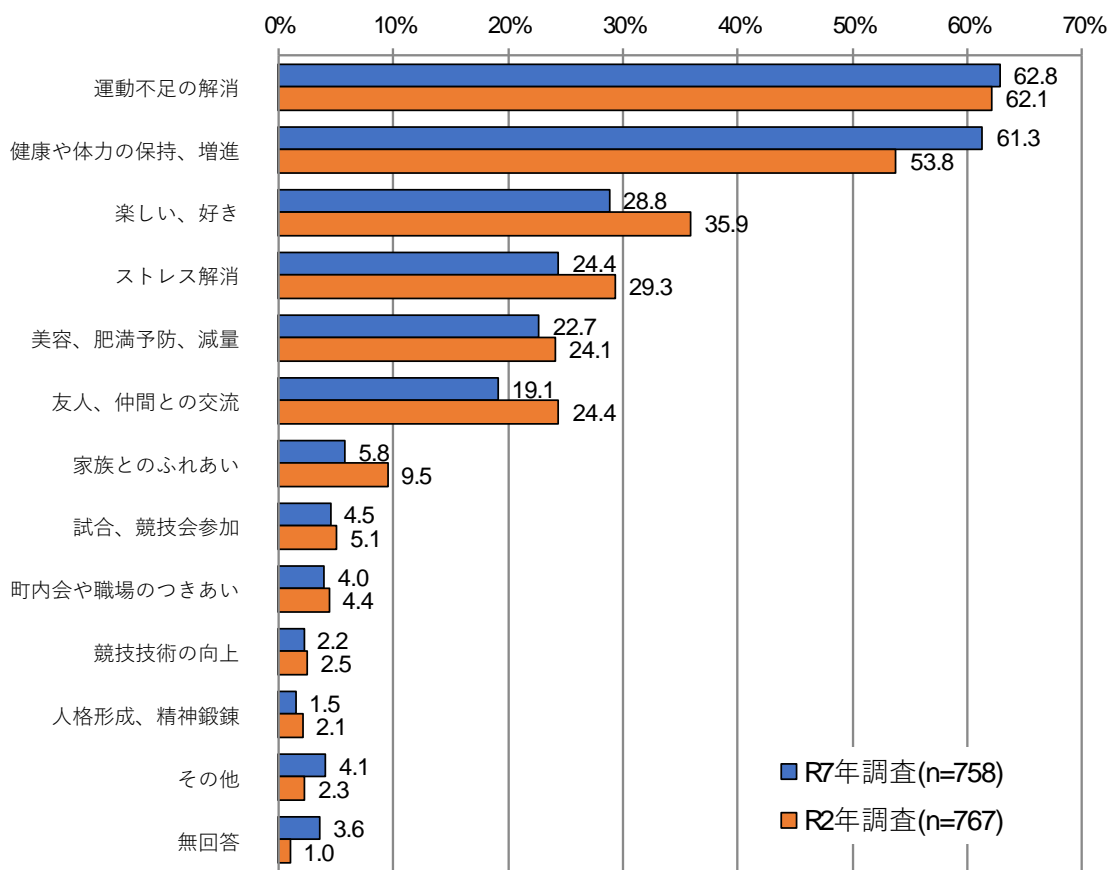


<問 12 から問 16 は、問 11 で「1 はい」に○をつけた方に伺います。>

問 12 あなたは、どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをおこなっていますか？
(主なものを3つまでに○)

どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをやっているかについては、「運動不足の解消」の割合が 62.8%と6割以上で最も高く、「健康や体力の保持、増進」(61.3%)が同じく6割台で続き、以下は「楽しい、好き」(28.8%)、「ストレス解消」(24.4%)、「美容、肥満予防、減量」(22.7%)、「友人、仲間との交流」(19.1%)などの順となった。

前回調査と比較すると、「運動不足の解消」、「健康や体力の保持、増進」の割合が上昇した一方、それ以外の割合は低下した。



---H27 年調査との比較を行わない理由---
H27 年調査とでは、回答個数が異なるため。

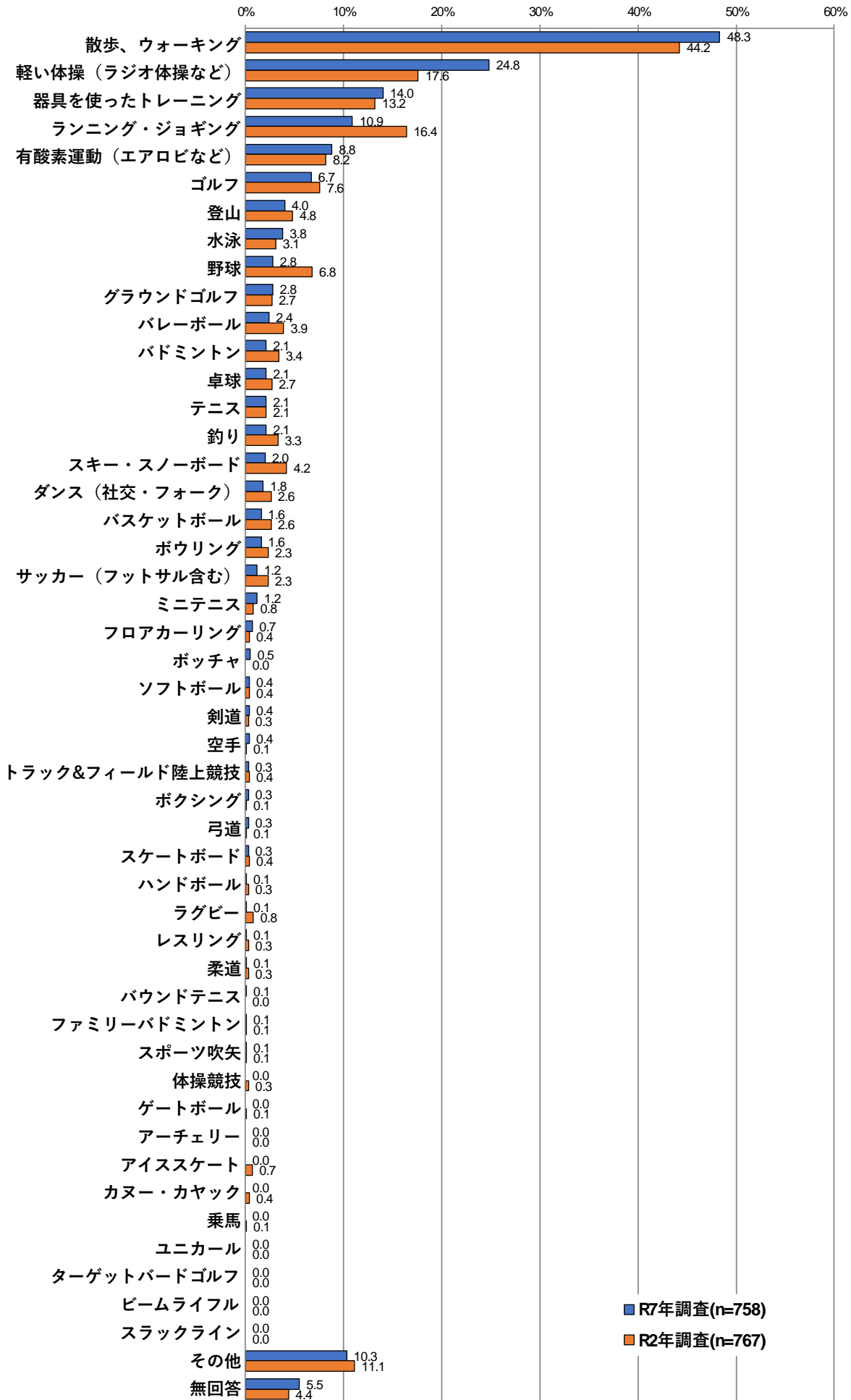
問13 あなたが、この1年間におこなった運動やスポーツについてお伺いします。

(1) 実施した種目について（主なもの3つまで）

この1年間におこなった運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」（48.3%）が4割台で突出して高い割合となり、これに「軽い体操（ラジオ体操など）」（24.8%）、「器具を使ったトレーニング」（14.0%）「ランニング・ジョギング」（10.9%）が続いている。

前回調査と比較すると、上位5項目では「散歩、ウォーキング」、「軽い体操（ラジオ体操など）」、「器具を使ったトレーニング」、「有酸素運動（エアロビなど）」の割合が上昇した一方、「ランニング・ジョギング」の割合は低下した。

⇒グラフは次頁に掲載しています



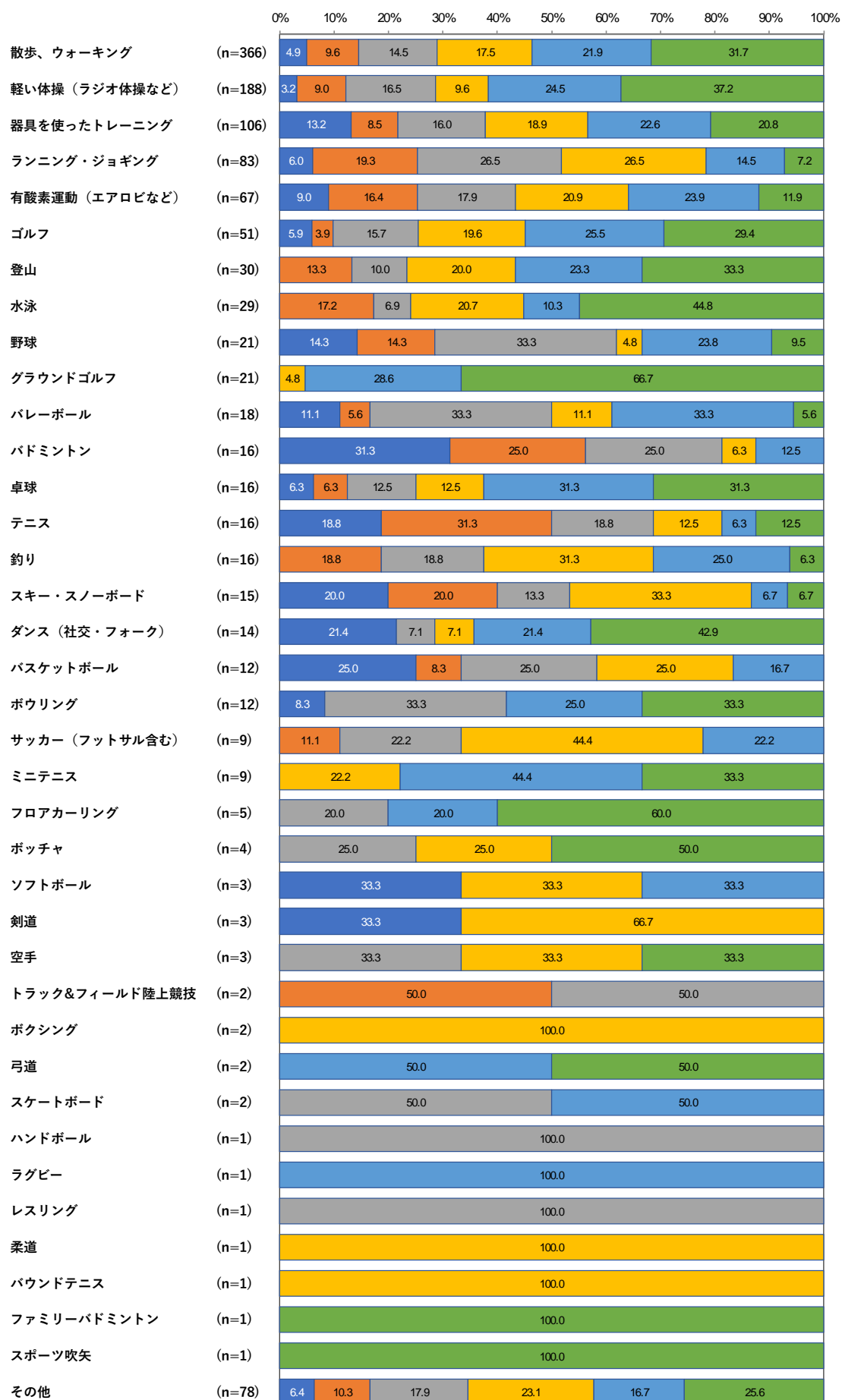
問13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについてお伺いします。

(1) 実施した種目(主なもの3つまで)より、種目別競技者年齢

この1年間にやった運動やスポーツの種目別に競技者の年齢をみると、競技者数が最も多い「散歩、ウォーキング」では、70歳以上の割合が31.7%で最も高く、60～69歳が21.9%で続き、20～29歳、30～39歳では1割未満となっている。

⇒グラフは次頁に続きます

■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 70歳以上 □ 無回答

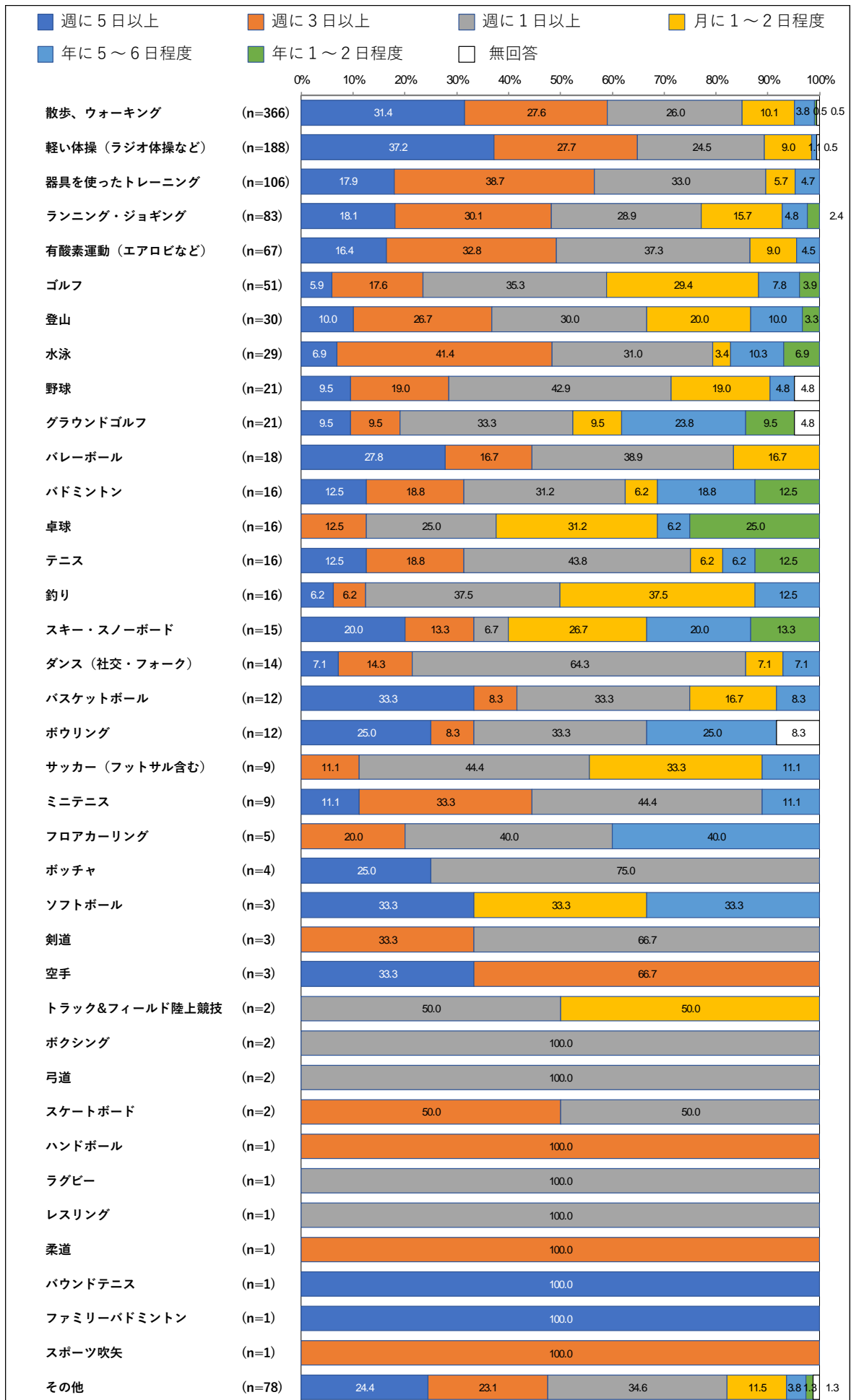


問13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについてお伺いします。

(2) どのくらい実施したか ((1) で回答した種目ごとに、おおよその実施回数に1つ〇)

この1年間にやった運動やスポーツをどのくらい実施したかについては、「散歩、ウォーキング」では〔週に5日以上〕が31.4%で最も割合が高くなったほか、「軽い体操（ラジオ体操など）」では〔週に5日以上〕(37.2%)、「器具を使ったトレーニング」では〔週に3日以上〕(38.7%)の割合が最も高くなっており、実施回数については種目により違いが見られた。

⇒グラフは次頁に続きます

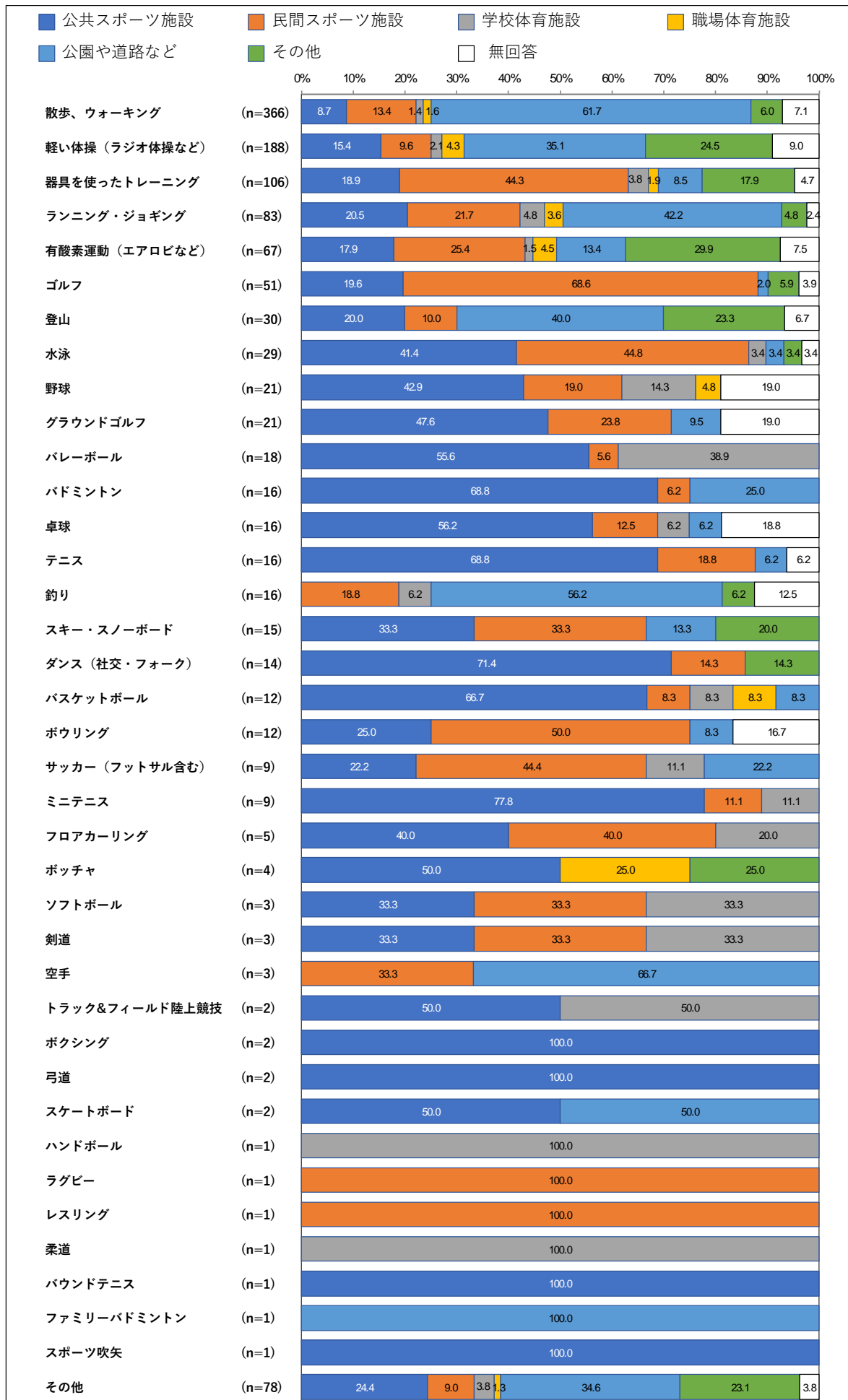


問13 あなたが、この1年間にやった運動やスポーツについてお伺いします。

(3) どこで実施したか ((1) で回答した種目ごとに、主な実施場所に1つ○)

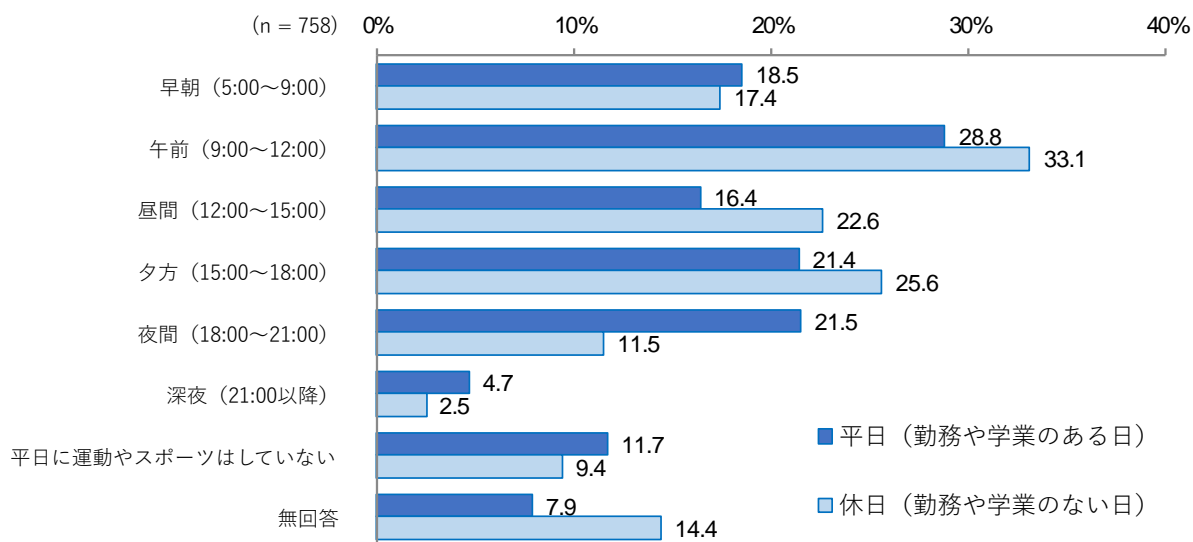
この1年間にやった運動やスポーツをどこで実施したかについては、「散歩、ウォーキング」では〔公園や道路など〕が61.7%で最も割合が高くなったほか、「軽い体操（ラジオ体操など）」では〔公園や道路など〕（35.1%）、「器具を使ったトレーニング」では〔民間スポーツ施設〕（44.3%）の割合が最も高くなっており、実施場所については種目により違いが見られた。

⇒グラフは次頁に続きます



問 14 あなたは、運動やスポーツをおおよそどの時間帯にやっていますか？ 当てはまる 番号すべてに○をつけてください。

運動やスポーツをおおよそどの時間帯にやっているかについては、平日は「午前」(28.8%)の割合が最も高く、これに「夜間」(21.5%)、「夕方」(21.4%)などが続いたのに対して、休日では「午前」(33.1%)の割合が最も高く、以下は「夕方」(25.6%)、「昼間」(22.6%)などの順となっている。

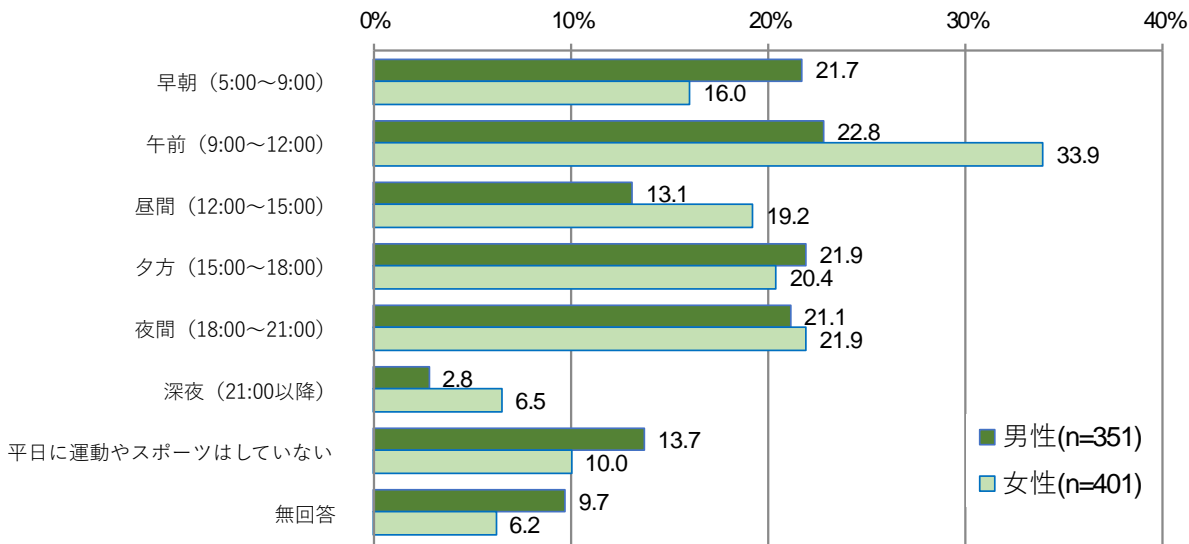
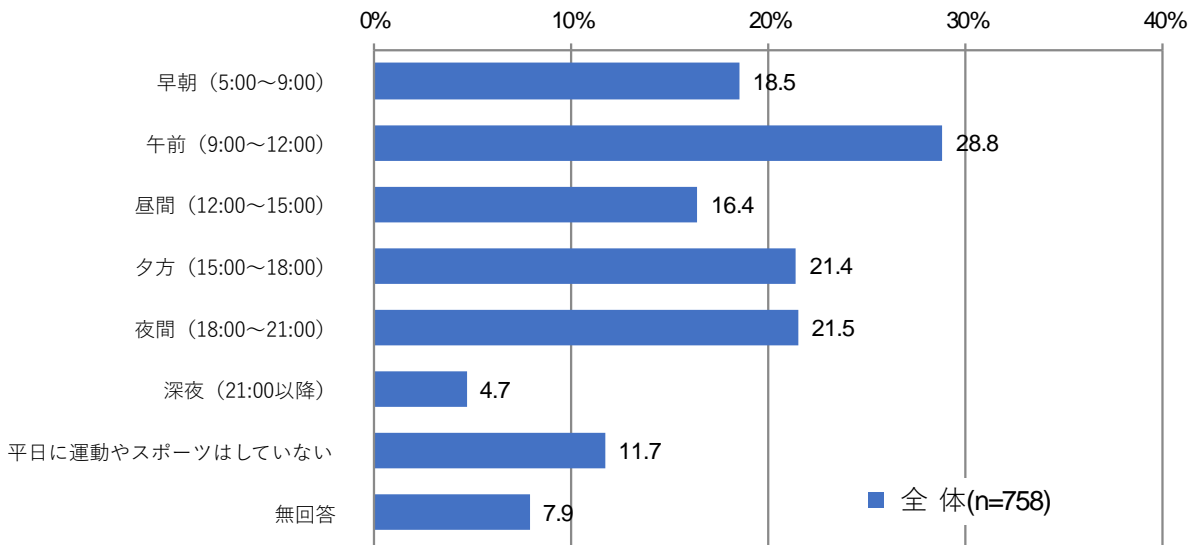


問 14 あなたは、運動やスポーツをおおよそどの時間帯にやっていますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。
 (1) 平日（勤務や学業のある日）

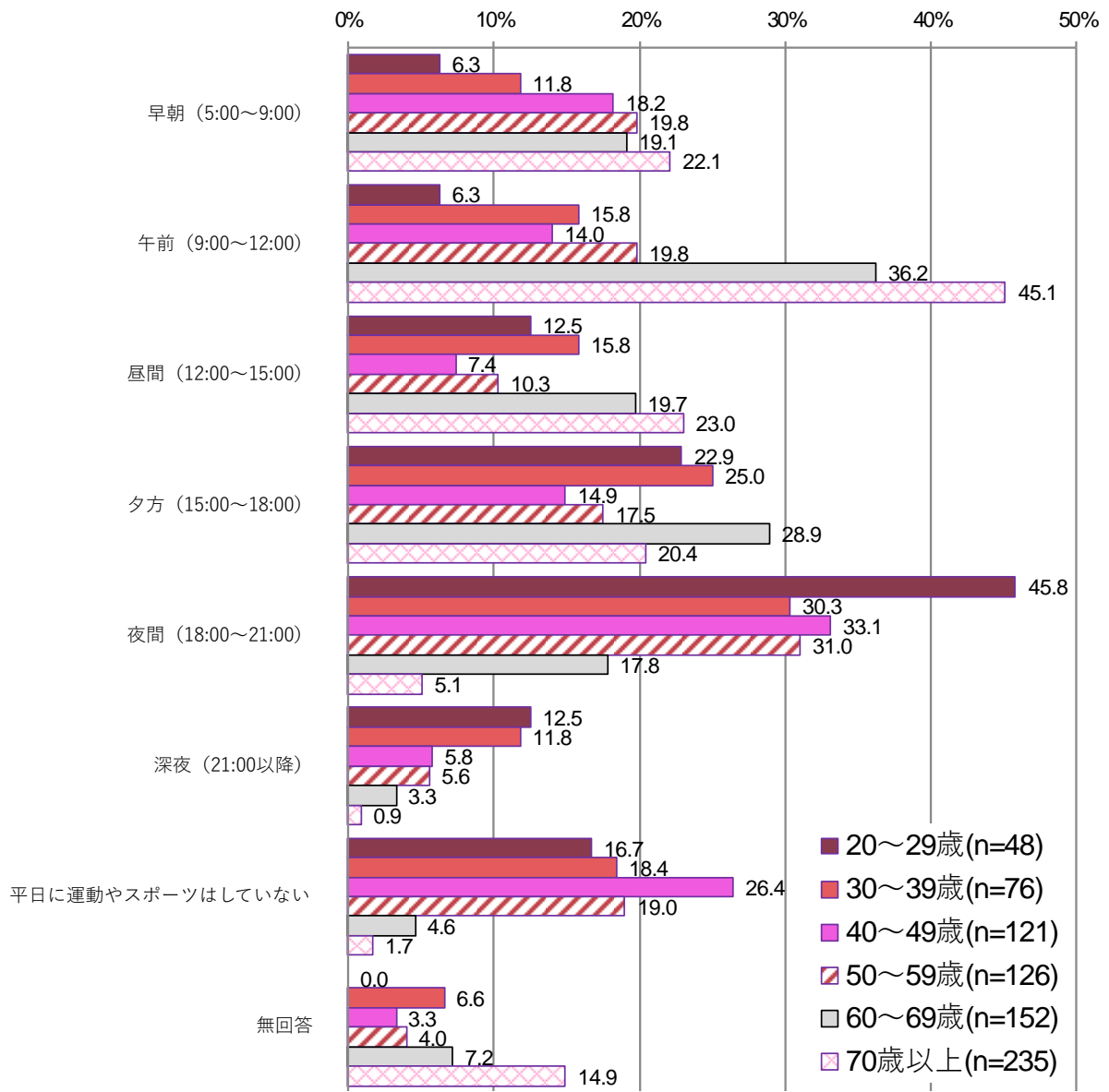
運動やスポーツを平日のおおよそどの時間帯にやっているかについては、「午前」の割合が28.8%で最も高くなっている。また、「平日に運動やスポーツはしていない」の割合は11.7%となっている。

男女別にみると、いずれも「午前」（男性22.8%、女性33.9%）の割合が最も高くなっており、この割合は女性の方が高くなっている。

年代別にみると、20～29歳から50～59歳では「夜間」の割合が最も高く、60～69歳と70歳以上では「午前」の割合が最も高くなっている。



※性別：「その他」は回答なし

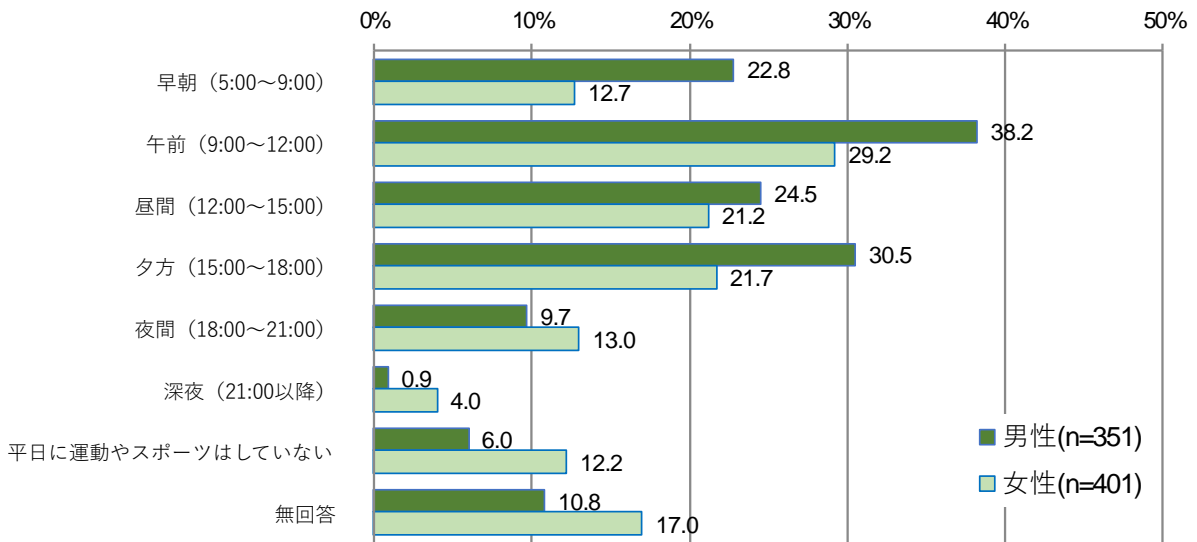
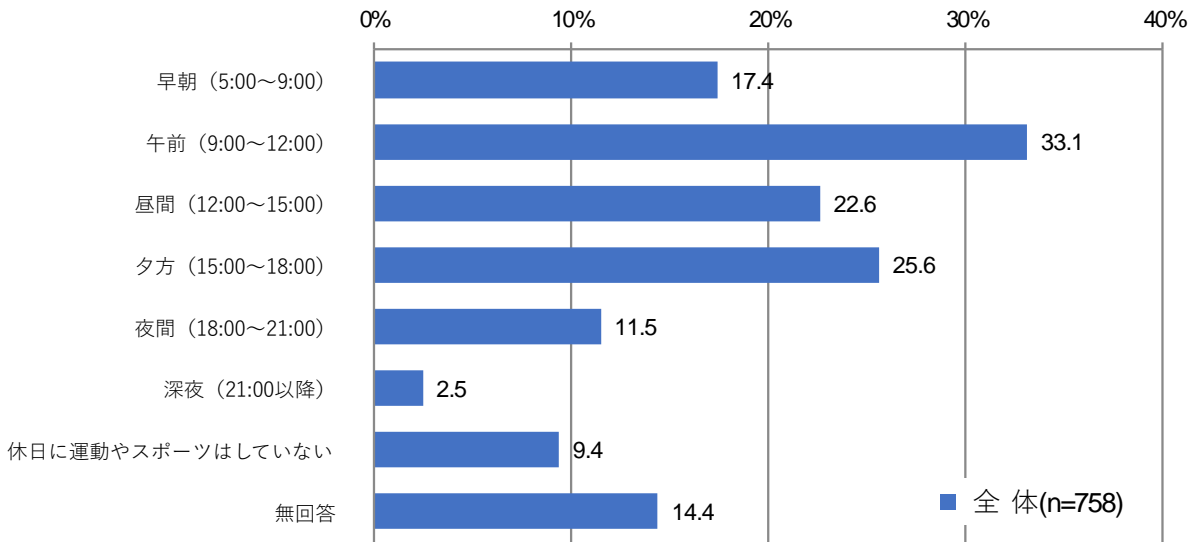


問 14 あなたは、運動やスポーツをおおよそどの時間帯にやっていますか？当てはまる番号すべてに○をつけてください。
 (2) 休日（勤務や学業のない日）

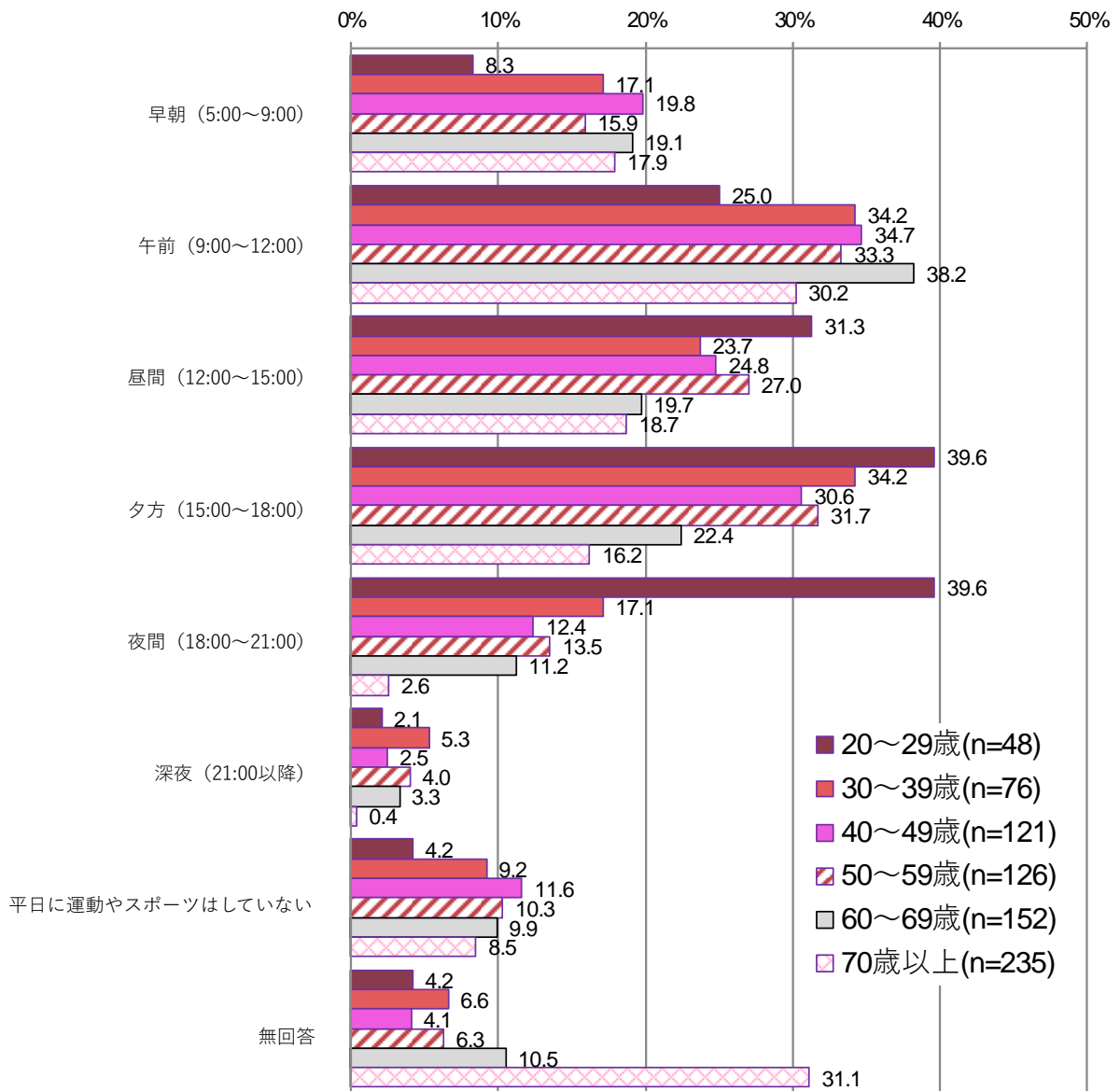
運動やスポーツを休日のおおよそどの時間帯にやっているかについては、「午前」の割合が 33.1%で最も高くなっている。また、「休日に運動やスポーツはしていない」の割合は 9.4%となっている。

男女別にみると、いずれも「午前」（男性 38.2%、女性 29.2%）の割合が最も高くなっており、この割合は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、20～29 歳では「夕方」と「夜間」がともに 39.6%、30～39 歳では「午前」と「夕方」がともに 34.2%で最も高く、それ以外の年代ではいずれも「午前」の割合が最も高くなっている。

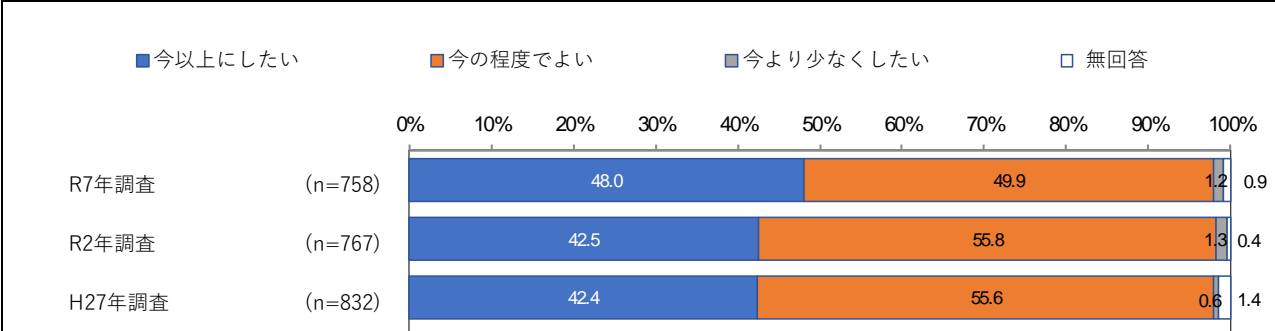


※性別：その他は回答なし



問 15 あなたは、運動やスポーツについて、今後どの程度おこないたいですか？
 (当てはまる番号1つに○)

今後の運動やスポーツについてどの程度おこないたいかについては、「今の程度でよい」の割合が49.9%と5割近くを占め、これに「今以上にしたい」が48.0%で続いており、前回調査と比較すると差が縮まっている。



---過去調査と比較する上での注意点---

今以上にしたい：R2年調査では「今以上にやりたい」、H27年調査では「今以上に行いたい」としていた。

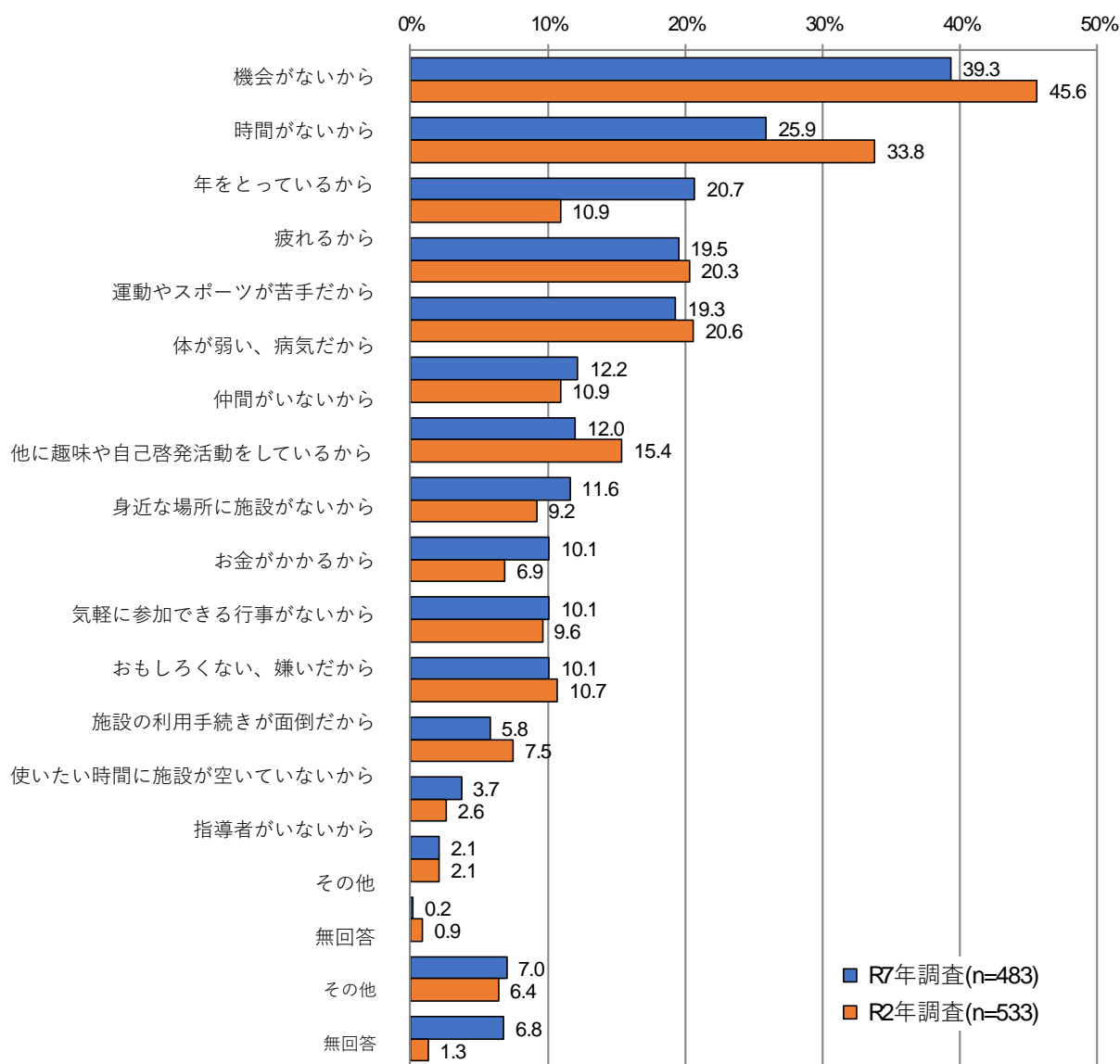
今より少なくしたい：H27年調査では「もっと少なくしたい」としていた。

<問 16 からは、問 11 で「2 いいえ」に○をつけた方に伺います。>

問 16 この1年間運動やスポーツをおこなわなかった理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

この1年間運動やスポーツをやらなかった理由については、「機会がないから」の割合が39.3%で最も高く、「時間がないから」（25.9%）が続き、以下は「年をとっているから」（20.7%）、「疲れるから」（19.5%）、「運動やスポーツが苦手だから」（19.3%）などの順となった。

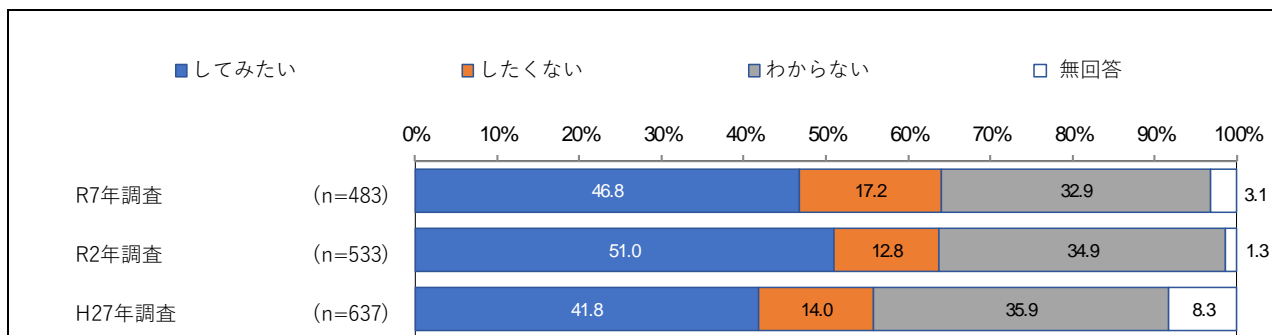
前回調査と比較すると、上位2項目の「機会がないから」と「時間がないから」の順位は同様であったものの、割合は5ポイント以上低下した。一方、「年をとっているから」の割合は10ポイント近く上昇した。



問 17 あなたは、条件などが整えば、今後運動やスポーツをしてみたいですか？
 (当てはまる番号1つに○)

条件などが整えば、今後運動やスポーツをやってみたいかについては、「してみたい」の割合が46.8%と5割弱を占めた一方、「したくない」(17.2%)の割合は1割台となっている。

前回調査と比較すると、「してみたい」の割合が低下し、「したくない」の割合は上昇している。



---過去調査と比較する上での注意点---

してみたい：R2年調査では「やってみたい」、H27年調査では「行いたい」としていた。

したくない：R2年調査では「やってみたくない」、H27年調査では、「行いたくない」としていた。

<問 18 は、問 17 で「1 してみたい」に○をつけた方に伺います。>

問 18 今後してみたい運動やスポーツについてお伺いします。

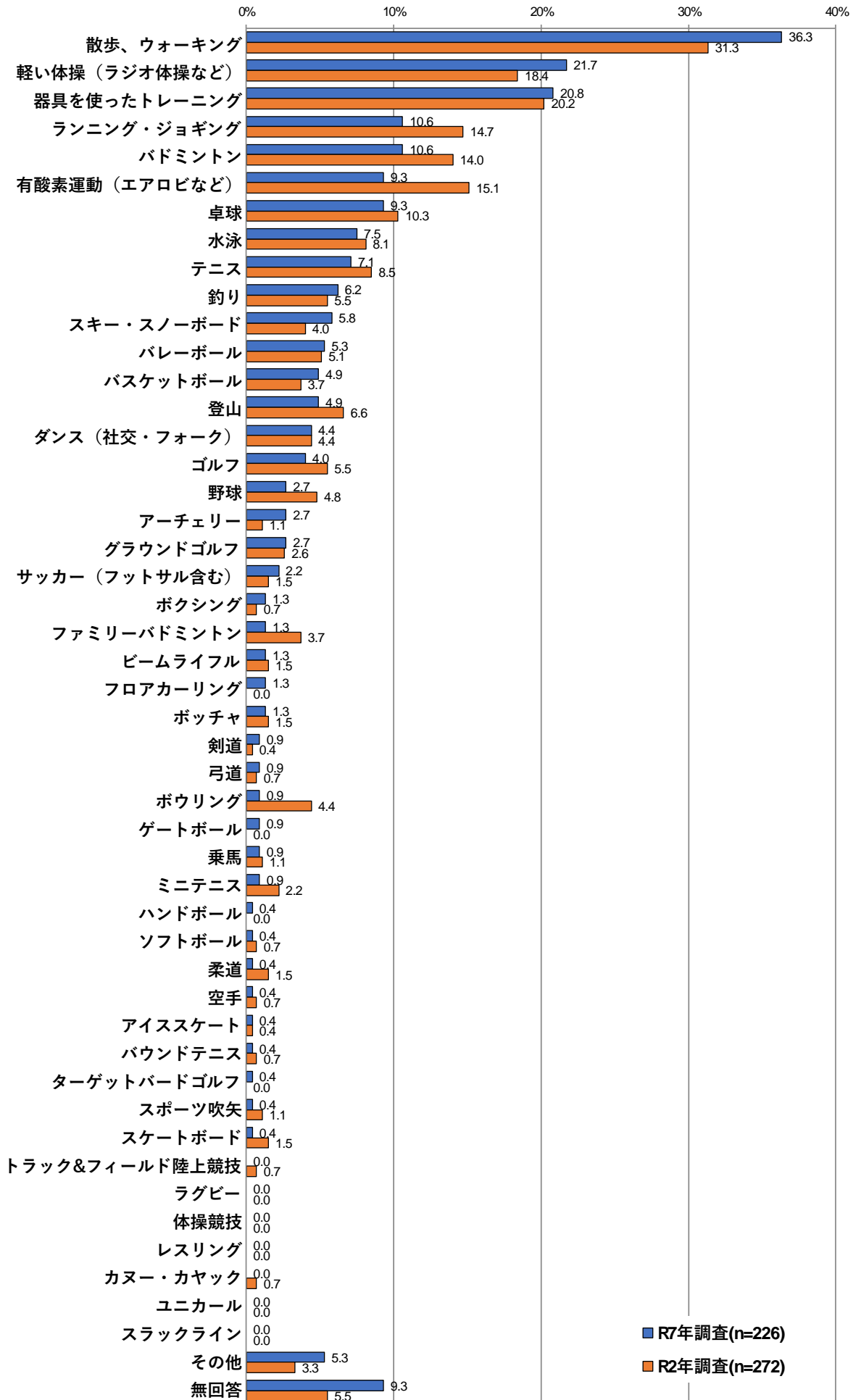
(1) してみたい種目 (主なもの3つまで)

今後やってみたい運動やスポーツの種目については、「散歩、ウォーキング」(36.3%)が最も高い割合となり、「軽い体操(ラジオ体操など)」(21.7%)が続き、以下は「器具を使ったトレーニング」(20.8%)、「ランニング・ジョギング」・「バドミントン」(10.6%)が続いている。

順位や割合の違いはあるものの、上位3項目には、問 13 (1) と同様の種目がランクインした一方、4位(同率)に「バドミントン」が入った。

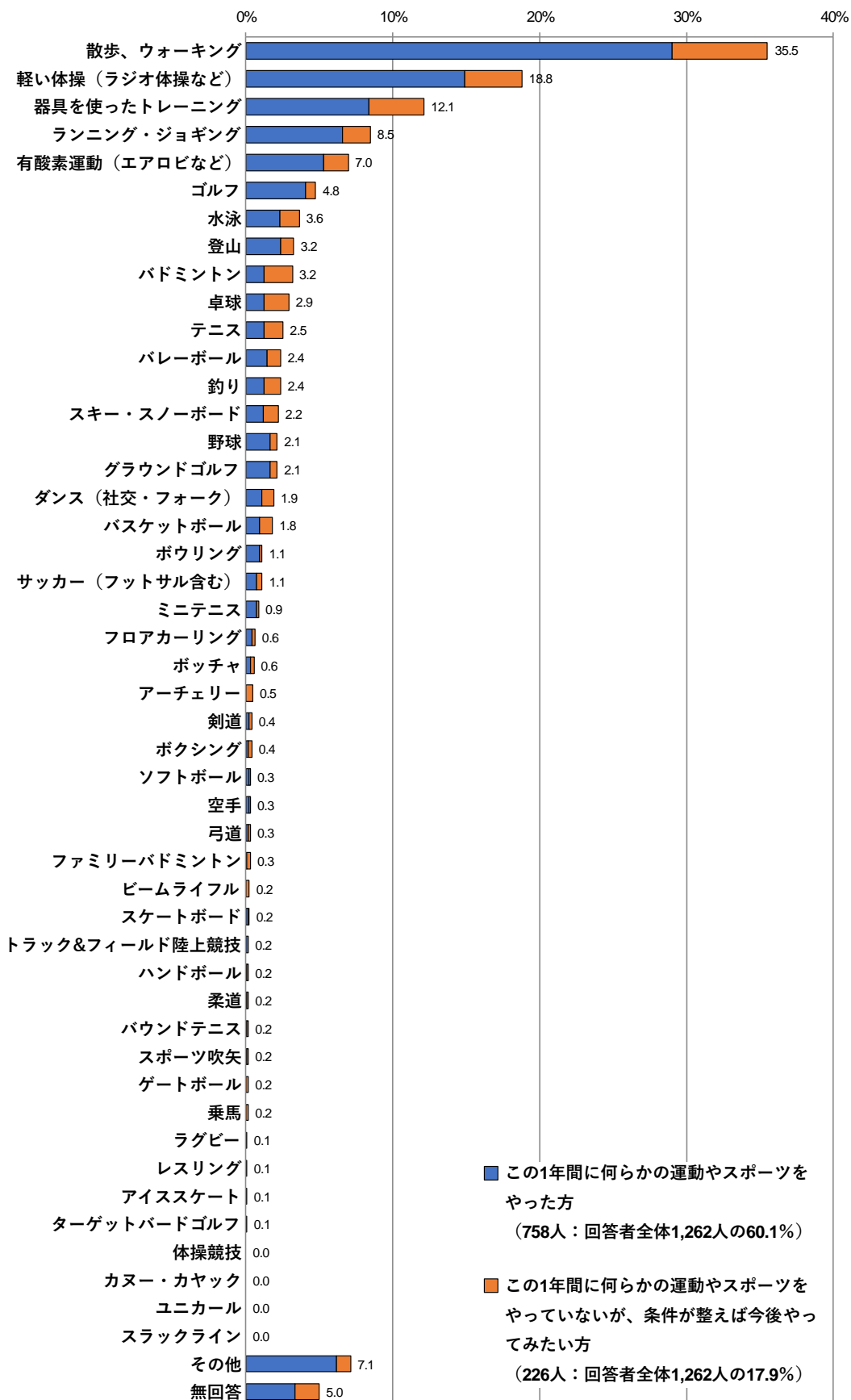
前回調査と比較すると、上位4項目では「散歩、ウォーキング」、「軽い体操(ラジオ体操など)」、「器具を使ったトレーニング」などの割合が上昇した一方、「ランニング・ジョギング」の割合は低下した。

⇒グラフは次頁に掲載しています



参考集計 問13と問18の結果より

この1年間に運動などをやった方および今後やってみたいと考えている人の割合（種目別）
 [回答者全体比（n=1,262）]

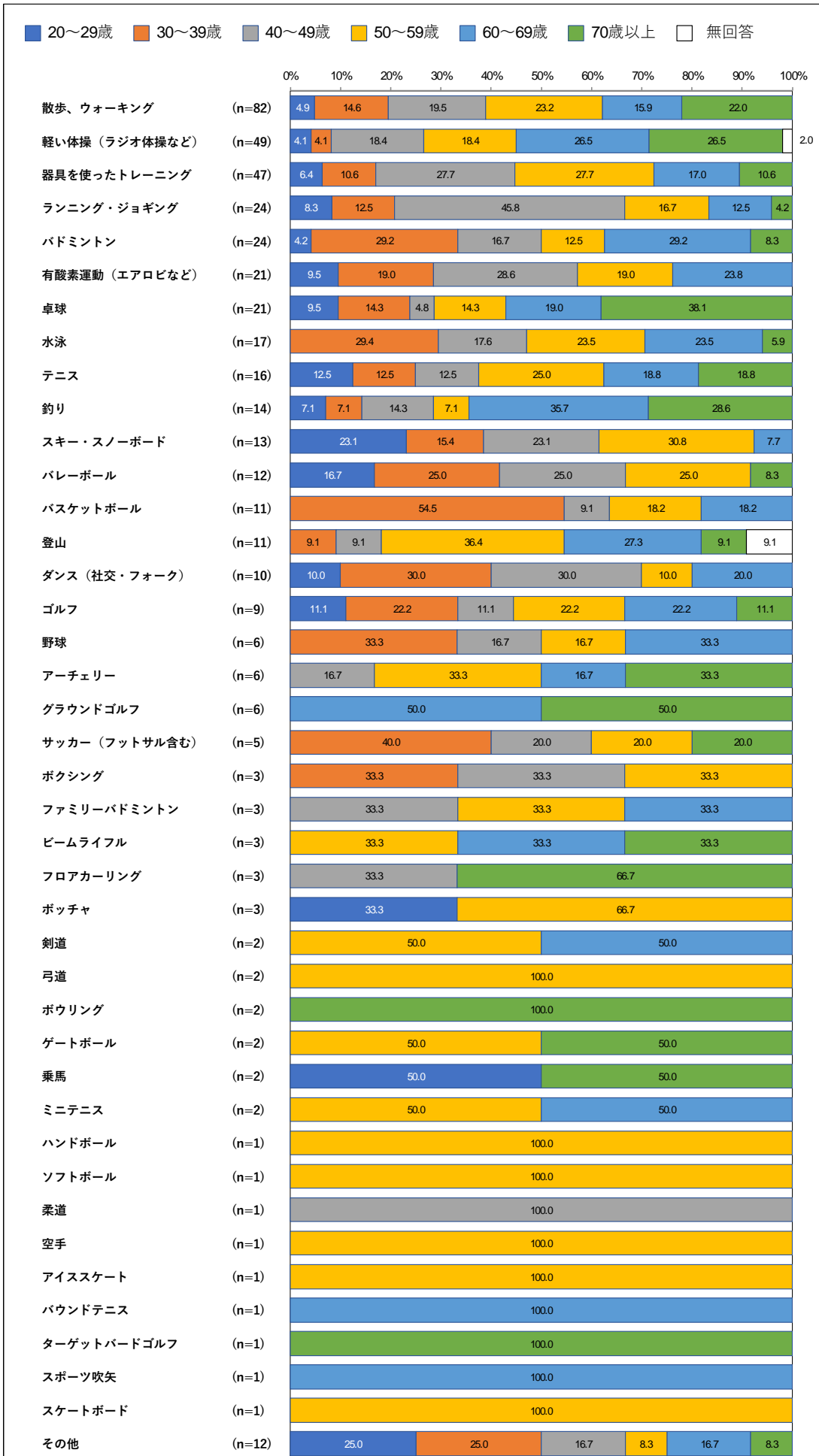


問 18 今後してみたい運動やスポーツについてお伺いします。

(1) してみたい種目（主なもの3つまで）より、種目別競技者年齢

今後やってみたい運動やスポーツの種目別に競技希望者の年齢をみると、競技希望者数が最も多い「散歩、ウォーキング」では、50～59歳の割合が23.2%で最も高く、70歳以上が22.0%、40～49歳が19.5%で続いている。

⇒グラフは次頁に続きます

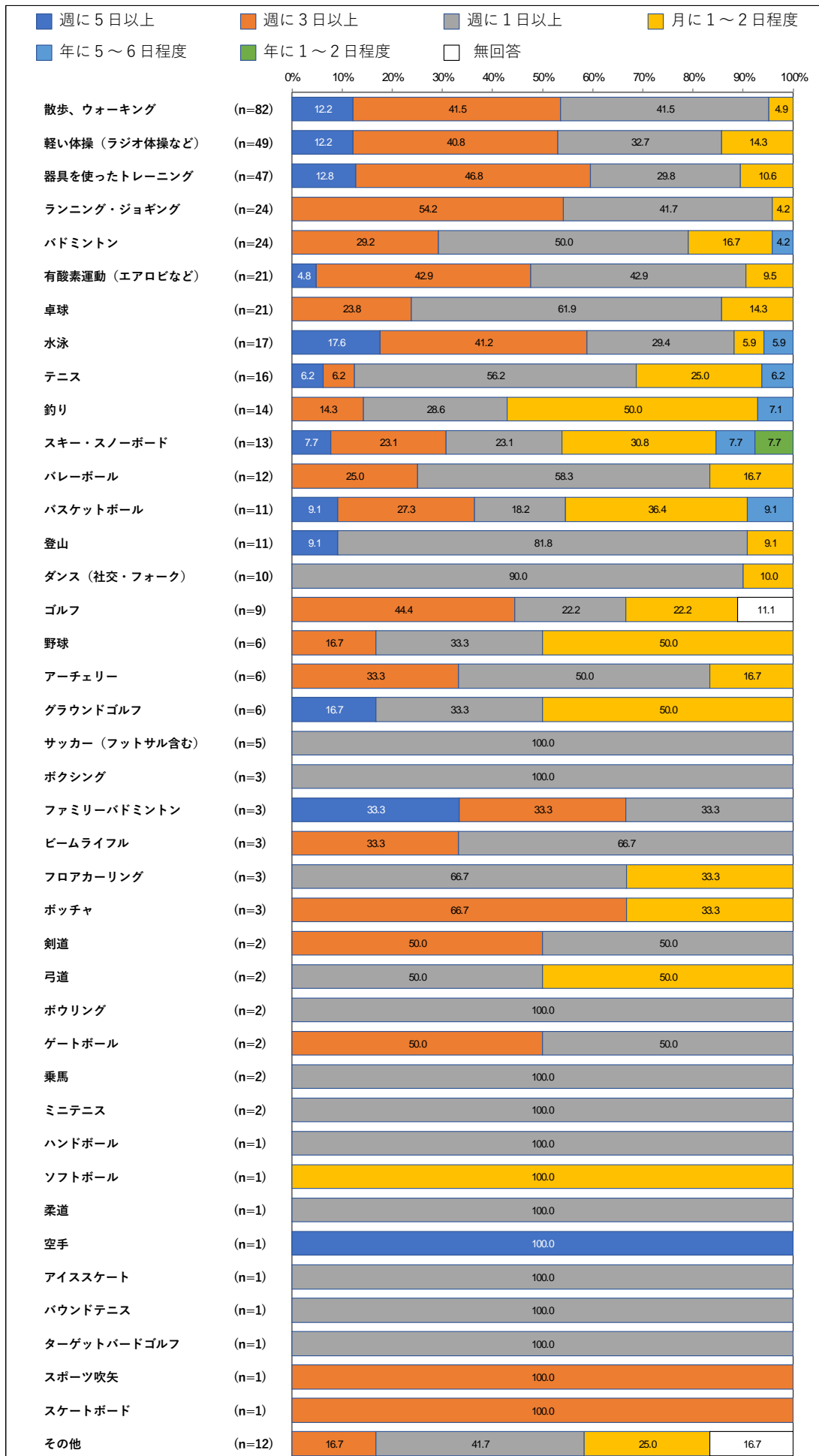


問 18 今後してみたい運動やスポーツについてお伺いします。

(2) どのくらい実施したいか ((1) で回答した種目ごとに、おおよその実施回数に1つ〇)

今後やってみたい運動やスポーツをどのくらい実施したいかについては、「散歩、ウォーキング」では〔週に3日以上〕、〔週に1日以上〕の割合が各 41.5%と同率で最も高くなったほか、「軽い体操（ラジオ体操など）」、「器具を使ったトレーニング」、「ランニング・ジョギング」などの上位項目でも、〔週に3日以上〕と〔週に1日以上〕が高くなっている。

⇒グラフは次頁に続きます

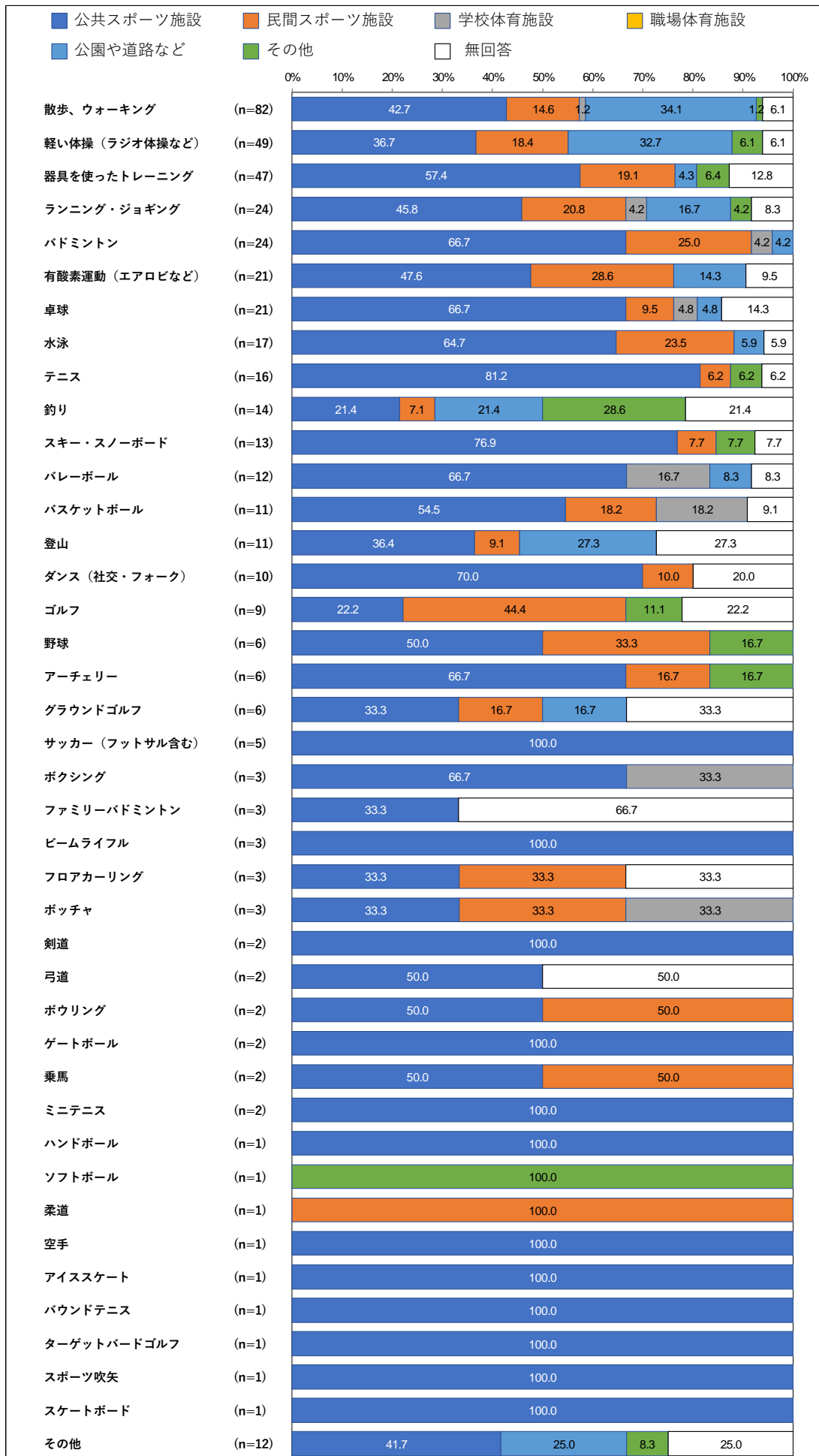


問 18 今後してみたい運動やスポーツについてお伺いします。

(3) どこで実施したいか ((1) で回答した種目ごとに、主な実施場所に1つ○)

今後やってみたい運動やスポーツをどんな場所で実施したいかについては、「散歩、ウォーキング」では〔公共スポーツ施設〕が42.7%で最も割合が高くなったほか、上位項目を含め多くの項目で〔公共スポーツ施設〕が最も高くなっている。

⇒グラフは次頁に続きます



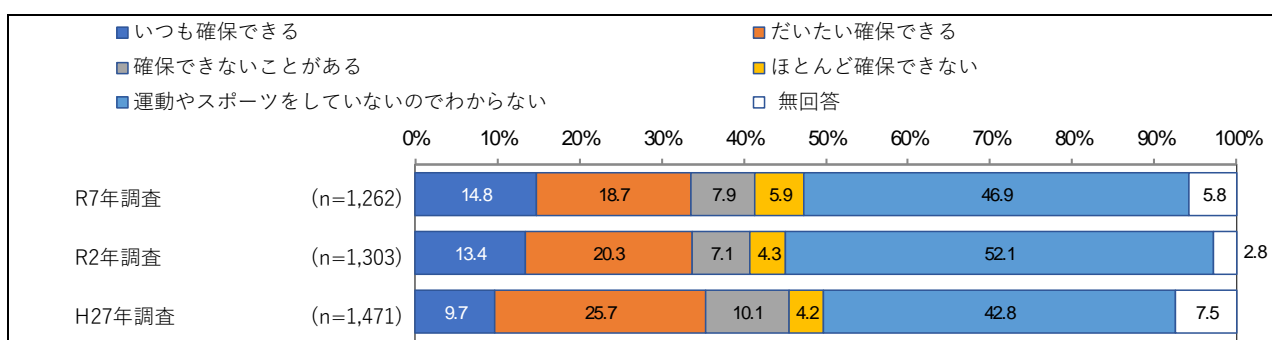
(4) 秋田市にあるスポーツ施設について

問 19 あなたが運動やスポーツをするにあたって、施設や場所はどの程度確保（予約）できていますか？

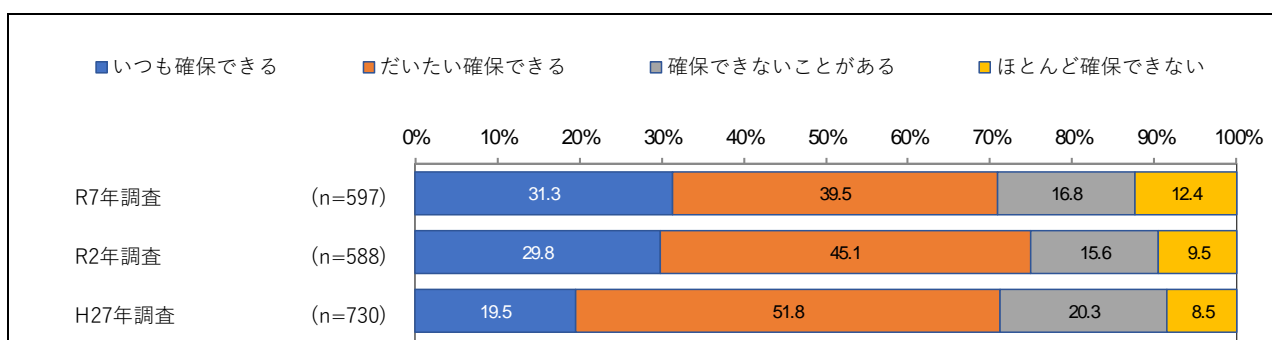
(当てはまる番号1つに○)

運動やスポーツをするにあたって、施設や場所はどの程度確保（予約）できているかについては、「運動やスポーツをしていないのでわからない（施設を利用していない）」の割合が 46.9%と、4割台で最も高くなっている。一方で、「いつも確保できる」（14.8%）と「だいたい確保できる」（18.7%）を合わせた“確保できる”の割合は 33.5%となっており、前回調査と比較すると、0.2ポイント低下にとどまり、同程度の割合となっている。

施設など利用者限定した回答結果をみると、“確保できる”の割合は 70.8%となり、前回調査（74.9%）に比べて 4.1ポイント低下している。



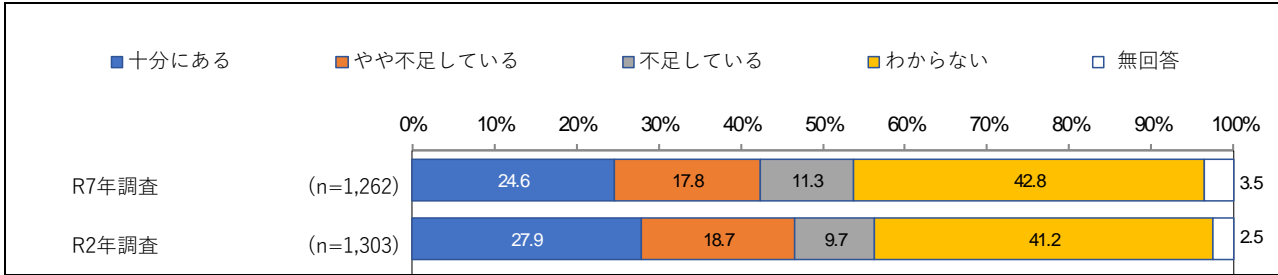
「運動やスポーツをしていないのでわからない」と「無回答」を除いた、“施設利用者”の回答



問 20 あなたの身近な場所に、運動やスポーツを気軽に楽しめる施設がありますか？
 (当てはまる番号1つに○)

身近な場所に、運動やスポーツを気軽に楽しめる施設はあるかについては、「わからない」の割合が42.8%で最も高く、これに「十分にある」が24.6%が続いた。「やや不足している」(17.8%)と「不足している」(11.3%)を合わせた“不足”の割合は29.1%となり、「十分にある」(24.6%)を4.5ポイント上回っている。

前回調査と比較すると、“不足”の割合は0.7ポイント上昇と前回同程度であったものの、「十分にある」は3.3ポイント低下した。



---H27年調査との比較を行わない理由-----
 H27年調査とでは、選択肢の内容が異なるため。

<問 20 で「2 やや不足している」「3 不足している」に○をつけた方に伺います。>

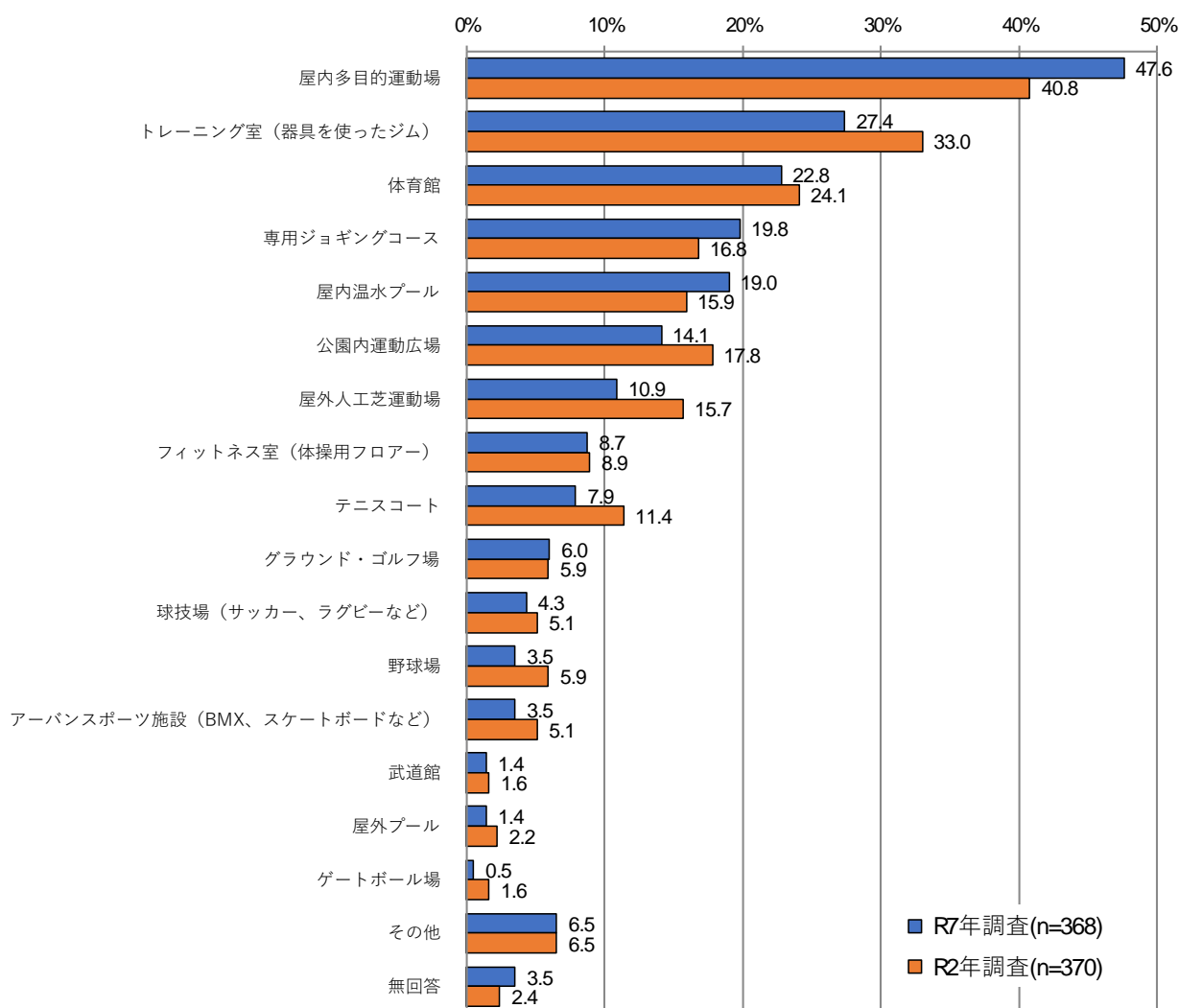
問 21 あなたが不足していると思うスポーツ施設は何ですか？現在あるものも含めて、次の中からお選びください。（主なもの3つまでに○）

不足していると思うスポーツ施設については、「屋内多目的運動場」が47.6%で最も割合が高く、「トレーニング室（器具を設置しているジム）」が27.4%で続き、以下は「体育館」（22.8%）、「専用ジョギングコース」（19.8%）などの順となっている。

前回調査と比較すると、上位3項目は同様の順位となっている。

男女別にみると、いずれも「屋内多目的運動場」（男性49.1%、女性46.4%）の割合が最も高くなっており、男性の方が高くなっている。

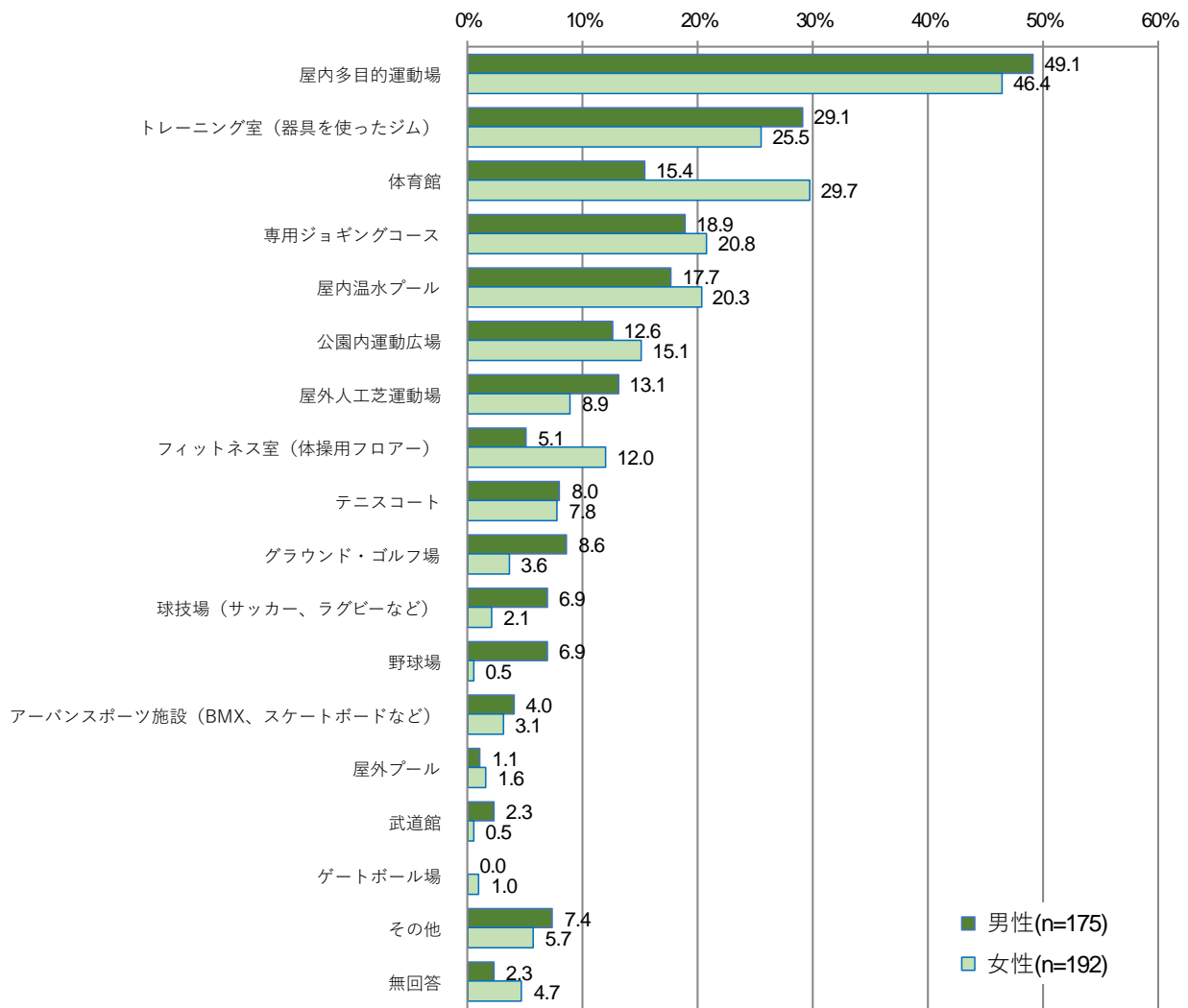
年代別にみると、いずれも「屋内多目的運動場」の割合が最も高くなっている。



-----H27年調査との比較を行わない理由-----

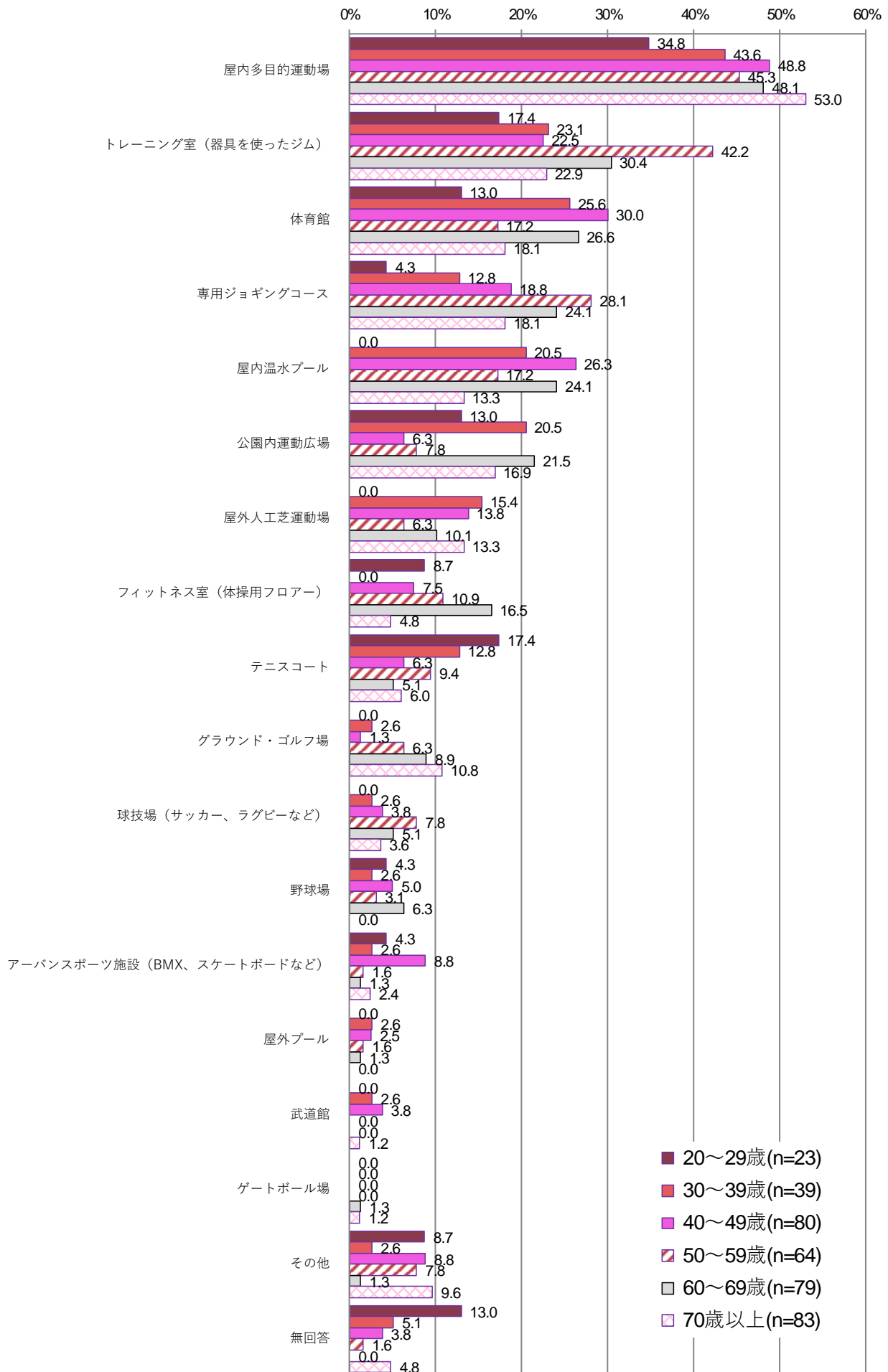
H27年調査とでは、回答者の限定条件が異なるため。

⇒グラフは次頁に続きます



※性別：「その他」は回答なし

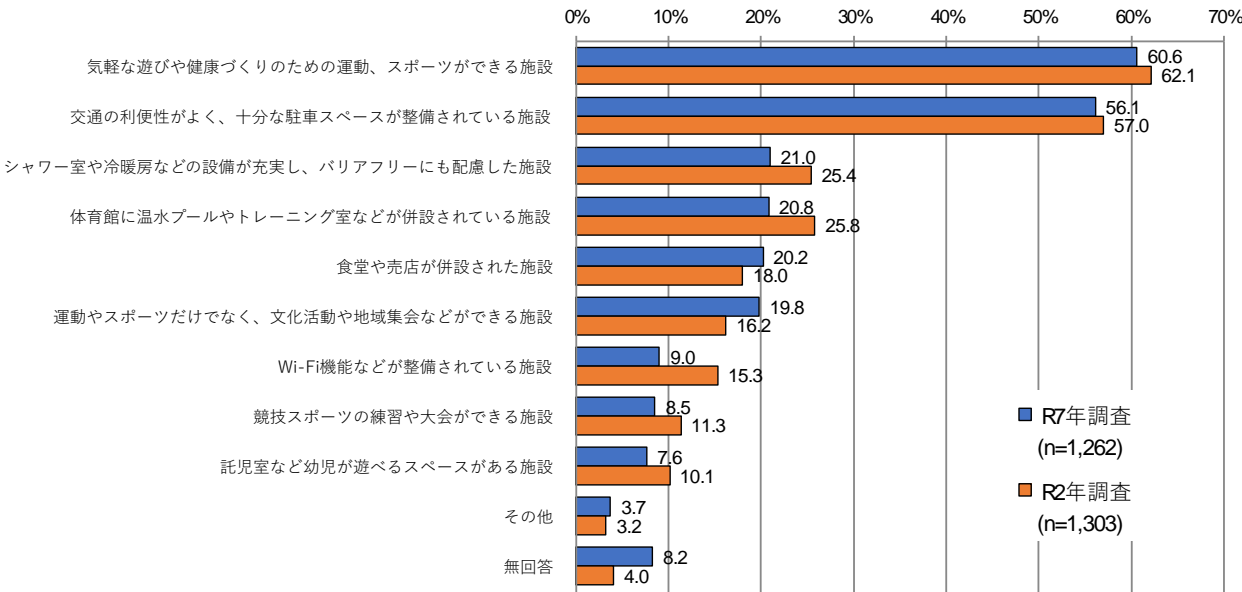
⇒グラフは次頁に続きます



問 22 あなたは身近なスポーツ施設をつくるとしたら、どのような機能をもった施設を望みますか？
 (主なもの3つまでに○)

身近なスポーツ施設をつくるとしたら、どのような機能をもった施設を望むかについては、「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」の割合が 60.6%と6割以上で最も高く、「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」(56.1%)が5割台で続き、この2項目の割合が特に高くなっている。以下は、「シャワー室や冷暖房などの設備が充実し、バリアフリーにも配慮した施設」(21.0%)、「体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設」(20.8%)、「食堂や売店などが併設された施設」が2割台で続いた。

前回調査との比較では、上位2項目は同様の順位となっている。

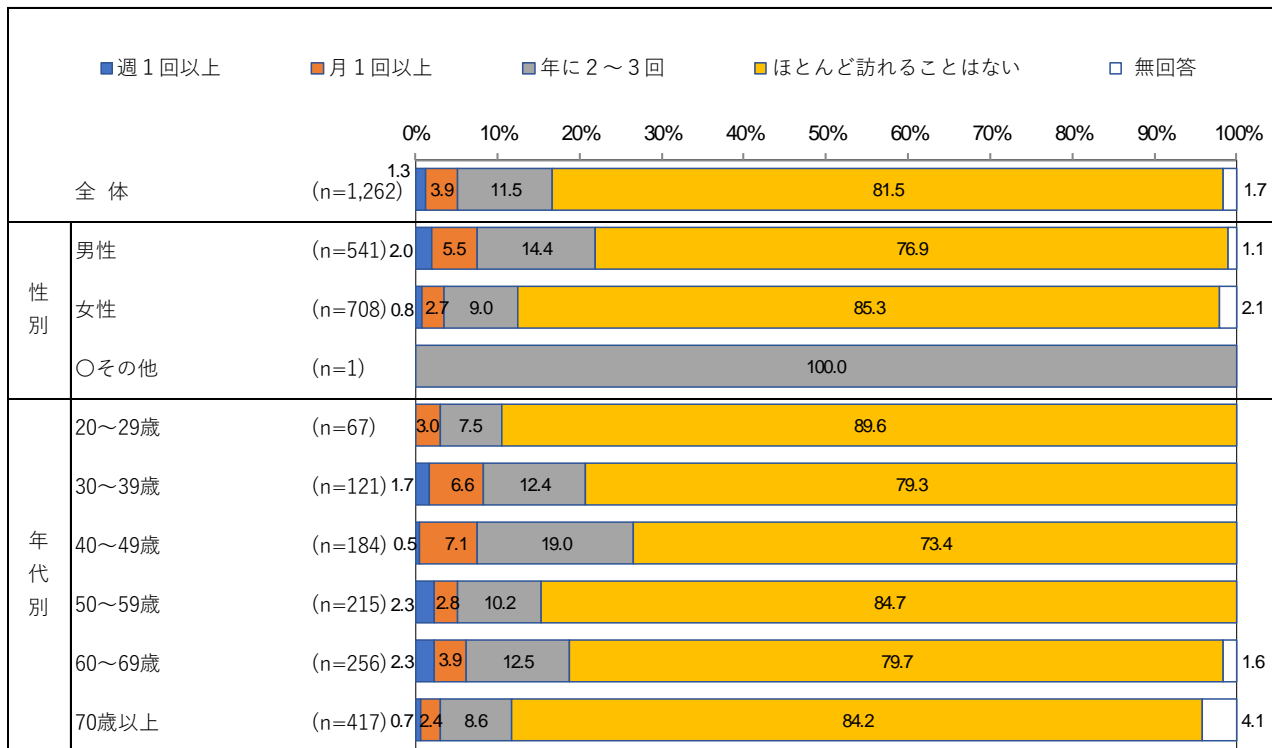


---H27 調査との比較を行わない理由---
 H27 年調査では、選択肢の内容が異なる他、R2 年調査にて選択肢が新設されているため。

(5) 八橋運動公園の利用について

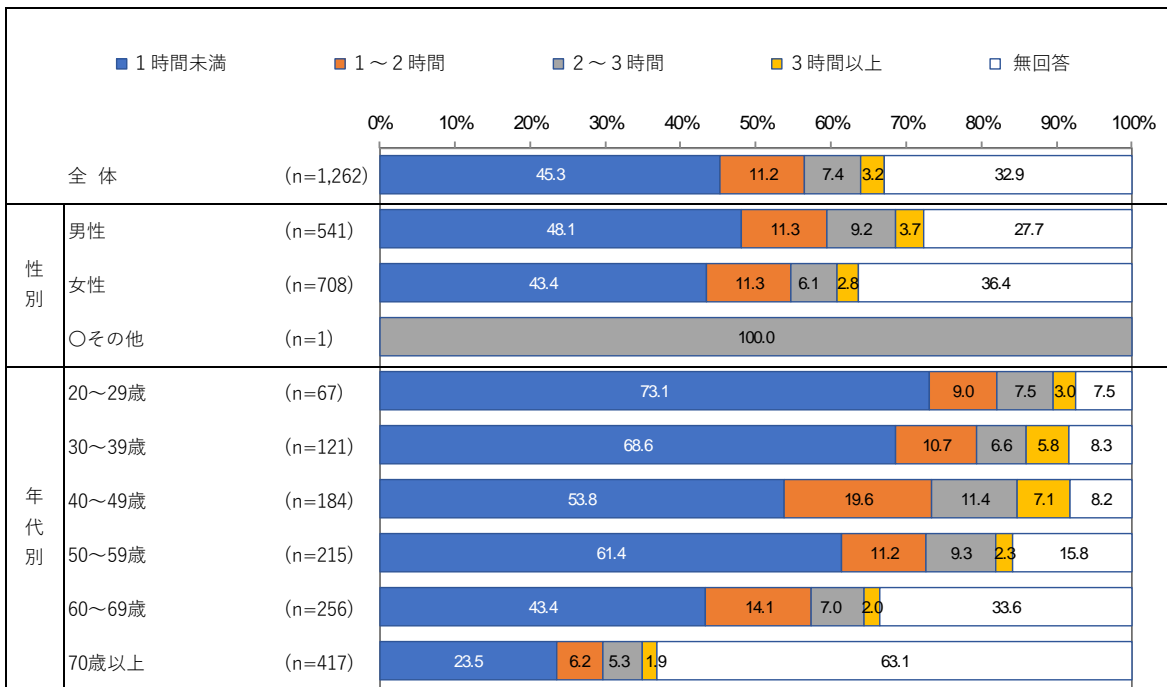
新問 23 あなたは八橋運動公園にどの程度訪れますか？（主なもの1つに○）

八橋運動公園を利用しているについては、「ほとんど訪れることはない」の割合が81.5%と8割台となった。



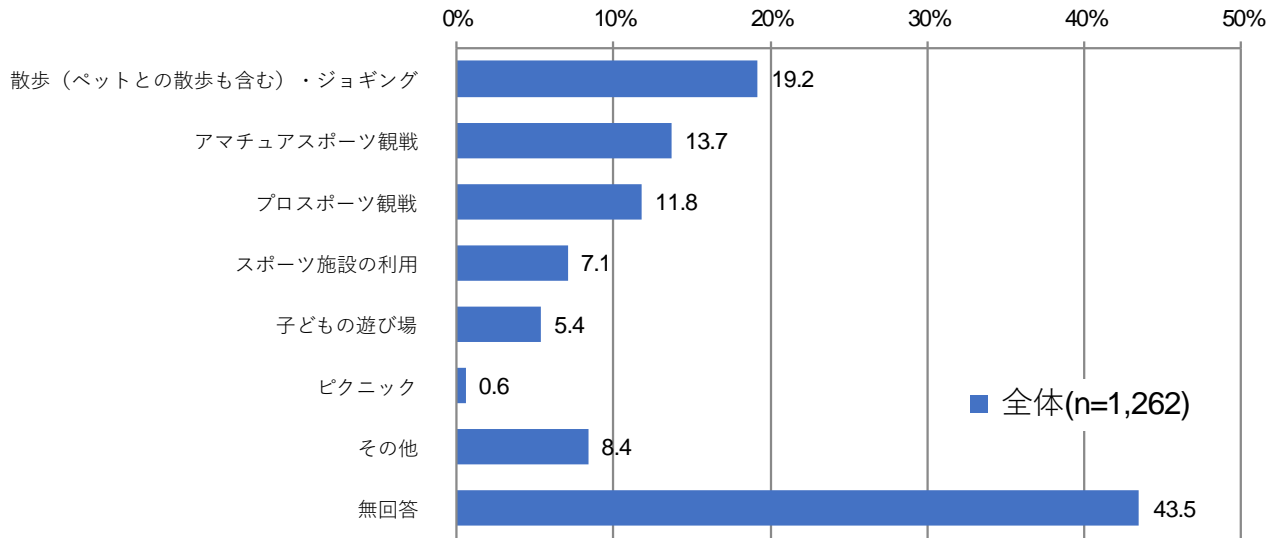
問 24 1 回あたりの滞在時間はどのくらいですか？（主なもの1つに○）

1 回あたりの滞在時間については、「1 時間未満」の割合が 45.3%で最も高く、「1～2 時間」(11.2%)、「2～3 時間」(7.4%) が続いている。



新問 25 八橋運動公園を何の目的で訪れますか？（主なもの3つまでに○）

八橋運動公園の訪問目的については、「散歩（ペットとの散歩含む）・ジョギング」の割合が19.2%と最も高く、「アマチュアスポーツ観戦」（13.7%）、「プロスポーツ観戦」（11.8%）が続いている。



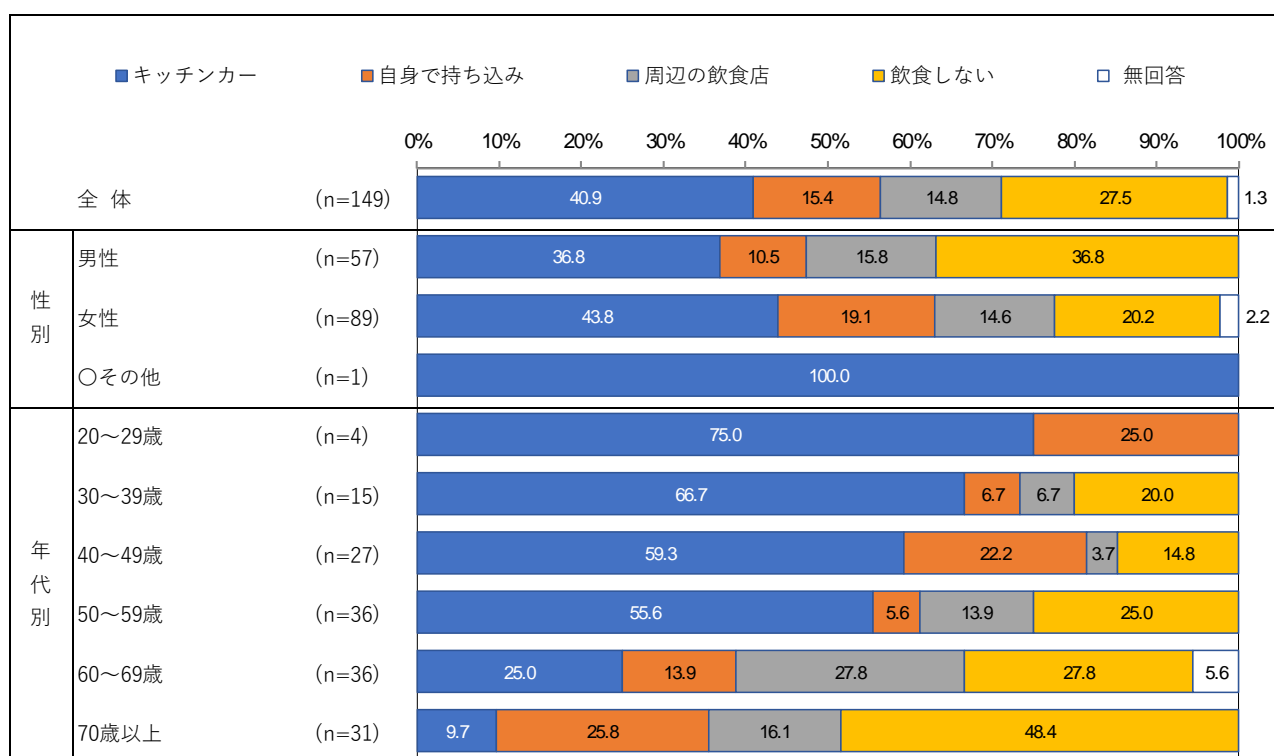
<問 26 は、問 25 で「6 プロスポーツ観戦」に○をつけた方に伺います。>

●問 26 試合観戦前後の飲食はどのようにしていますか？
 ●試合前（主なもの1つに○）

試合観戦前後の飲食（試合前）については、「キッチンカー」の割合が40.9%と最も高く、「飲食しない」（27.5%）、「自身で持ち込み」（15.4%）が続いている。

男女別にみると、男性では「キッチンカー」、「飲食しない」の割合がともに36.8%で最も高く、女性では「キッチンカー」の割合が43.8%で最も高く、男性の割合を上回っている。

年代別にみると、「キッチンカー」が、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

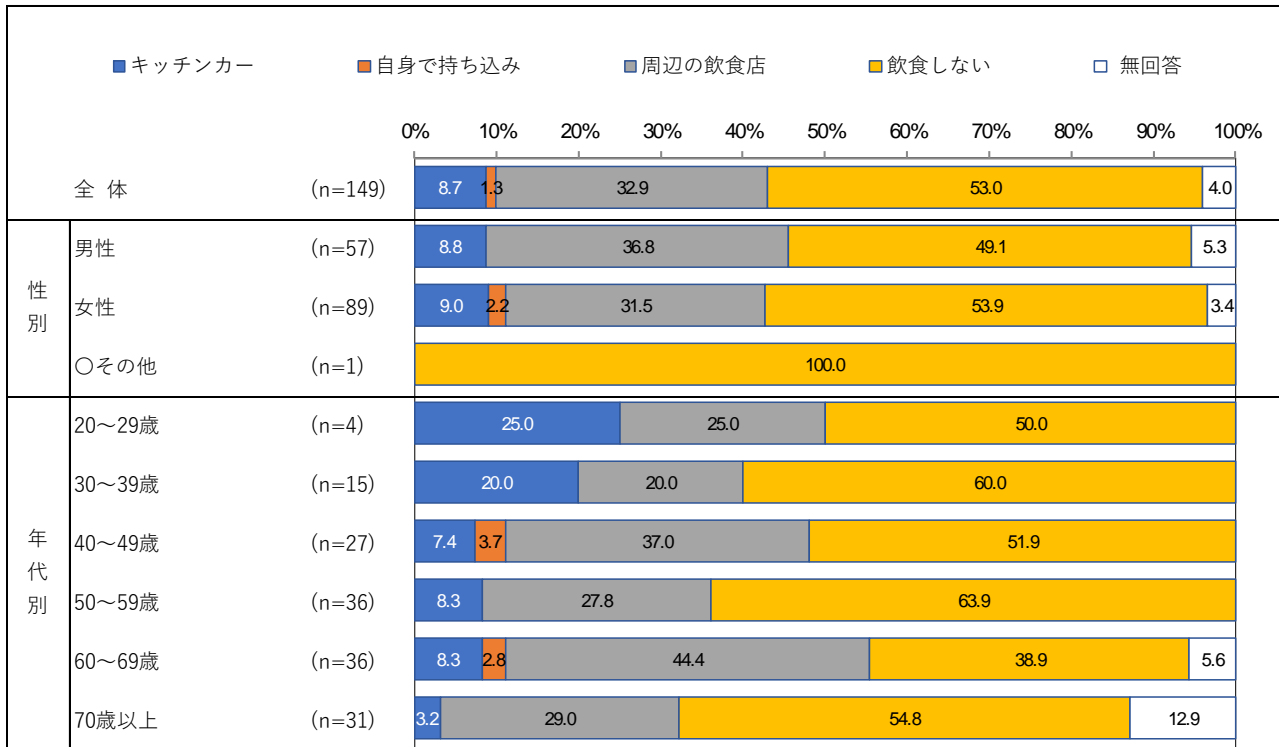


新問 26 試合観戦前後の飲食はどのようにしていますか？

●試合後（主なもの1つに○）

試合観戦前後の飲食（試合後）については、「飲食しない」の割合が53.0%と最も高く、「周辺の飲食店」（32.9%）、「キッチンカー」（8.7%）が続いている。

男女別にみると、男女ともに「飲食しない」の割合が最も高く、女性が男性の割合を上回っている。年代別にみると、60～69歳では「周辺の飲食店」の割合が44.4%で最も高くなっている。

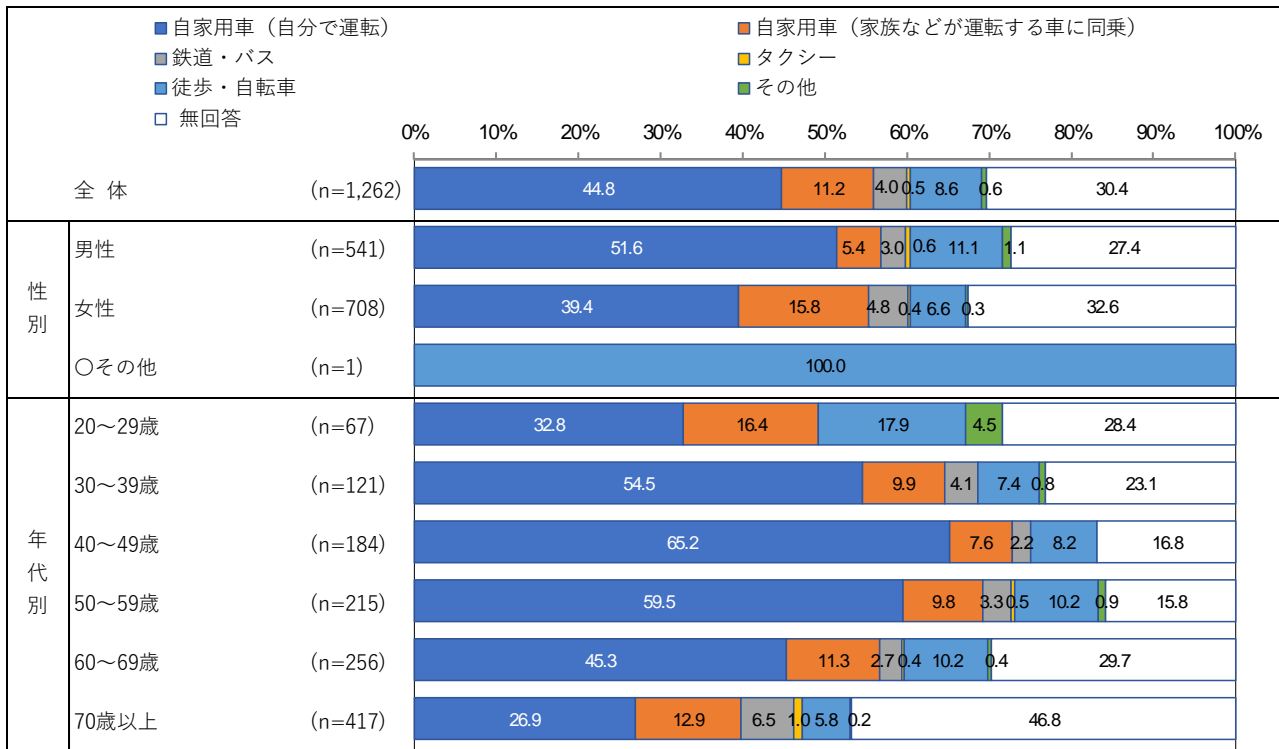


新問 27 八橋運動公園にはどのような交通手段で来られますか？（主なもの1つに○）

八橋運動公園への交通手段については、「自家用車（自分で運転）」の割合が 44.8%と最も高く、「自家用車（家族などが運転する車に同乗）」（11.2%）、「徒歩・自転車」（8.6%）が続いている。

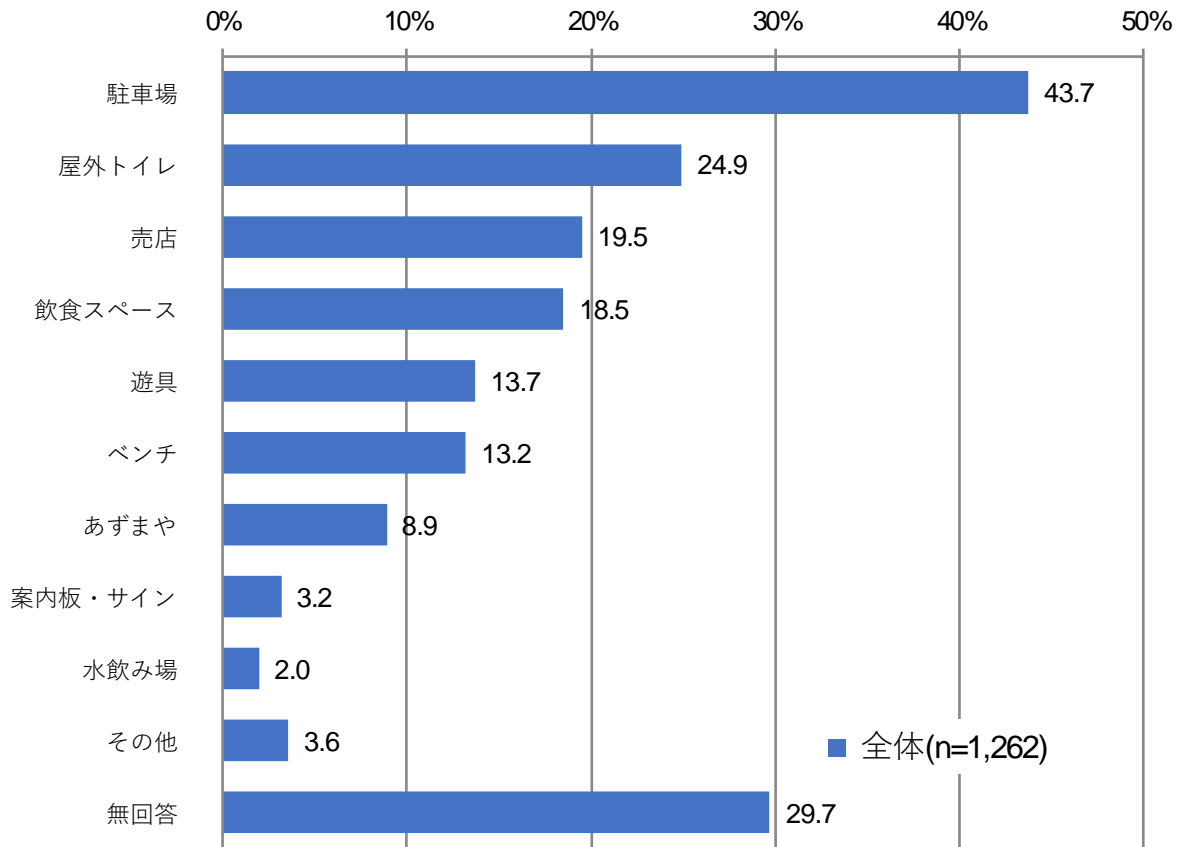
男女別にみると、男女ともに「自家用車（自分で運転）」の割合が最も高く、男性が女性の割合を上回っている。

年代別にみると、すべての年代で「自家用車（自分で運転）」の割合が最も高く、40～49 歳までは年代が上がるにつれて上昇し、50～59 歳以降は年代が上がるにつれて低下している。



⑨問 28 現在の八橋運動公園に追加や充実させてほしい機能などがありますか？
(主なもの3つまでに○)

八橋運動公園に追加や充実させてほしい機能については、「駐車場」の割合が43.7%と最も高く、「屋外トイレ」(24.9%)、「売店」(19.5%)が続いている。



(6) 秋田市が主催するスポーツ・レクリエーション行事について

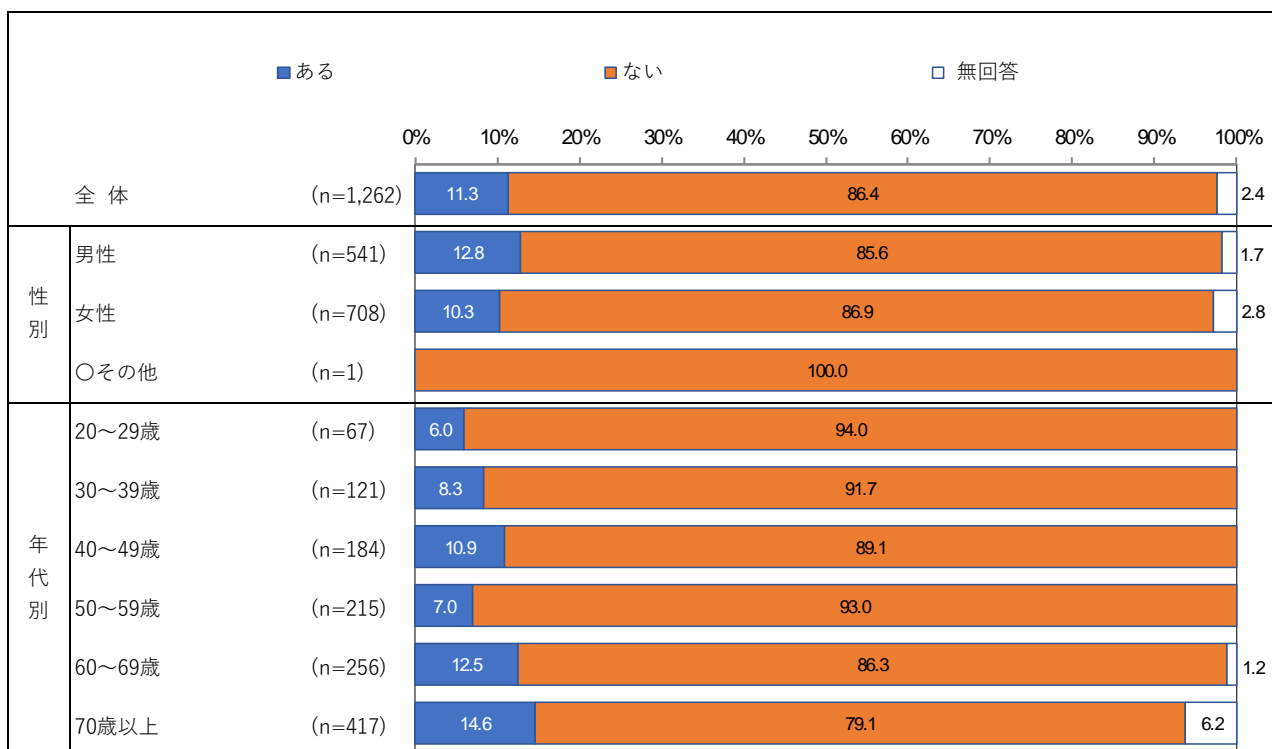
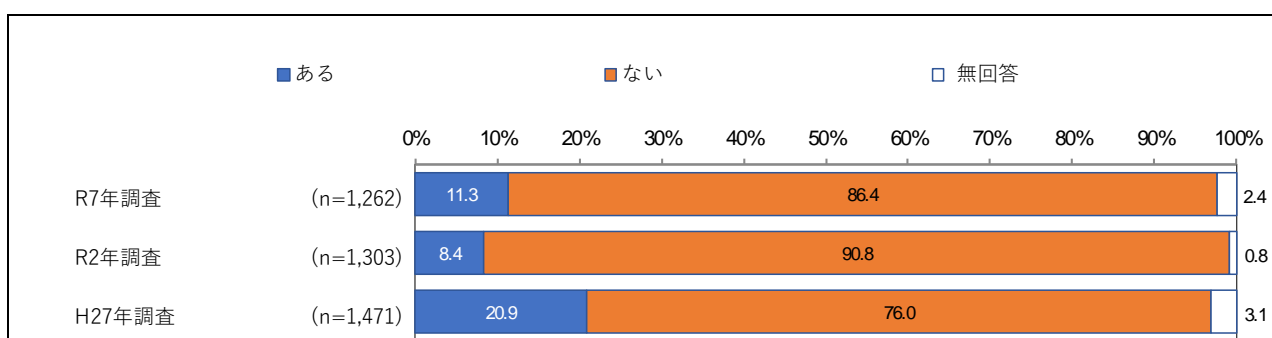
問 29 あなたは、この1年間に秋田市、各地域、町内会およびPTAなどが開催した運動やスポーツ・レクリエーションを目的とした行事に参加したことがありますか？

(当てはまる番号1つに○)

この1年間に秋田市や各地域、町内会およびPTAなどが開催したスポーツ・レクリエーション行事に参加したことがあるかについては、「ない」が86.4%と8割以上を占め、「ある」の割合は11.3%と低い割合となった。「ある」の割合は前回調査(8.4%)に比べて2.9ポイント上昇している。

男女別にみると、「ある」の割合は男性で12.8%、女性で10.3%と、男性の方が高くなっている。

年代別にみると、「ある」の割合は50～59歳(7.0%)を除き、年代が上がるにつれて高くなっている。



<問 30・問 31 は、問 29 で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

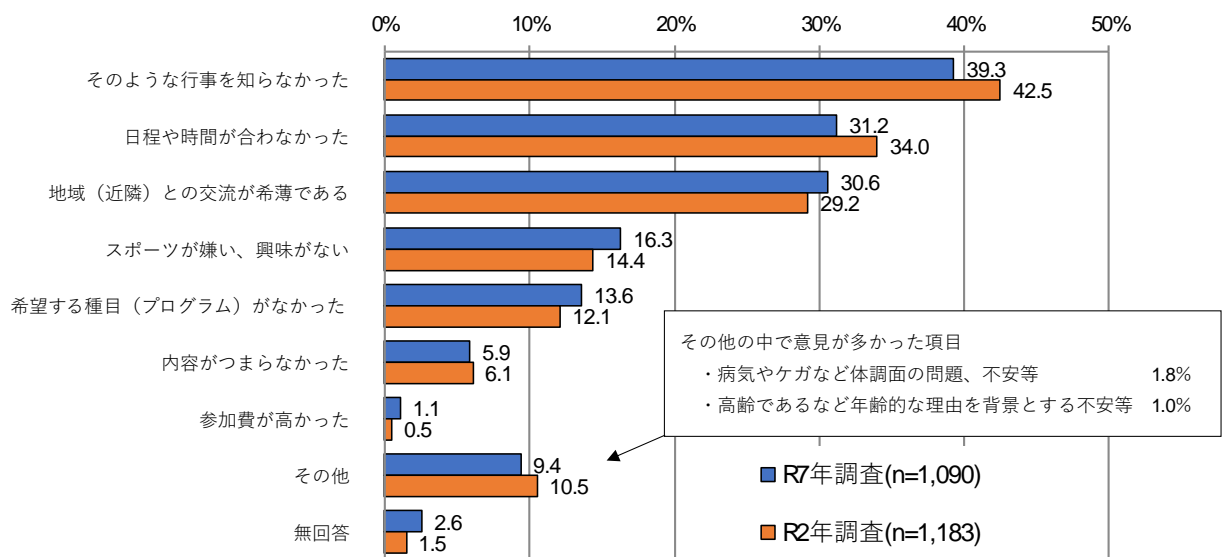
問 30 参加しなかった（できなかった）理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

なぜ参加しなかったかについては、「そのような行事を知らなかった」の割合が 39.3%で最も高く、「日程や時間が合わなかった」(31.2%)が続き、以下は「地域（近隣）との交流が希薄である」(30.6%)、「スポーツが嫌い、興味がない」(16.3%)、「希望する種目（プログラム）がなかった」(13.6%)などの順となった。

男女別にみると、いずれも「そのような行事を知らなかった」（男性 44.5%、女性 35.4%）の割合が最も高くなっている。

年代別にみると、50～59 歳までの各年代では「そのような行事を知らなかった」、60～69 歳では「日程や時間が合わなかった」、70 歳以上では「地域（近隣）との交流が希薄である」の割合が、それぞれ最も高くなっている。

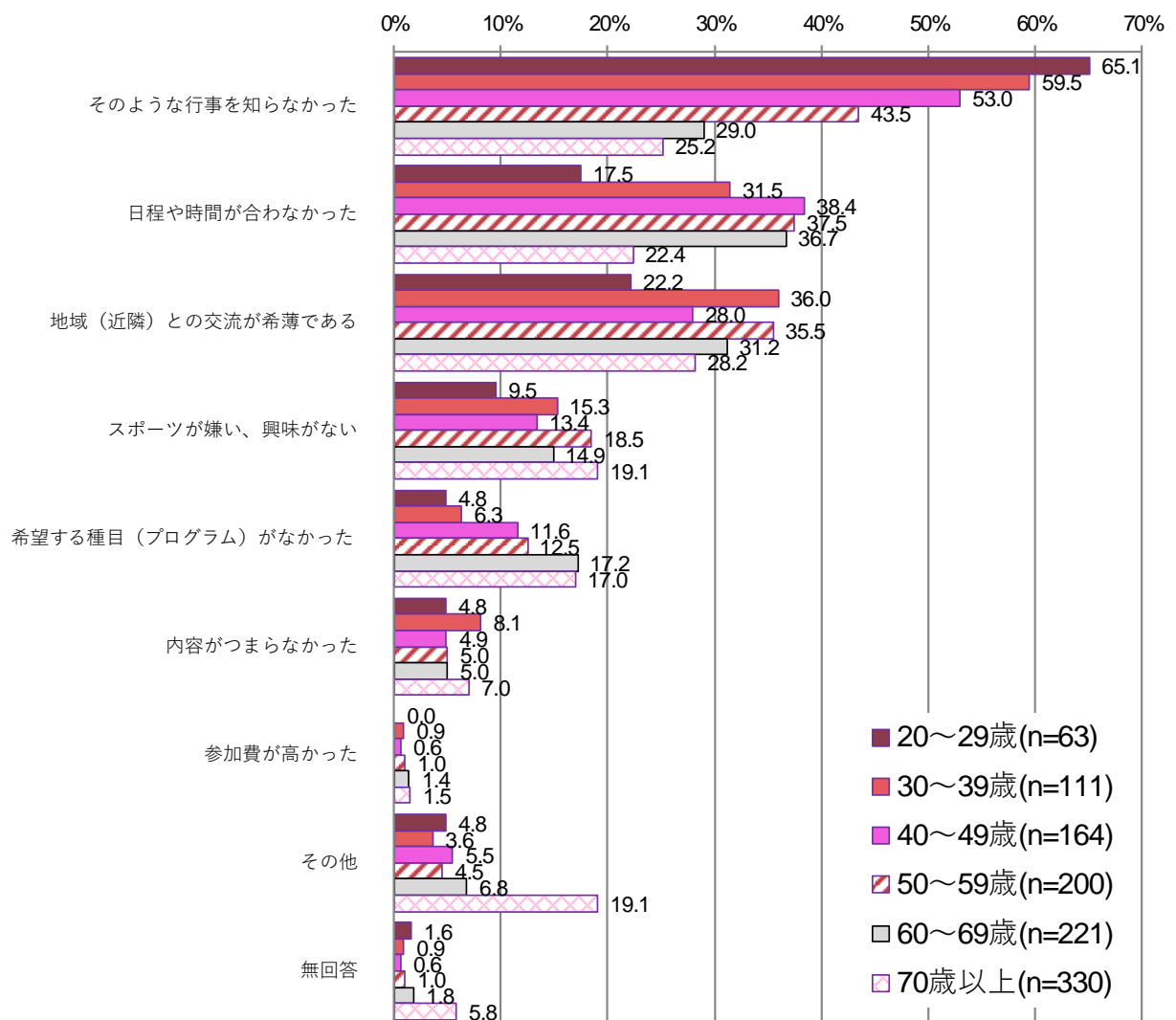
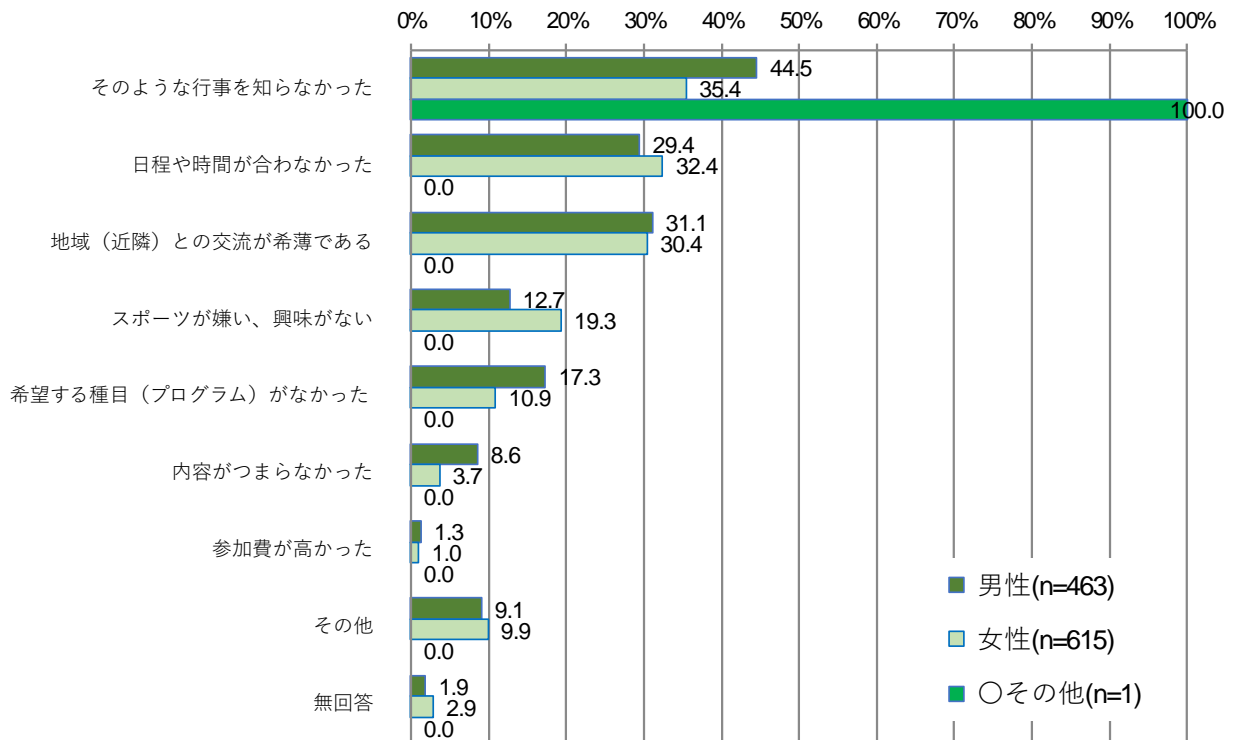
前回調査と比較すると、すべての項目にて順位に変動はなかった。



⇒グラフは次頁に続きます

---H27 年調査との比較を行わない理由---

H27 年調査とでは、回答個数が異なるため。



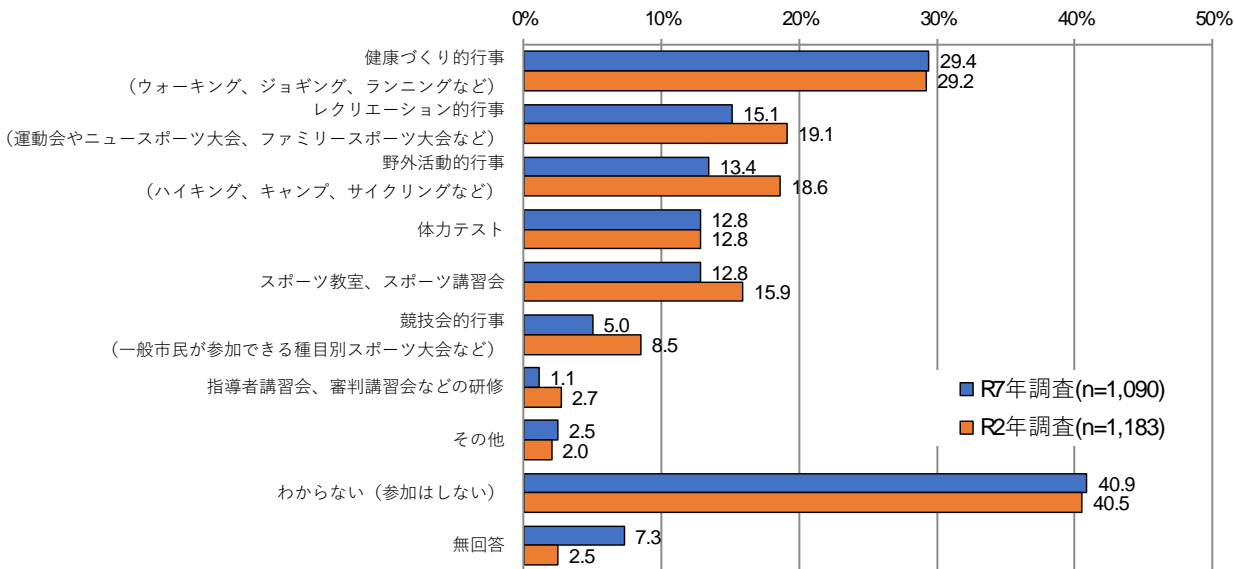
問 31 今後、秋田市や各地域等でスポーツ行事が開催される場合どのような行事に参加したいと思いますか？（主なもの3つまでに○）

今後、秋田市や各地域などでスポーツ行事が開催される場合、どのような行事に参加したいと思うかについては、「健康づくり的行事」の割合が 29.4%と3割近くで最も高く、「レクリエーション的行事」（15.1%）が続き、以下は「野外活動的行事」（13.4%）、「体力テスト」・「スポーツ教室、スポーツ講習会」（12.8%）などの順となった。一方、「わからない（参加はしない）」の割合は 40.9%と4割となった。

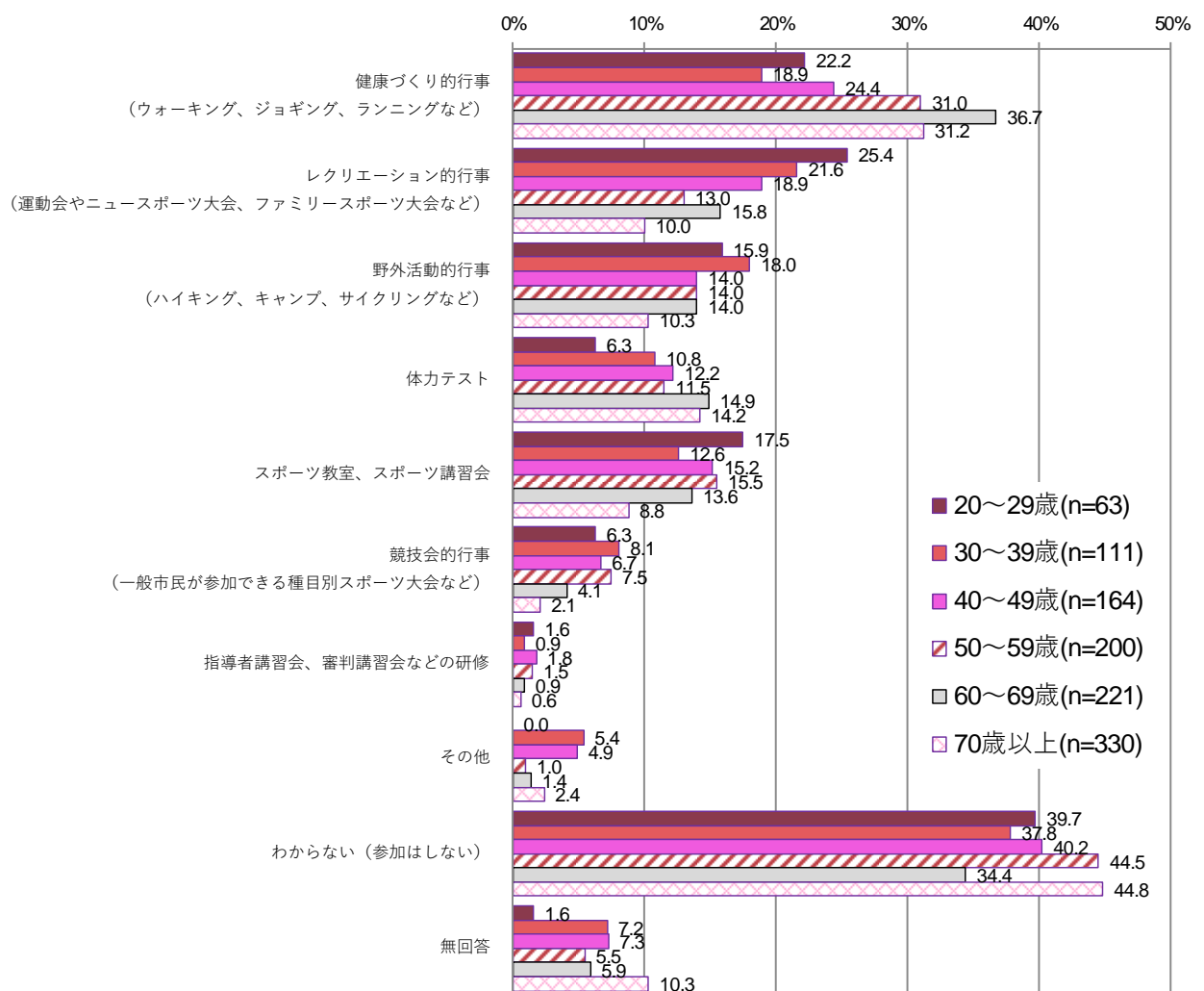
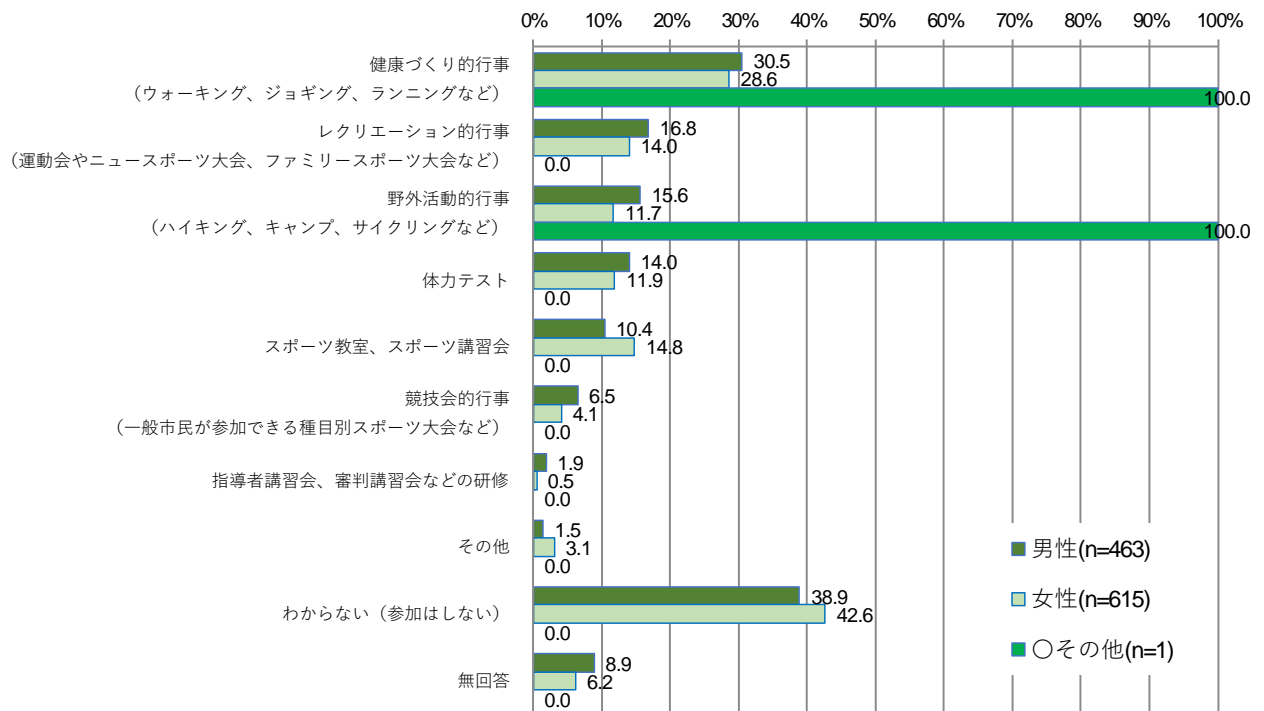
男女別にみると、いずれも「健康づくり的行事」（男性 30.5%、女性 28.6%）の割合が最も高く、男性が女性を上回っている項目が多い。

年代別にみると、20～29歳と30～39歳では「レクリエーション的行事」の割合が最も高く、その他の年代では、「健康づくり的行事」の割合が最も高くなっている。

前回調査と比較すると、上位3項目の順位に変動はなかったが、4位の「体力テスト」と5位の「スポーツ教室、スポーツ講習会」の順位が入れ替わった。



---H27 調査との比較を行わない理由---
 H27 年調査とでは、回答個数が異なるため。

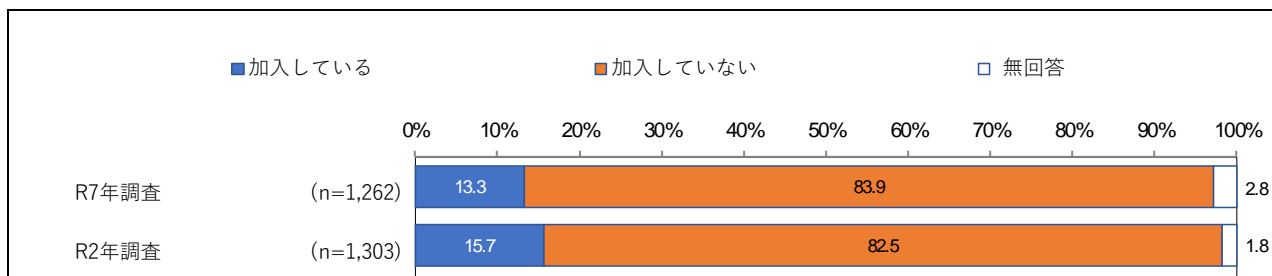


(7) スポーツクラブや同好会などについて

問 32 あなたは、スポーツクラブや同好会、サークルに加入（参加）していますか？
（当てはまる番号1つに○）

スポーツクラブや同好会、サークルに加入（参加）しているかについては、「加入していない」の割合が83.9%と8割台となり、「加入している」（13.3%）の割合は1割台となっている。

前回調査と比較すると、「加入していない」の割合が上昇している。



---H27年調査との比較を行わない理由---

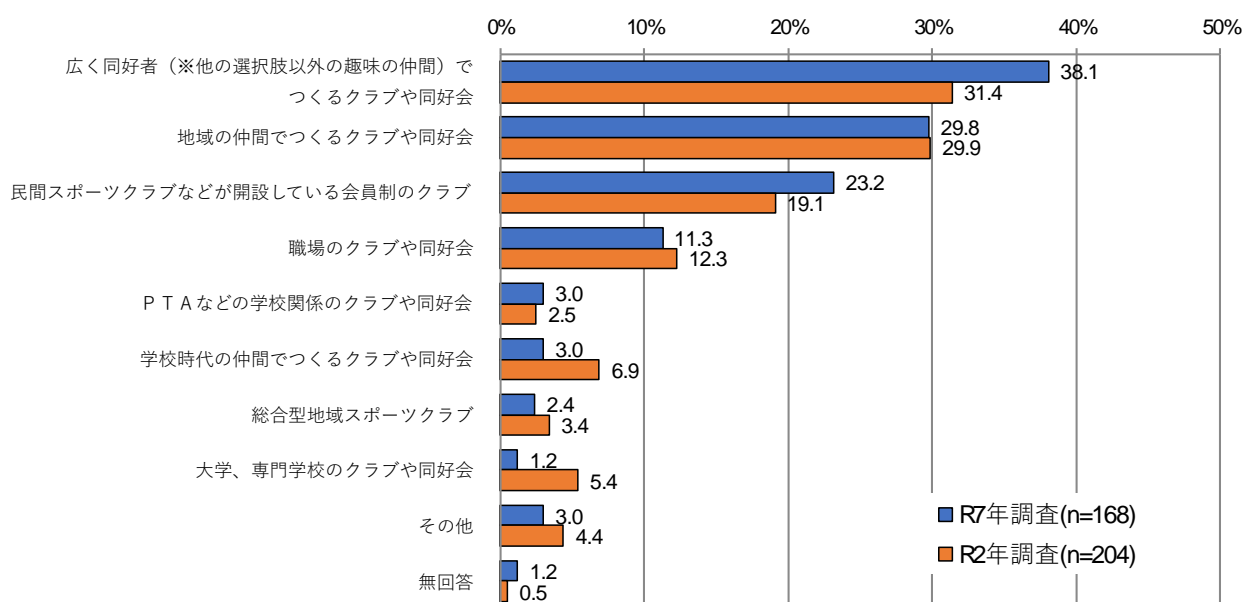
H27年調査とでは、選択肢の内容が異なるため。

<問 33 は、問 32 で「1 加入している」に○をつけた方に伺います。>

問 33 加入しているクラブや同好会、サークルは次のどれですか？（当てはまる番号すべてに○）

加入しているクラブや同好会、サークルについては、「広く同好者（※他の選択肢以外の趣味の仲間）でつくるクラブや同好会」が 38.1%で最も高く、「地域の仲間をつくるクラブや同好会」が 29.8%で続き、以下は「民間スポーツクラブなどが開設している会員制のクラブ」（23.2%）、「職場のクラブや同好会」（11.3%）などの順となっている。

前回調査と比較すると、上位4項目の順位に変動はなく、「広く同好者（※他の選択肢以外の趣味の仲間）でつくるクラブや同好会」（38.1%）の割合が 6.7ポイント上昇した。



※調査票では（1～7以外の趣味の仲間）としている。

-----過去調査と比較する上での注意点-----

広く同好者（1～7以外の趣味の仲間）でつくるクラブや同好会：

R2 年調査では「同好者（他の選択肢以外の趣味の仲間）でつくるクラブや同好会」としていた。

<問 32 で「2 加入していない」に○をつけた方に伺います。>

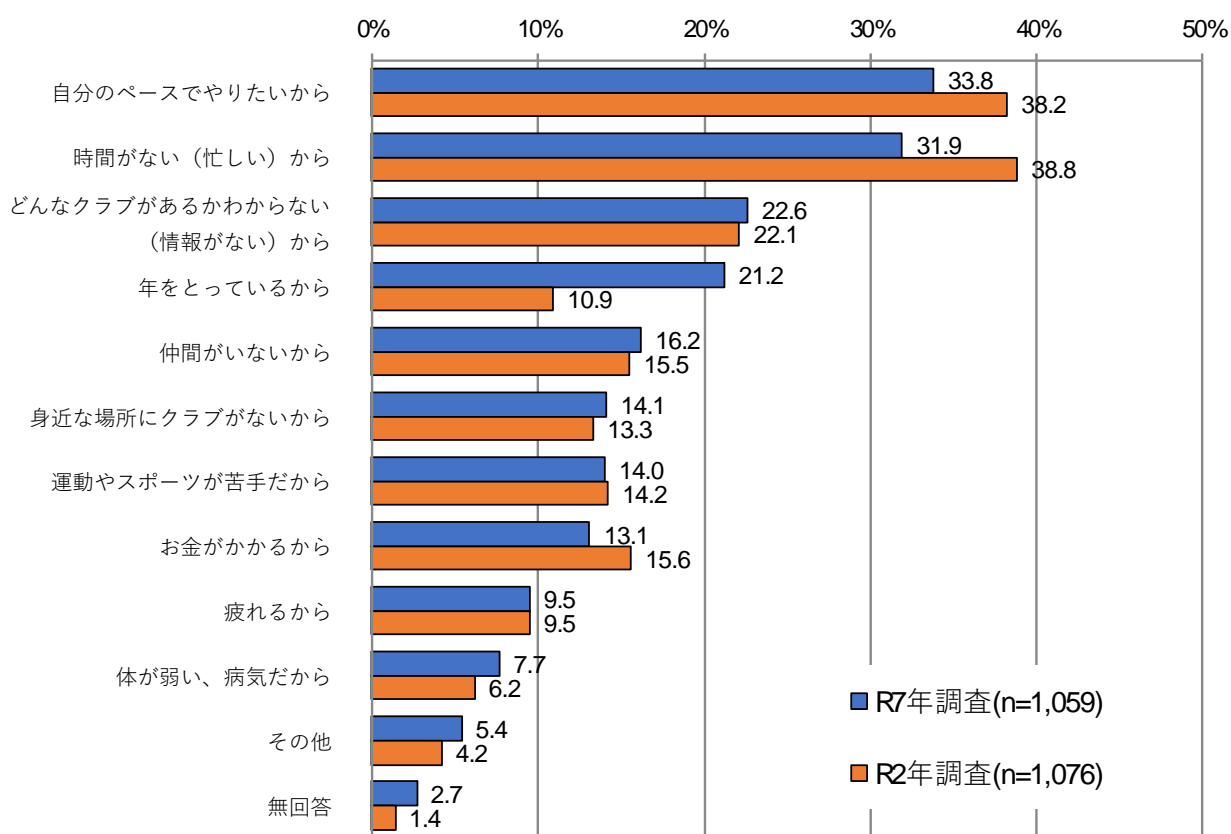
問 34 加入していない理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

加入していない理由については、「自分のペースでやりたいから」が 33.8%で最も割合が高く、「時間がない（忙しい）から」が 31.9%と続き、この2つが3割を超え突出して高い割合となっている。以下は、「どんなクラブがあるかわからない（情報が無い）から」（22.6%）、「年をとっているから」（21.2%）などの順となった。

男女別にみると、男性では「自分のペースでやりたいから」（40.7%）の割合が最も高くなった一方、女性では「時間がない（忙しい）から」（35.2%）の割合が最も高くなっている。

年代別にみると、20～29 歳から 60～69 歳で「時間がない（忙しい）から」、70 歳以上では「歳をとっているから」の割合が、それぞれ最も高くなっている。（同率含む）

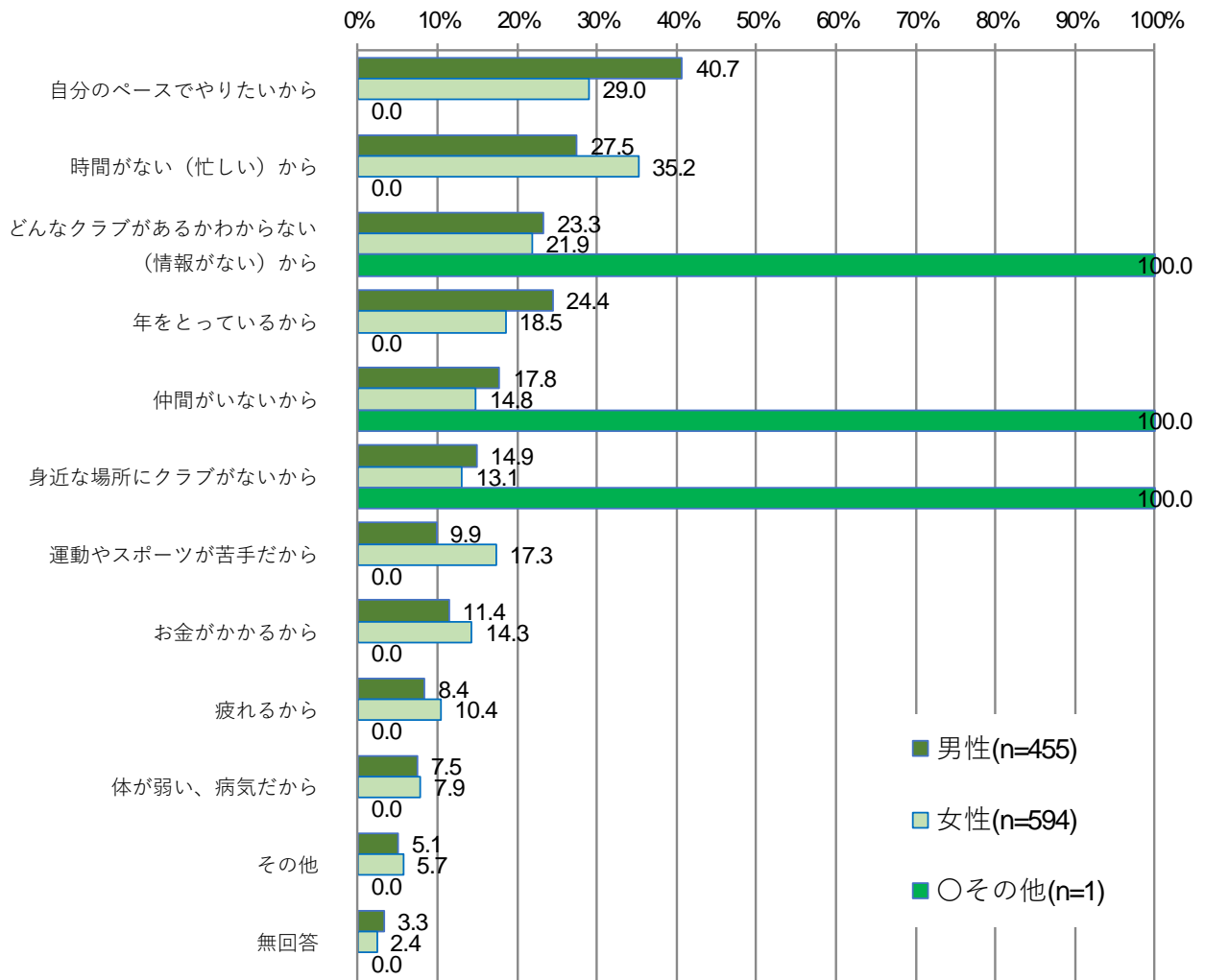
前回調査と比較すると、上位2位の順位が入れ替わったほか、「年をとっているから」が10ポイントを超えて上昇した。



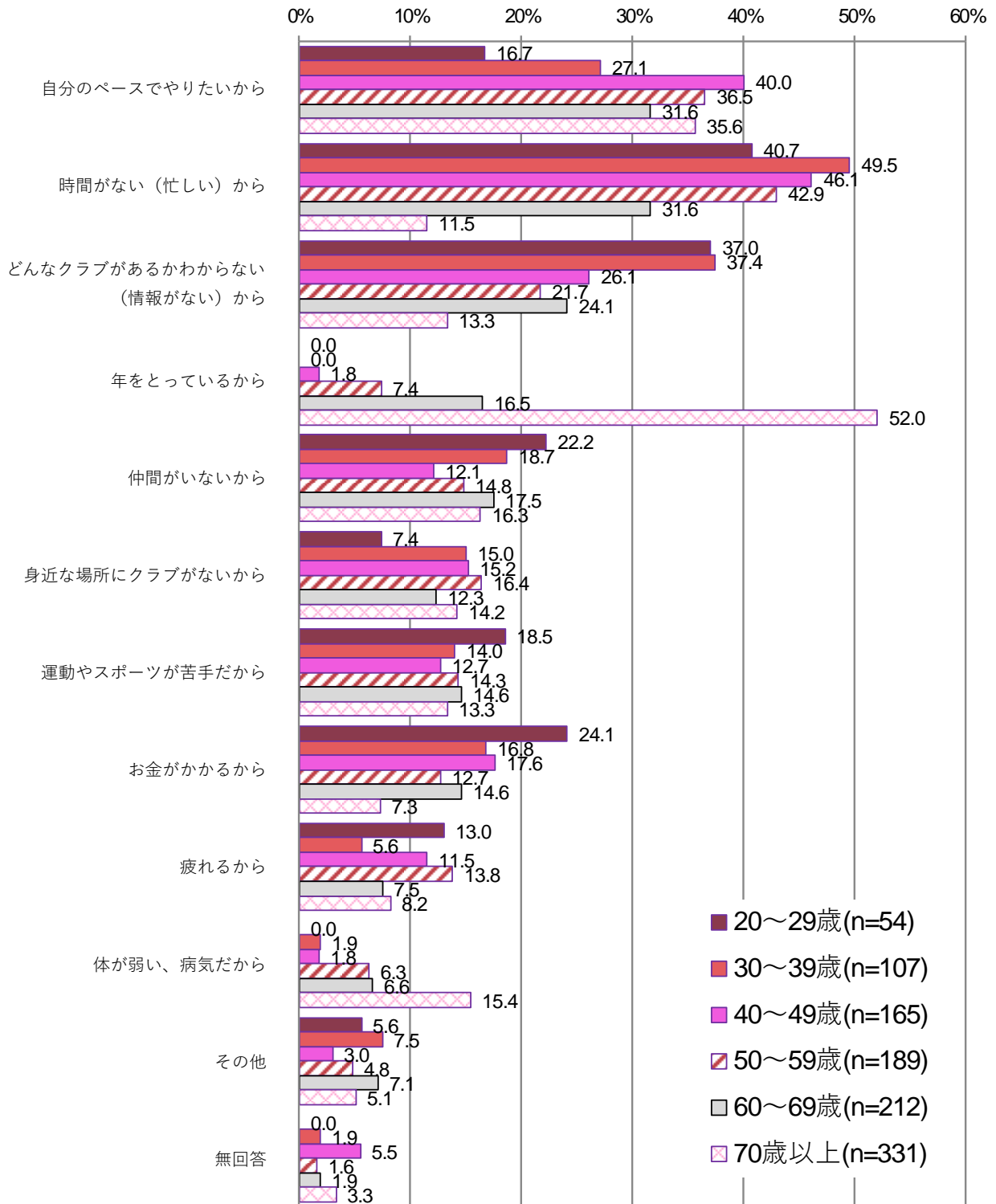
---H27 年調査との比較を行わない理由---

R2 年調査にて新設された設問のため。

⇒グラフは次頁に続きます



⇒グラフは次頁に続きます



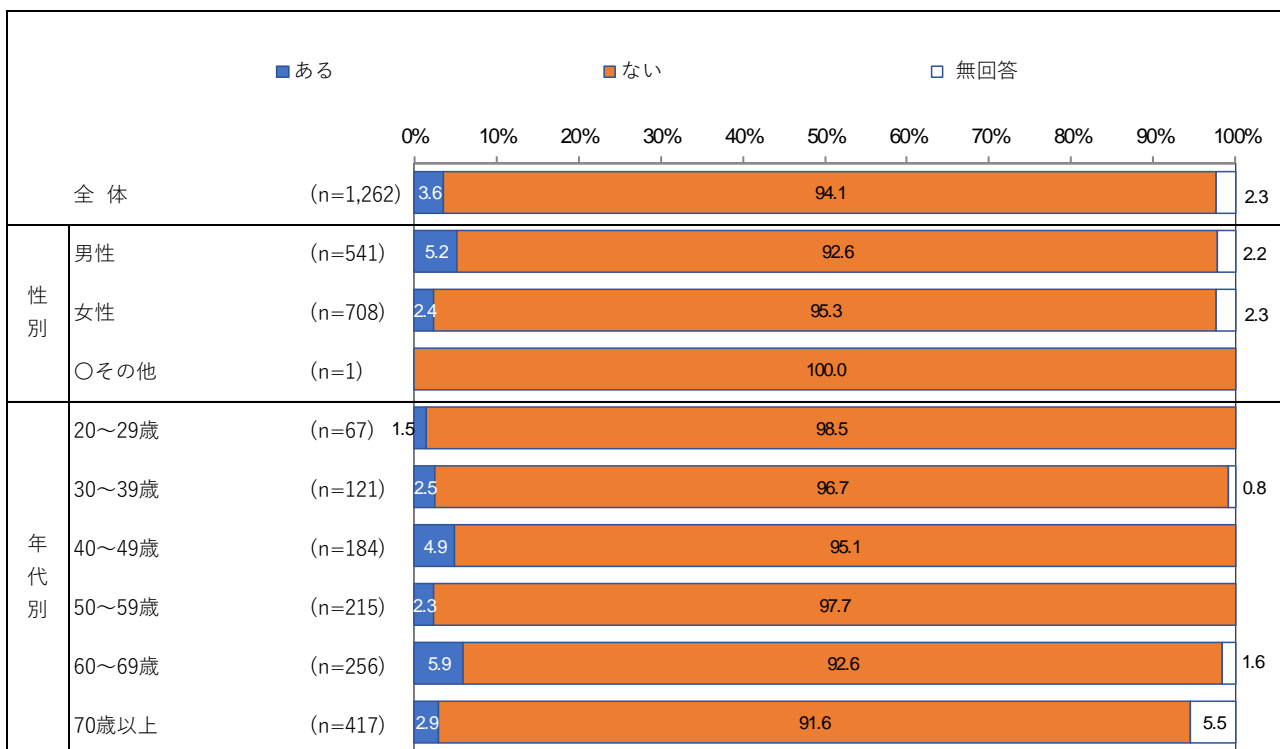
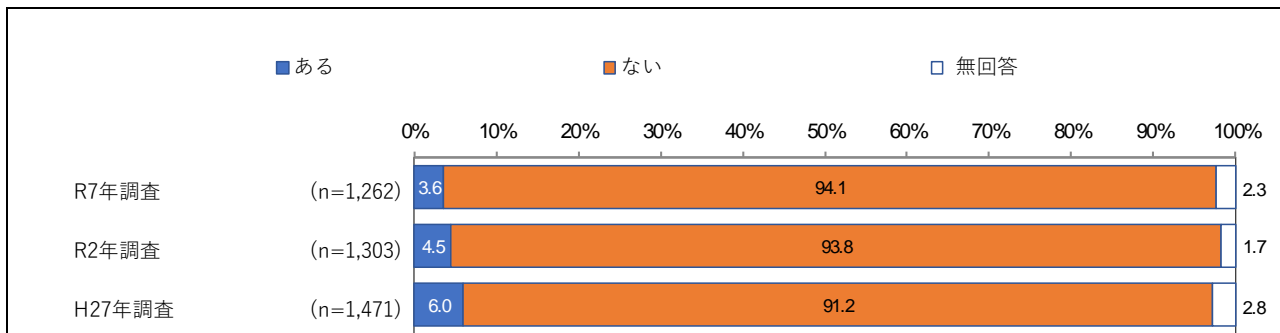
(8) スポーツボランティアについて

問 35 あなたは、過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがありますか？（当てはまる番号1つに○）

過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったかについては、「ない」の割合が94.1%で9割以上を占め、「ある」の割合は3.6%と1割未満の極めて低い割合となった。前回調査と比較すると、「ある」の割合は0.9ポイント低下している。

男女別にみると、「ある」の割合は男性5.2%、女性2.4%とともに1割未満と低くなっている。

年代別にみると、「ある」の割合はすべての年代で1割未満となっている。

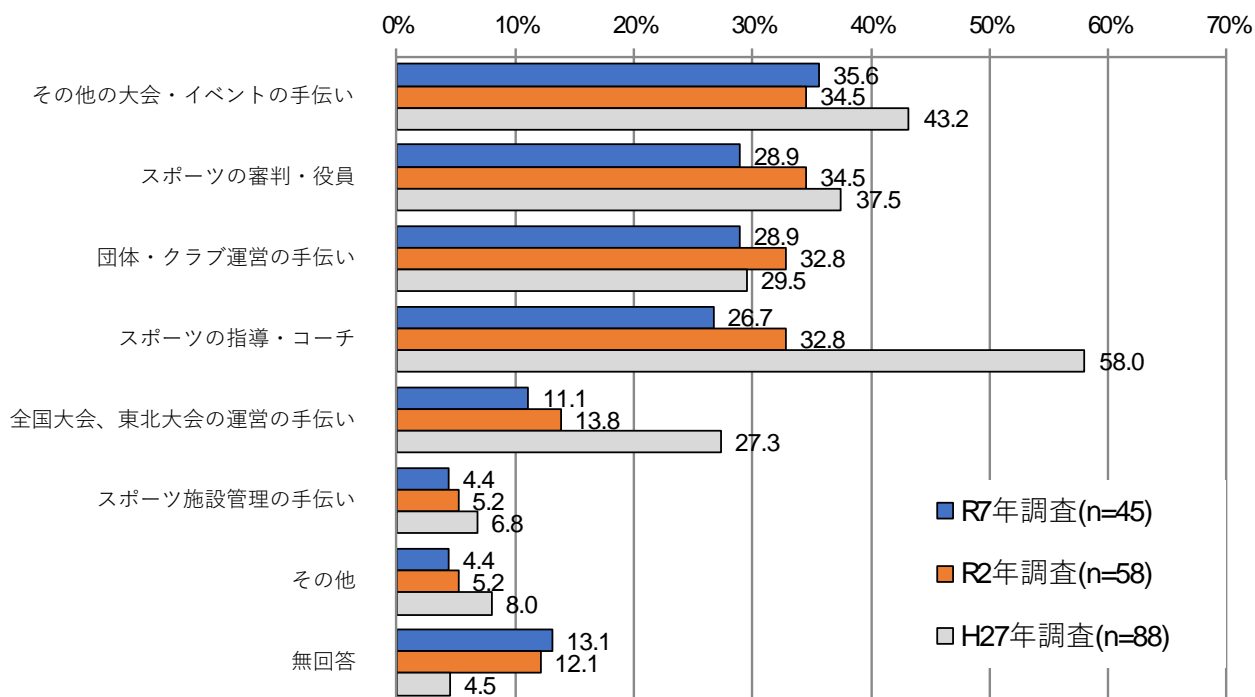


<問 35 で「1 ある」に○をつけた方に伺います。>

問 36 あなたはこの1年間に何回くらいスポーツボランティアを行いましたか？（当てはまるものすべて）より、行ったスポーツボランティアの種類

この1年間に行ったスポーツボランティアの種類については、「その他の大会・イベントの手伝い」の割合が35.6%で最も高く、これに「スポーツの審判・役員」と「団体・クラブ運営の手伝い」（各28.9%）が続いた。

前回調査と比較すると、「その他の大会・イベントの手伝い」の割合が上昇した一方、その他の項目ではいずれも割合が低下している。

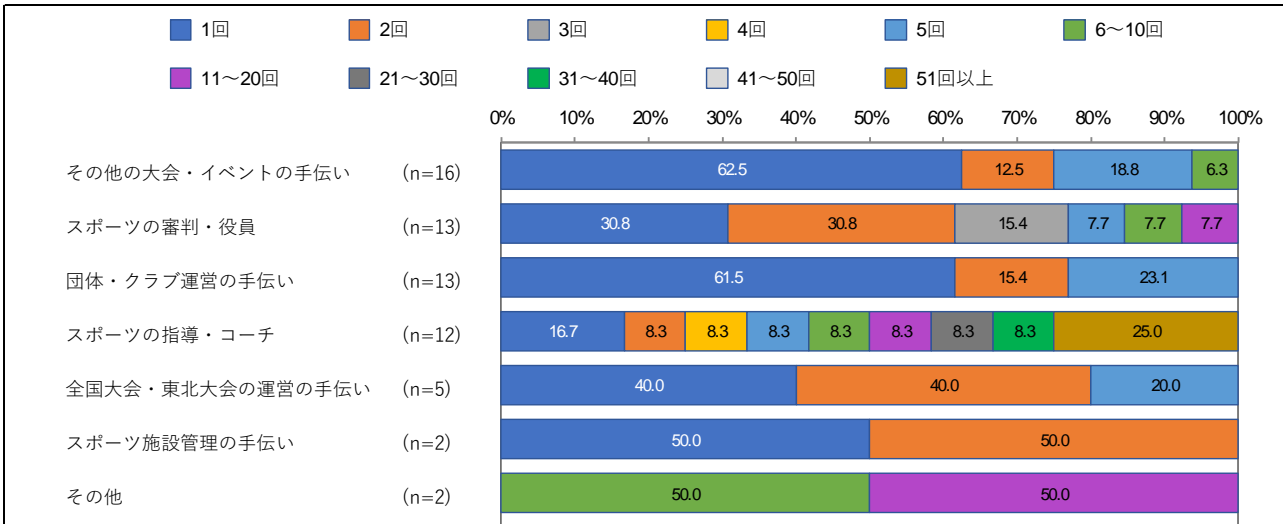


-----過去調査と比較する上での注意点-----

全国大会、東北大会の運営の手伝い：H27年調査では、「全国大会、東北大会の運営協力員」としていた。

問 36 あなたはこの1年間に何回くらいスポーツボランティアを行いましたか？（行った回数を記入してください。）

この1年間に何回くらいスポーツボランティアを行ったかについて、ボランティアの内容別にみると、「その他の大会・イベントの手伝い」（62.5%）、「スポーツの審判・役員」（30.8%）、「団体・クラブ運営の手伝い」（61.5%）、「全国大会・東北大会の運営の手伝い」（40.0%）、「スポーツ施設管理の手伝い」（50.0%）で、〔1回〕の割合が最も高く（同率含む）、「スポーツの指導・コーチ」では〔51回以上〕が25.0%と最も高い割合となっている。



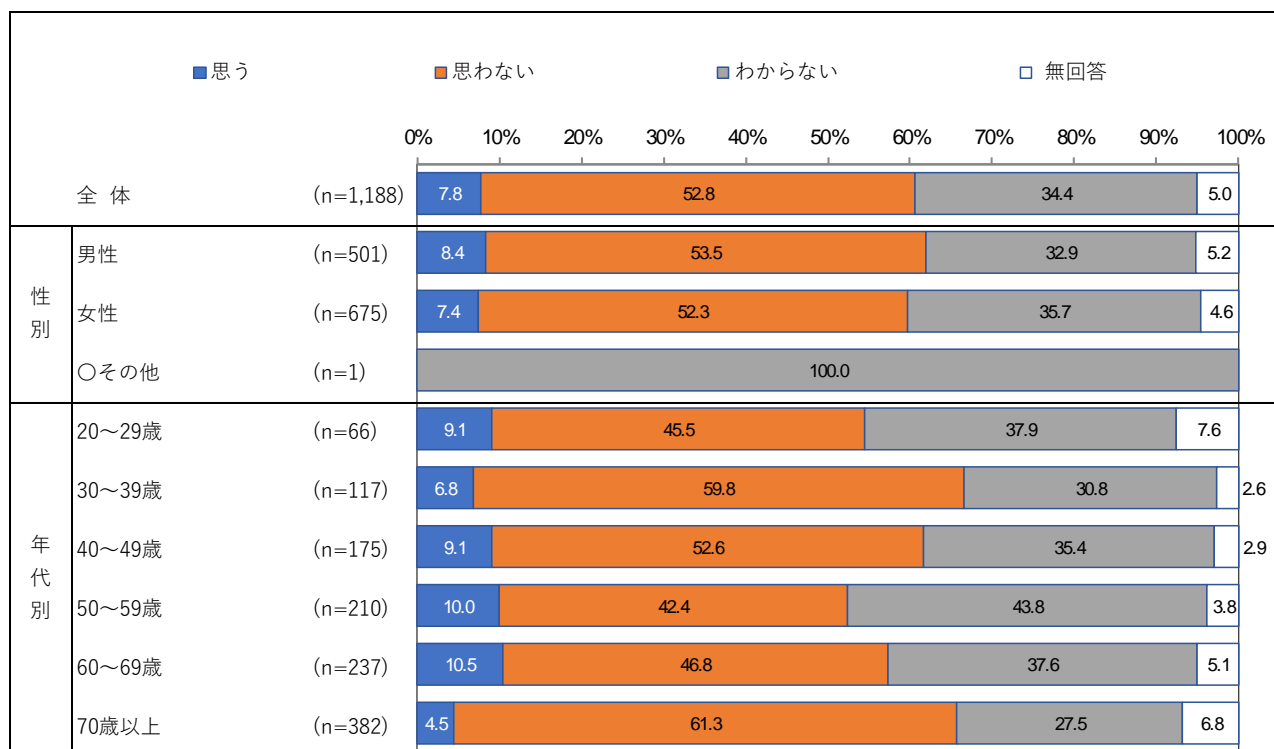
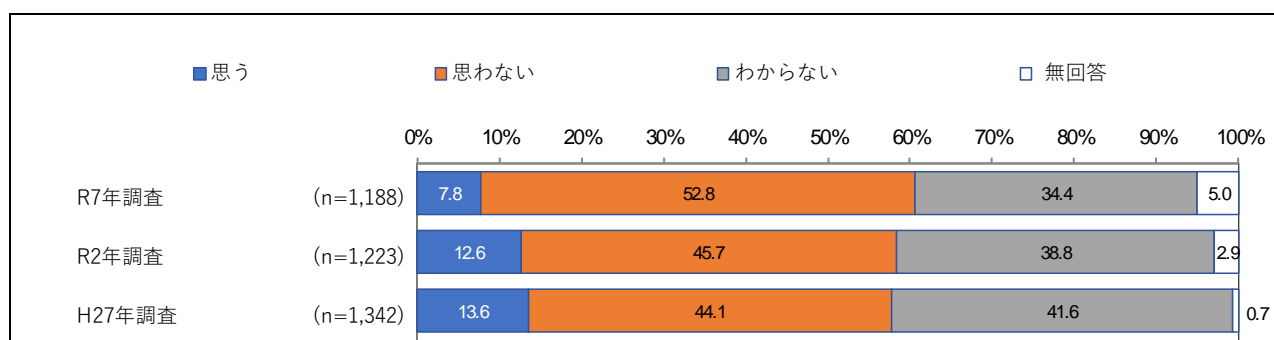
<問 35 で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

問 37 今後、あなたはスポーツボランティアの機会があれば行きたいと思いますか？
 (当てはまる番号1 つに○)

今後、スポーツボランティアの機会があれば行きたいと思うかについては、「思わない」の割合が 52.8%と 5 割以上を占め最も高く、「わからない」(34.4%) が続き、「思う」(7.8%) は 1 割未満となった。前回調査と比較すると、「思う」の割合 4.8 ポイント低下している。

男女別にみると、「思う」の割合は男性 8.4%、女性 7.4%と、どちらも 1 割未満で、ほぼ同様の割合となっている。

年代別にみると、「思う」の割合は 50～59 歳および 60～69 歳でわずかに 1 割を超え、他の年代は 1 割未満となっている。

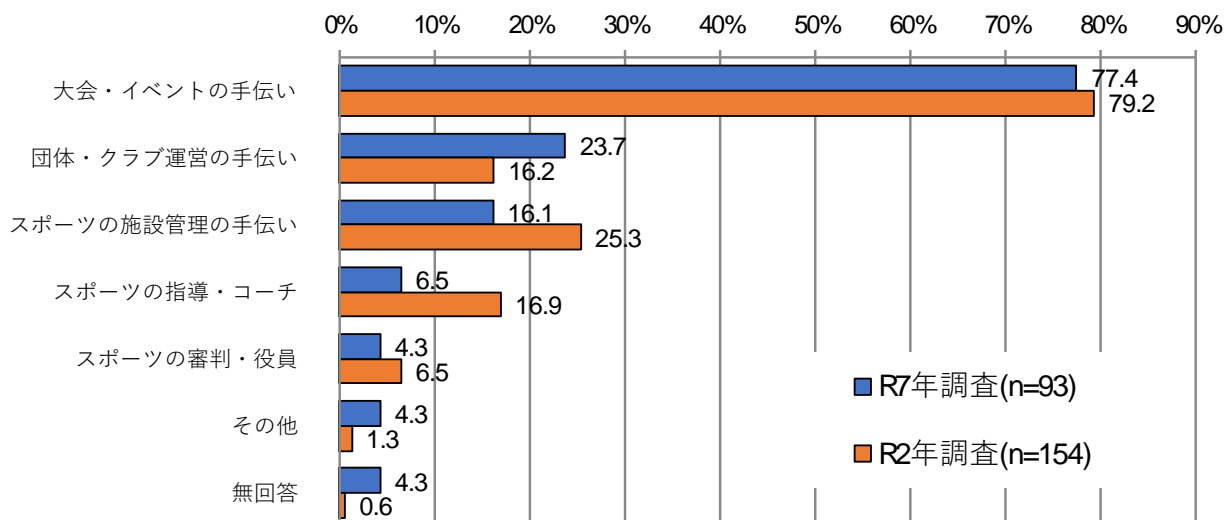


<問 37 で「1 思う」に○をつけた方に伺います。>

問 38 行いたいスポーツボランティアは何ですか？（主なもの2つまでに○）

行いたいスポーツボランティアについては、「大会・イベントの手伝い」（77.4%）が8割近くと突出して高い割合となり、「団体・クラブ運営の手伝い」（23.7%）が2割台で続き、以下は「スポーツ施設管理の手伝い」（16.1%）、「スポーツの指導・コーチ」（6.5%）などの順となっている。

前回調査と比較すると、「団体・クラブ運営の手伝い」が7.5ポイント上昇した一方、「スポーツ施設管理の手伝い」が9.2ポイント、「スポーツの指導・コーチ」が10.4ポイントとそれぞれ低下した。



---H27 年調査との比較を行わない理由---

H27 年調査とでは、回答個数が異なるため。

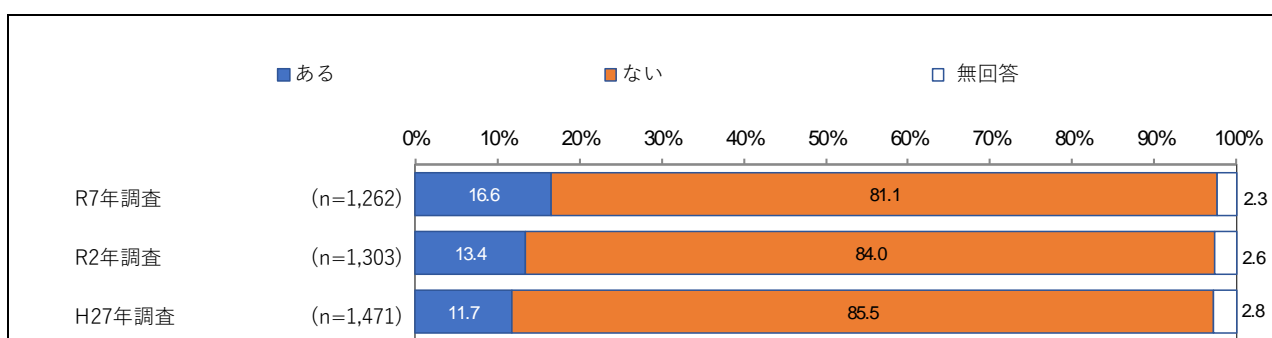
(9) トップスポーツクラブについて

問 39 あなたは、この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことがありますか？（当てはまる番号1つに○）

この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことがあるかについては、「ない」の割合が 81.1%と8割以上を占め、「ある」(16.6%)の割合は1割台となっている。「ある」の割合は前回調査(13.4%)に比べて3.2ポイント上昇している。

男女別にみると、「ある」の割合は男性 15.9%、女性 16.9%と、どちらも1割台で、ほぼ同様の割合となっている。

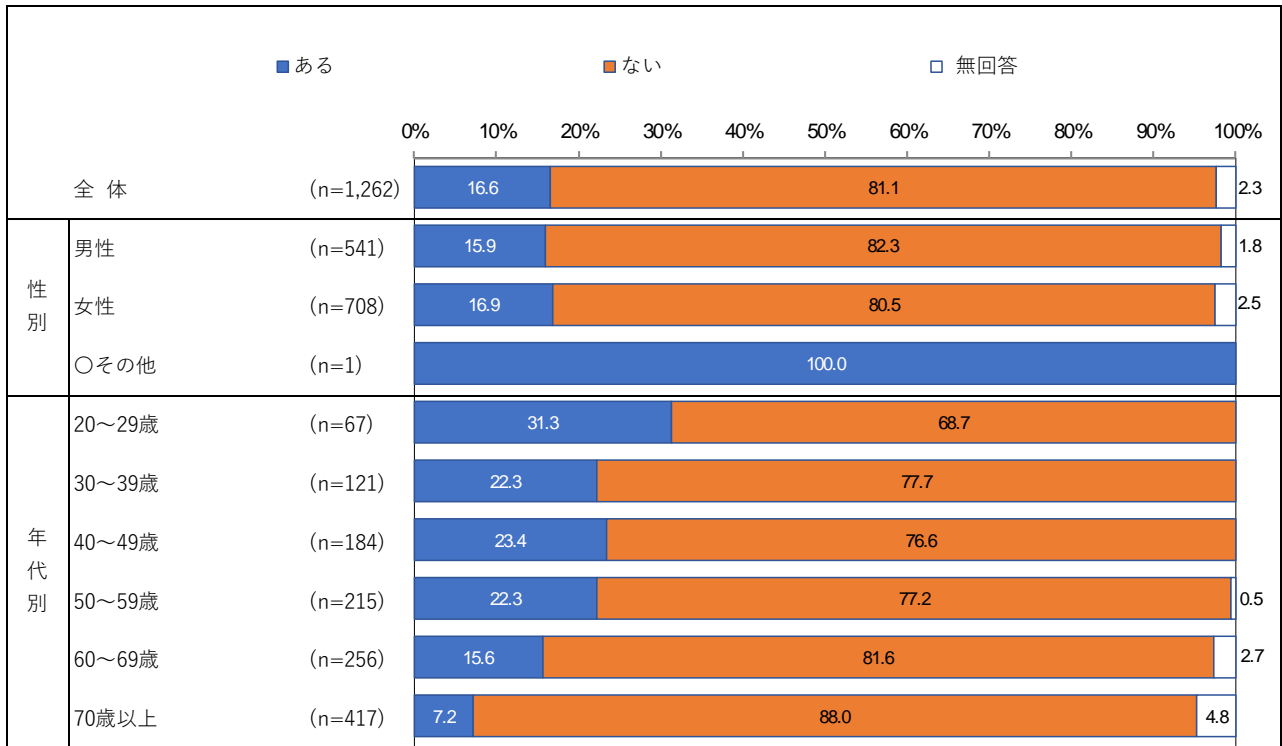
年代別にみると、「ある」の割合は20～29歳で3割を超え、30～39歳から50～59歳で2割台、60～69歳で1割台、70歳以上では1割未満となっている。



-----過去調査と比較する上での注意点-----

設問文章：H27年調査では、「あなたは、この1年間、トップスポーツクラブの試合を会場で観戦したことがありますか」としていた。

⇒グラフは次頁に続きます

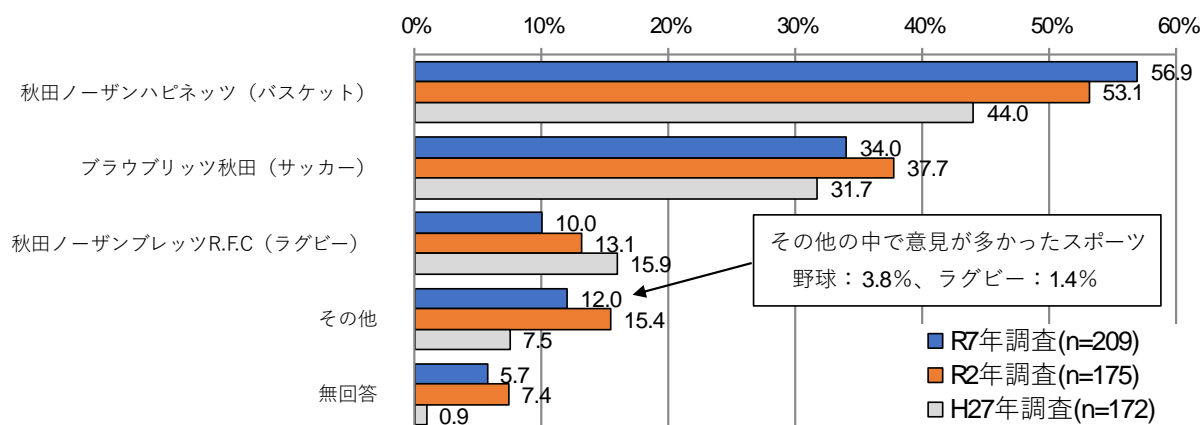


<問 39 で「1 ある」に○をつけた方に伺います。>

問 40 あなたはこの1年間に何回くらい会場でスポーツ観戦をしましたか？（観戦した回数を記入してください。）より、観戦したスポーツ

この1年間に会場でスポーツ観戦したトップスポーツについては、「秋田ノーザンハピネッツ」が56.9%と5割以上で最も高い割合となり、「ブラウブリッツ秋田」が34.0%と3割台で続き、「秋田ノーザンブレッツ R.F.C」(10.0%)は1割台となっている。

前回調査と比較すると、「秋田ノーザンハピネッツ」の割合が上昇した一方、「ブラウブリッツ秋田」、「秋田ノーザンブレッツ R.F.C」の割合は低下している。



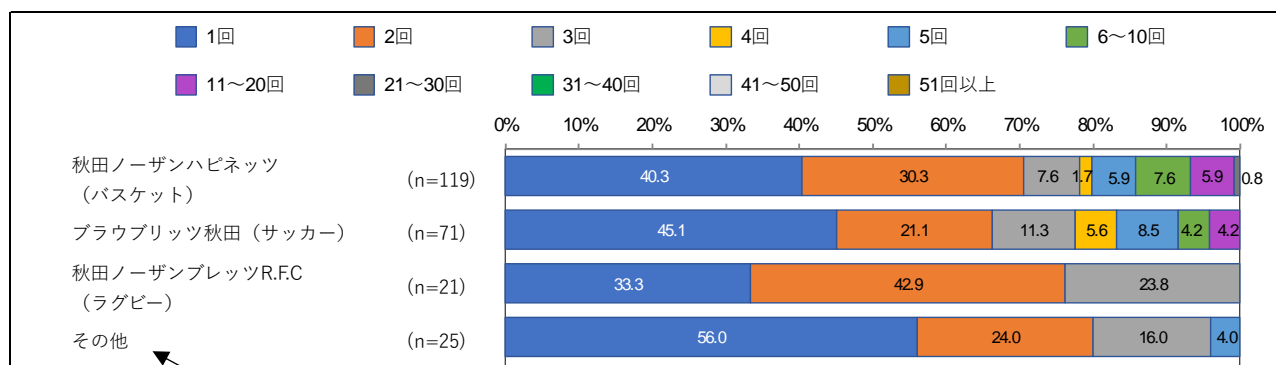
-----過去調査と比較する上での注意点-----

設問文章：H27年調査では「過去1年間にあなたが観戦したことのあるトップスポーツは何ですか」となっており、回答はトップスポーツに限定していた。

<問 39 で「1 ある」に○をつけた方に伺います。>

問 40 あなたはこの1年間に何回くらい会場でスポーツ観戦をしましたか？（観戦した回数を記入してください。）

この1年間に何回くらい会場でスポーツ観戦をしたかについては、「秋田ノーザンハピネッツ」と「ブラウブリッツ秋田」で1回の割合が4割台で最も高く、2回が2割台から3割台で続いている。一方、「秋田ノーザンブレッツ R.F.C.」は2回の割合が4割台で最も高く、1回の割合が3割台で続いている。「2回」から「51回以上」までを合わせた“2回以上”の割合は、「秋田ノーザンブレッツ R.F.C.」(66.7%)で6割台、「秋田ノーザンハピネッツ」(59.7%)、「ブラウブリッツ秋田」(54.9%)では5割台となっている。



その他の中で意見が多かったスポーツ
野球：8件、ラグビー：3件

<問 39 で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

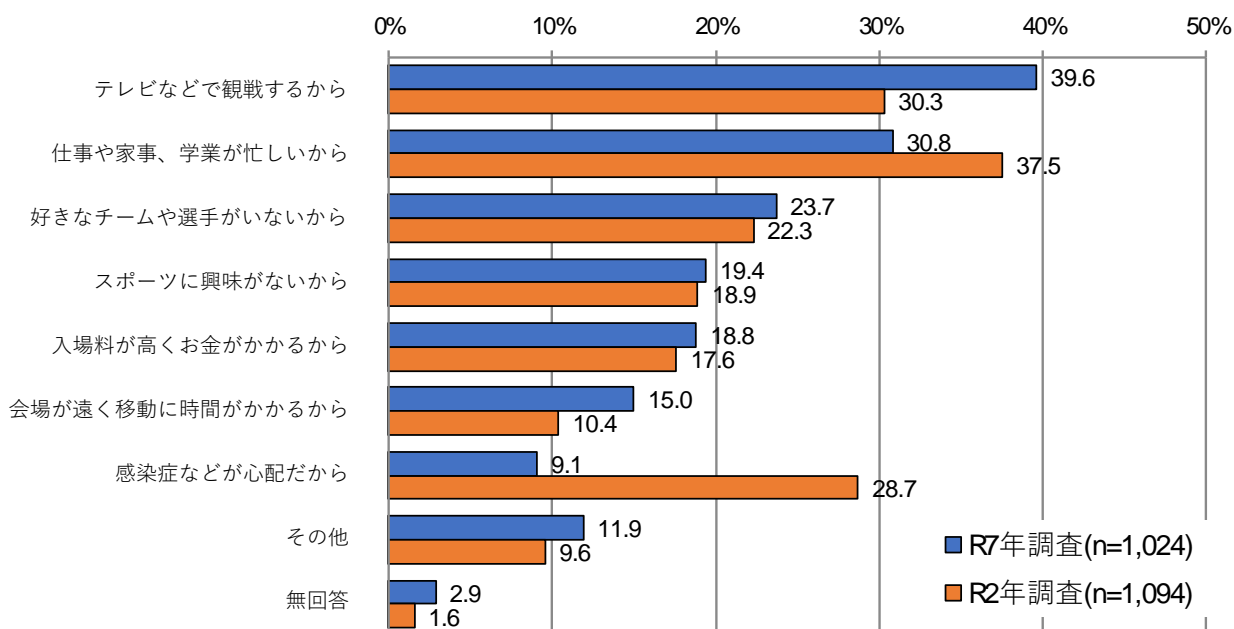
問 41 観戦しなかった理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

観戦しなかった理由については、「テレビなどで観戦するから」が 39.6%で最も割合が高く、「仕事や家事、学業が忙しいから」（30.8%）が続き、以下は「好きなチームや選手がいないから」（23.7%）、「スポーツに興味がないから」（19.4%）などの順となっている。

男女別にみると、いずれも「テレビなどで観戦するから」の割合が3割を超え、最も高くなっている。

年代別にみると、20～29歳で「好きなチームや選手がいないから」の割合が28.3%、30～39歳から50～59歳で「仕事や家事、学業が忙しいから」が4割を超え、60～69歳、70歳以上では「テレビなどで観戦するから」が最も高くなっている。

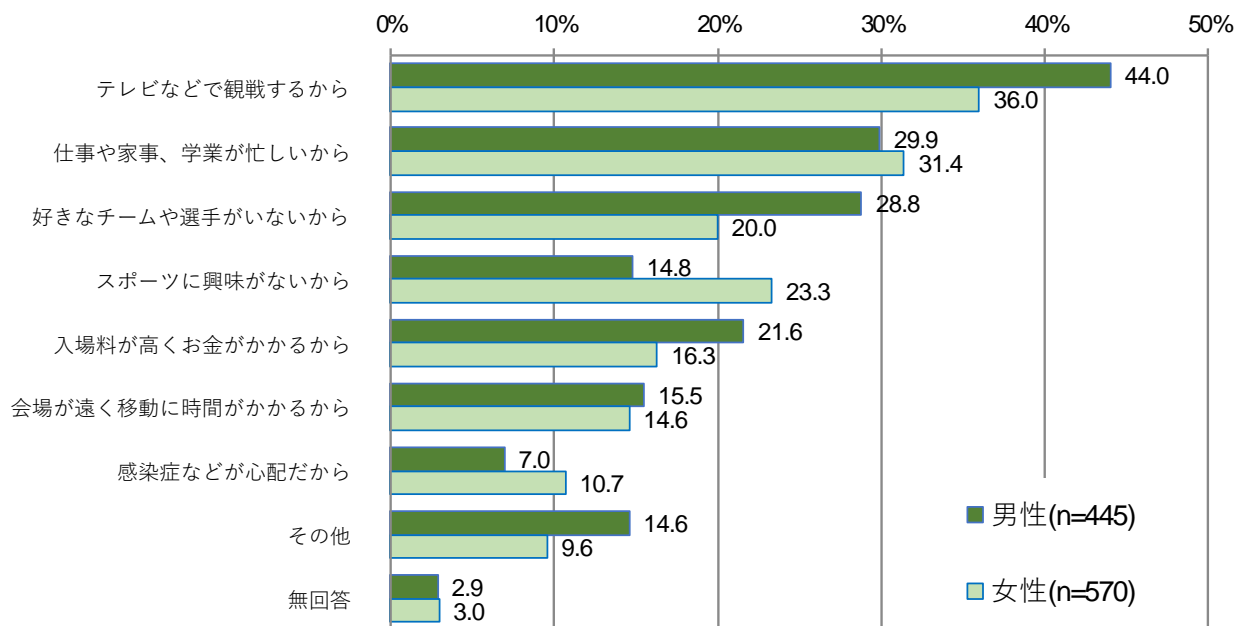
前回調査と比較すると、「テレビなどで観戦するから」の割合が9.3ポイント上昇した一方、「仕事や家事、学業が忙しいから」の割合が6.7ポイント低下し、順位が入れ替わっている。



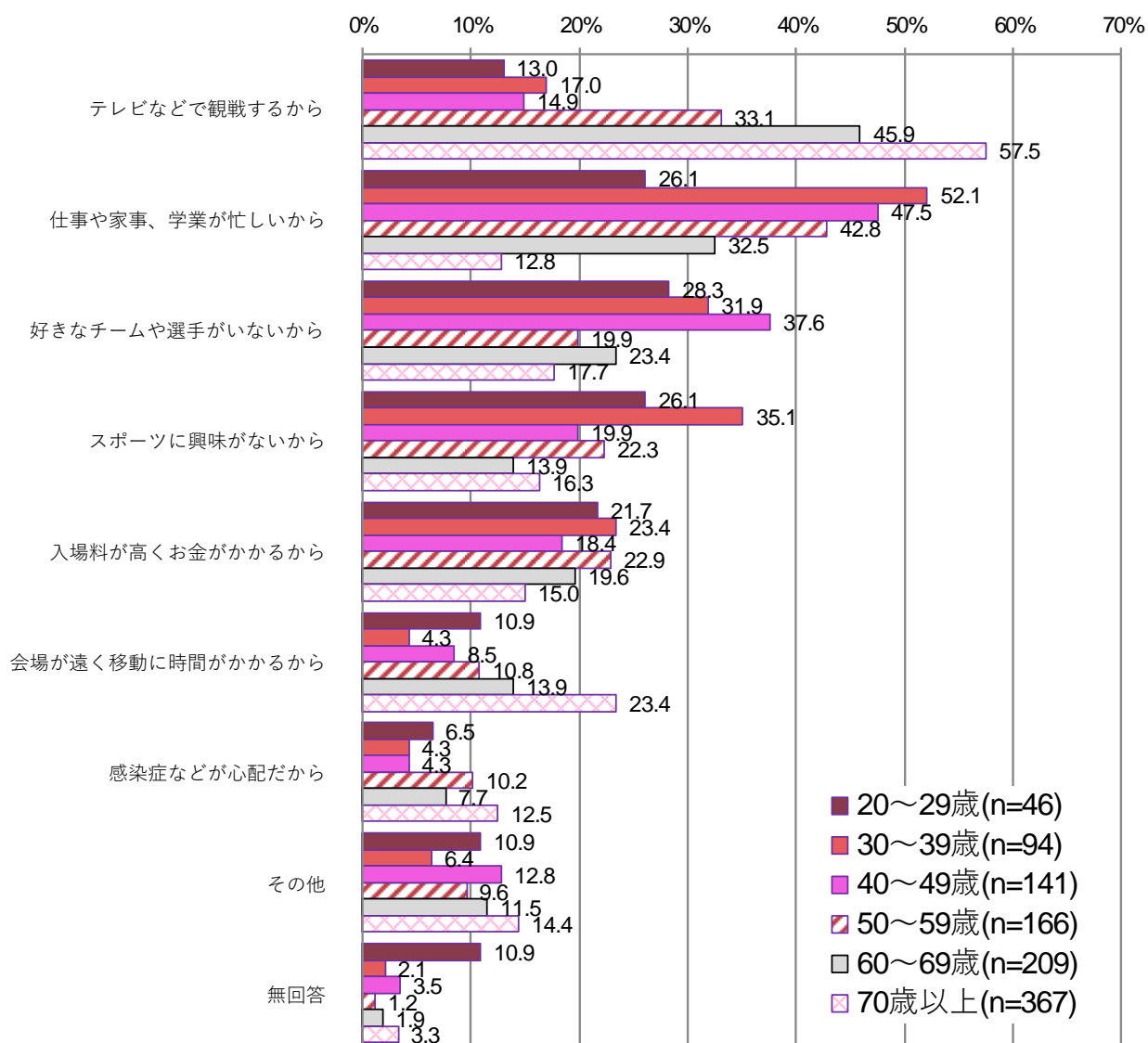
---H27年調査との比較を行わない理由---
R2年調査にて新設された設問のため。

---過去調査と比較する上での注意点---
「感染症などが心配だから」：R2年調査では「新型コロナウイルスなどに感染する可能性があるから」としていた。

⇒グラフは次頁に続きます



※性別：「その他」は回答なし



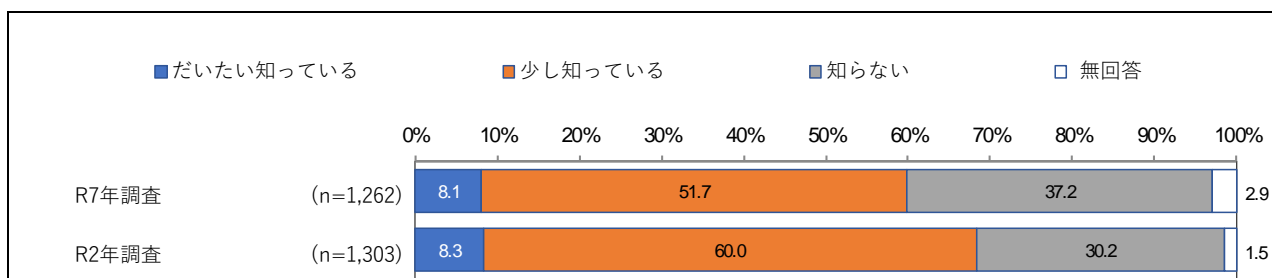
(10) パラスポーツ（障がい者スポーツ）について

問 42 あなたは、パラスポーツにどのような競技・種目があるか知っていますか？
（当てはまる番号1つに○）

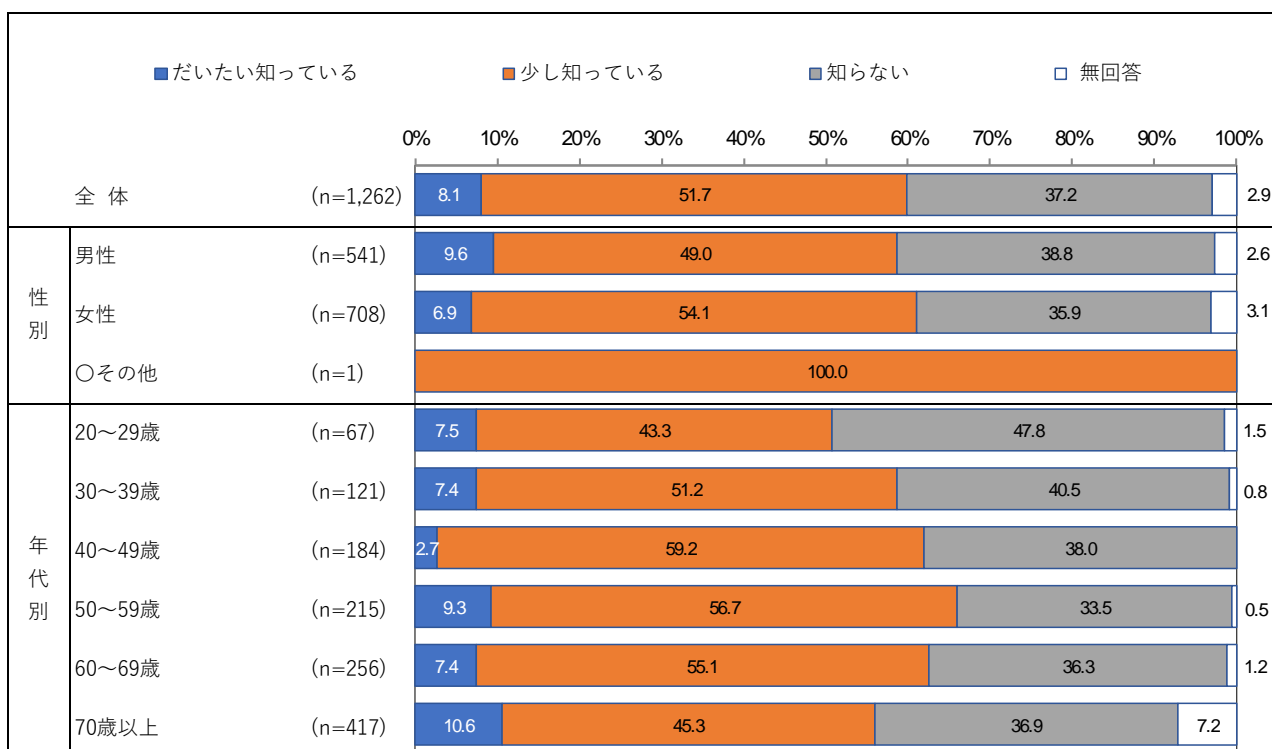
障がい者スポーツにどのような競技・種目があるか知っているかについては、「だいたい知っている」（8.1%）と「少し知っている」（51.7%）を合わせた“知っている”の割合が59.8%と5割台後半となり、「知らない」（37.2%）は3割台となっている。

男女別にみると、“知っている”の割合は男性で58.6%、女性では61.0%と、女性の方が幾分高くなっている。

年齢別にみると、“知っている”の割合はすべての年代で5割を超え、50～59歳（66.0%）までは年代が上がるにつれて割合は上昇し、以降の割合は低下している。



---H27年調査との比較を行わない理由---
R2年調査にて新設された設問のため。



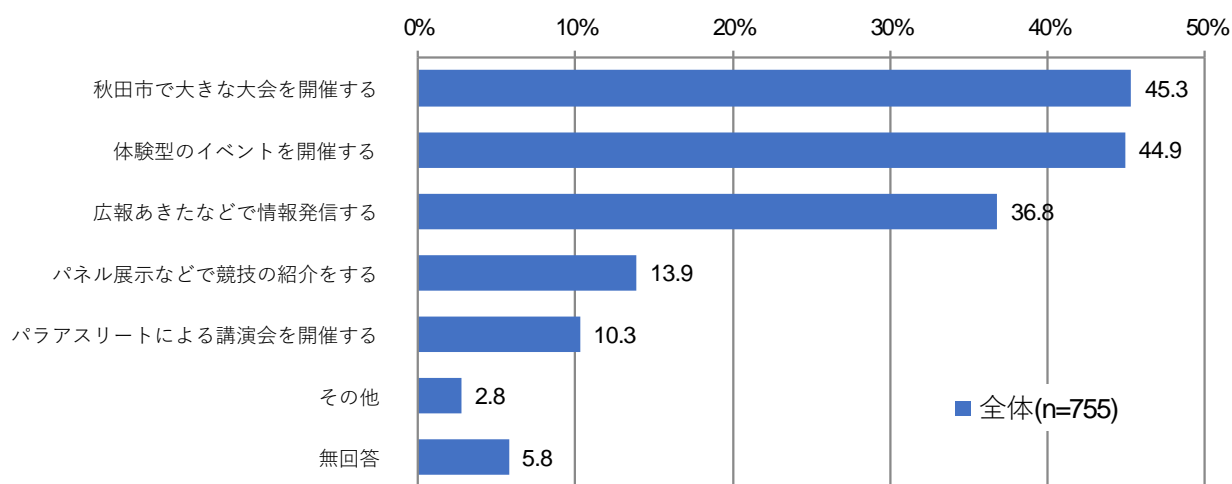
<問 42 で「1 だいたい知っている」「2 少し知っている」に○をつけた方に伺います。>

問 43 あなたは、パラスポーツをより多くの人に知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思いますか？（主なもの2つまでに○）

障がい者スポーツをより多くの人に知ってもらうために、どのような取り組みが必要だと思うかについては、「秋田市で大きな大会を開催する」の割合が 45.3%で最も高く、これに「体験型のイベントを開催する」（44.9%）、「広報あきたなどで情報発信する」（36.8%）が続き、この3項目が3割以上と高い割合となっている。

男女別にみると、男性では「秋田市で大きな大会を開催する」が 49.5%で最も割合が高くなった一方、女性では「体験型のイベントを開催する」の割合が 46.8%で最も高くなっている。

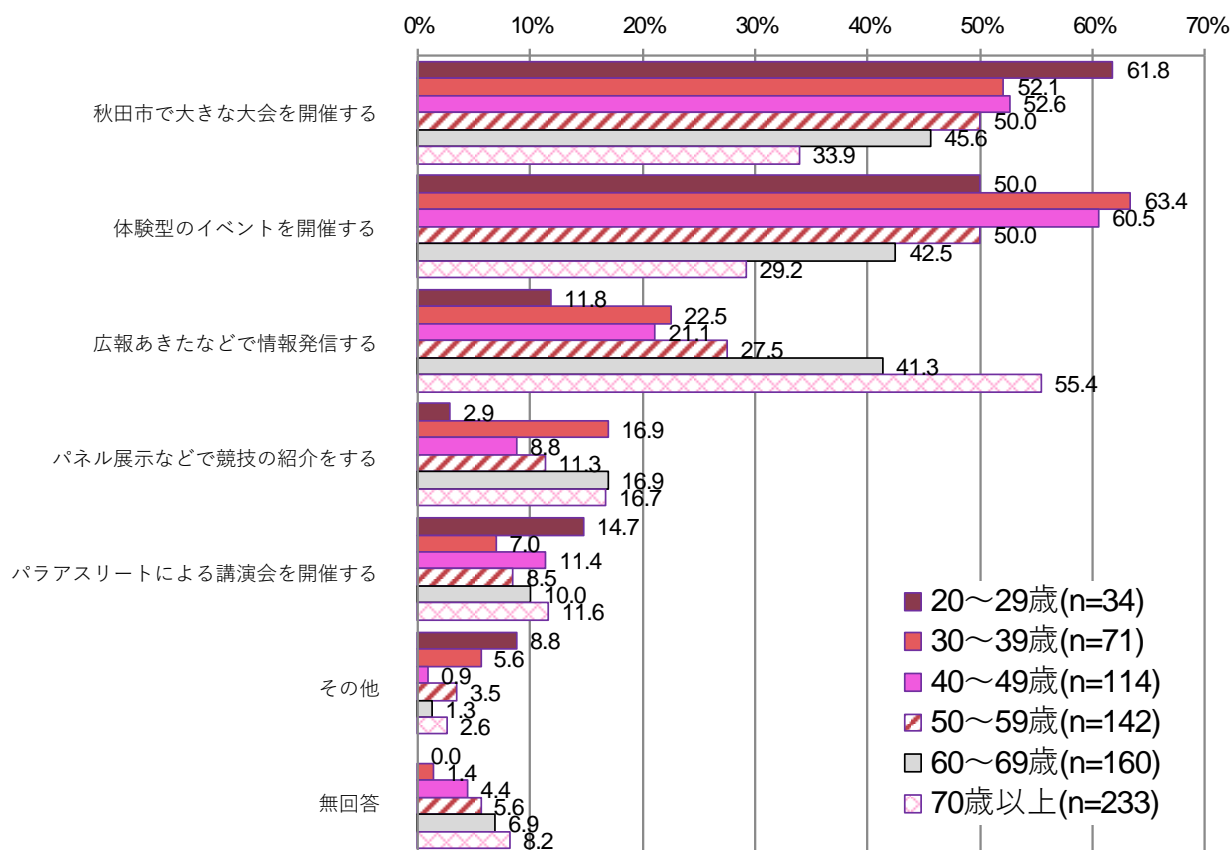
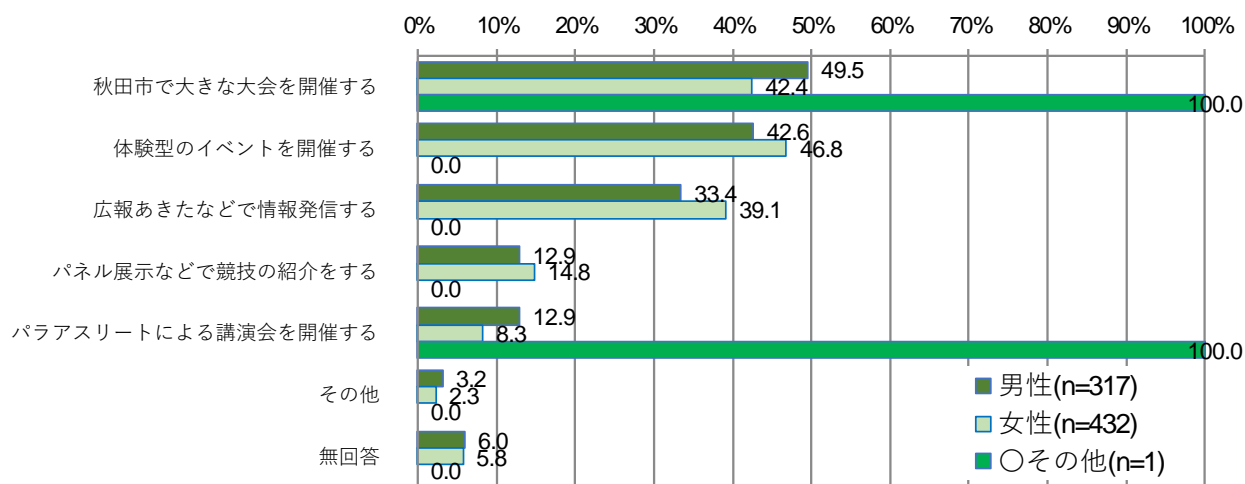
年齢別にみると、20～29 歳、50～59 歳、60～69 歳で「秋田市で大きな大会を開催する」の割合が最も高く（同率含む）、30～39 歳、40～49 歳、50～59 歳では「体験型のイベントを開催する」の割合が最も高く（同率含む）、70 歳以上では「広報あきたなどで情報発信する」の割合がそれぞれ最も高くなっている。



-----H27 年調査および R2 年調査との比較を行わない理由-----

R2 年調査で新設された設問である他、R2 年調査と今回調査では、回答者の条件が異なるため。

⇒グラフは次頁に続きます



(11) スポーツ推進委員について

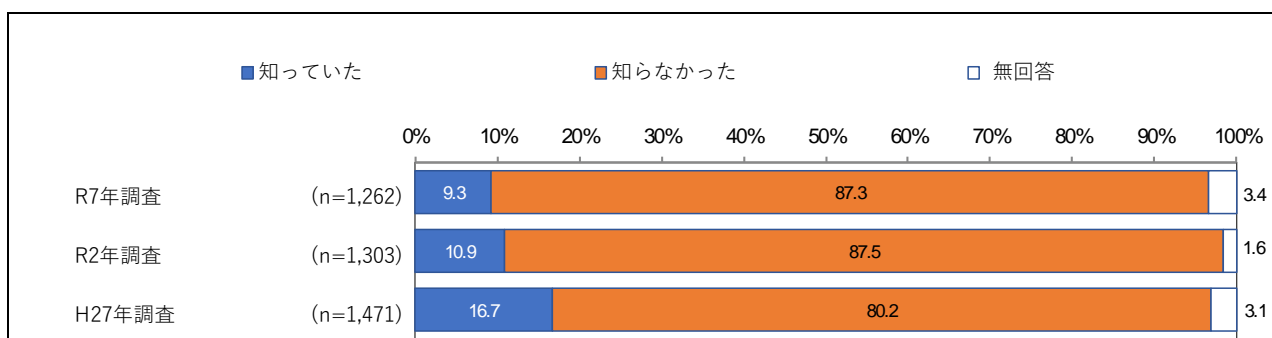
問 44 あなたは、スポーツ推進委員を各地域に配置していることを知っていましたか？
(当てはまる番号1つに○)

スポーツ推進委員を各地域に配置していることを知っていたかについては、「知らなかった」の割合が87.3%と8割以上を占めた一方、「知っていた」(9.3%)の割合は1割未満となっている。

男女別にみると、「知っていた」の割合は男性で8.9%、女性では9.6%と、女性の方で幾分高い割合となっている。

年代別にみると、「知っていた」の割合は、50～59歳までの年代では1割未満となっており、60～69歳以降の年代では1割台と、幾分高くなっている。

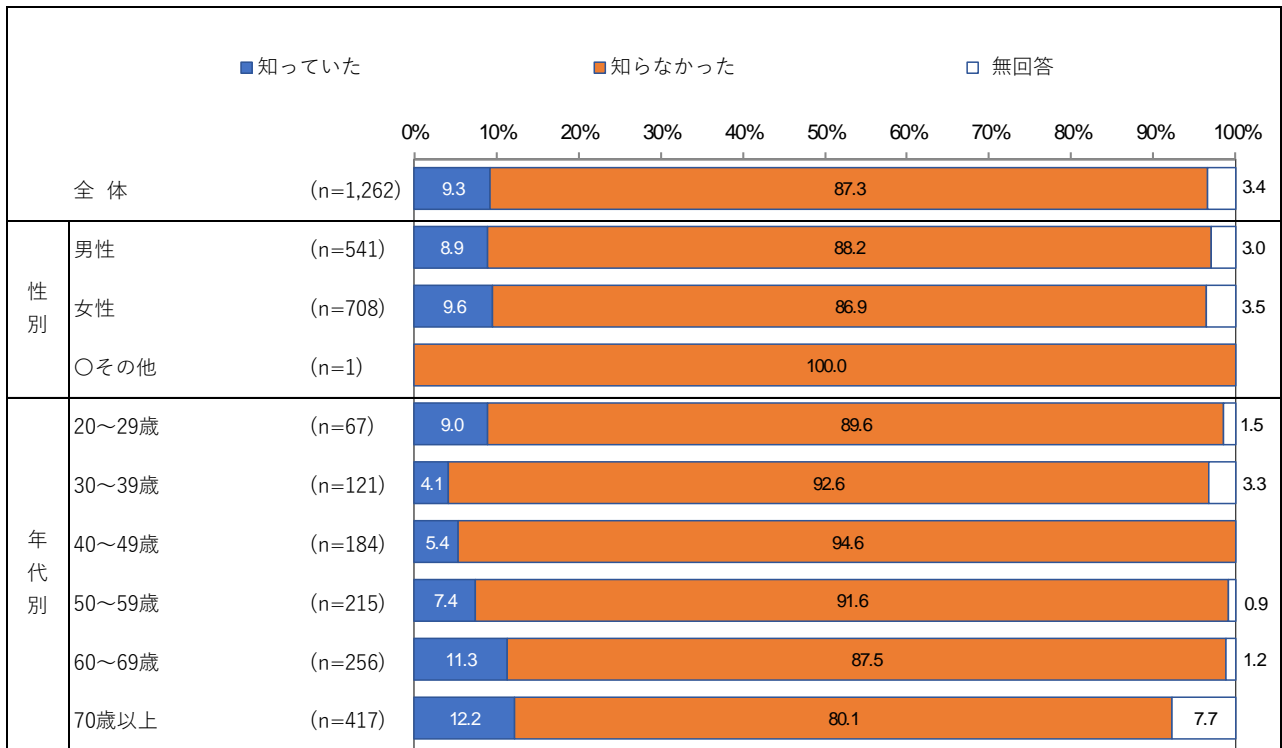
前回調査と比較すると、「知っていた」の割合は前回調査(10.9%)から1.6ポイント低下している。



---過去調査と比較する上での注意点---

H27年調査では、設問文章が「あなたは、秋田市のスポーツ振興を推進するために、各地区にスポーツ推進委員およびスポーツ普及員を配置していることを知っていますか」となっていたほか、選択肢の「知っていた」は「知っている」、「知らなかった」は「知らない」となっていた。

⇒グラフは次頁に続きます



<問 44 で「1 知っていた」に○を付けた方にお伺いします。>

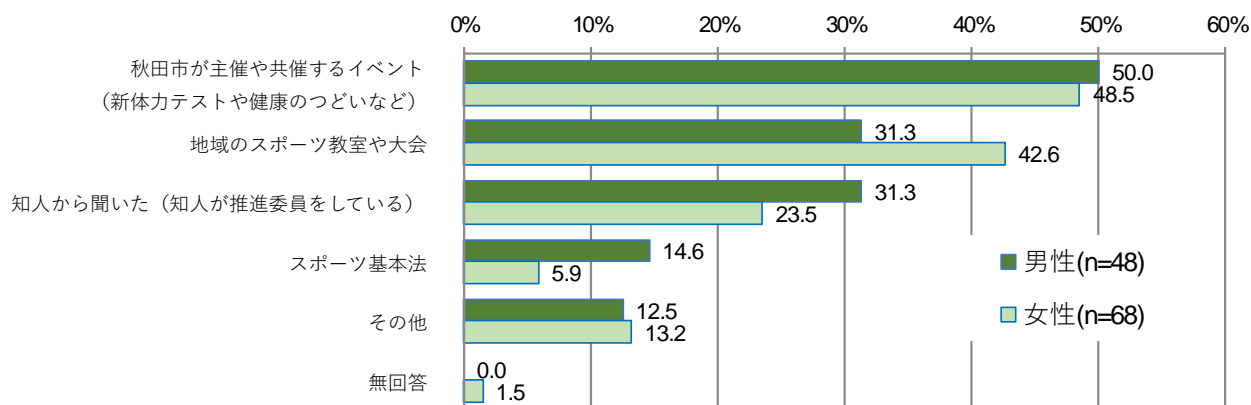
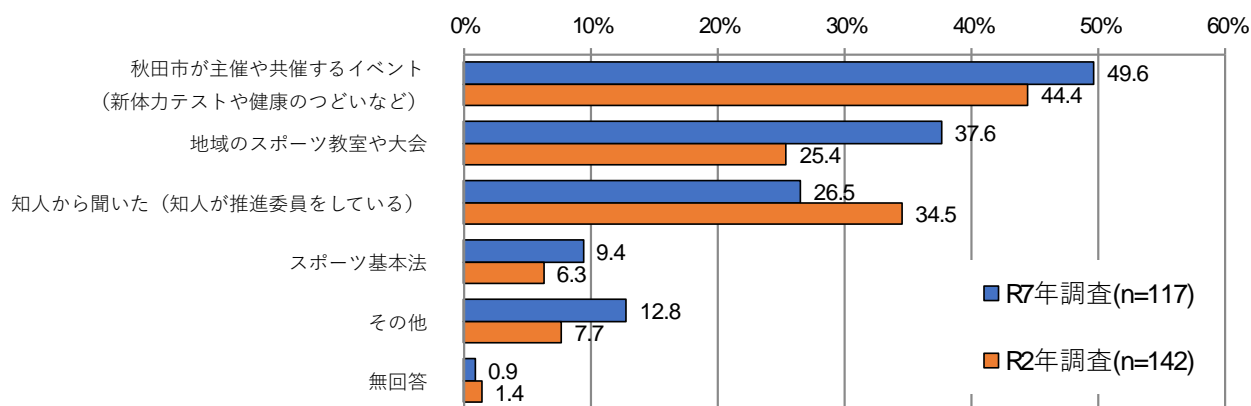
問 45 あなたは、スポーツ推進委員を各地域に配置していることをどこで知りましたか？
(当てはまる番号すべてに○)

スポーツ推進委員を各地域に配置していることをどこで知ったかについては、「秋田市が主催や共催するイベント」の割合が 49.6%で最も高く、「地域のスポーツ教室や大会」が 37.6%で続き、以下は「知人から聞いた」(26.5%)、「スポーツ基本法」(9.4%) の順となった。

男女別にみると、いずれも「秋田市が主催や共催するイベント」の割合が4割台で最も高くなっている。

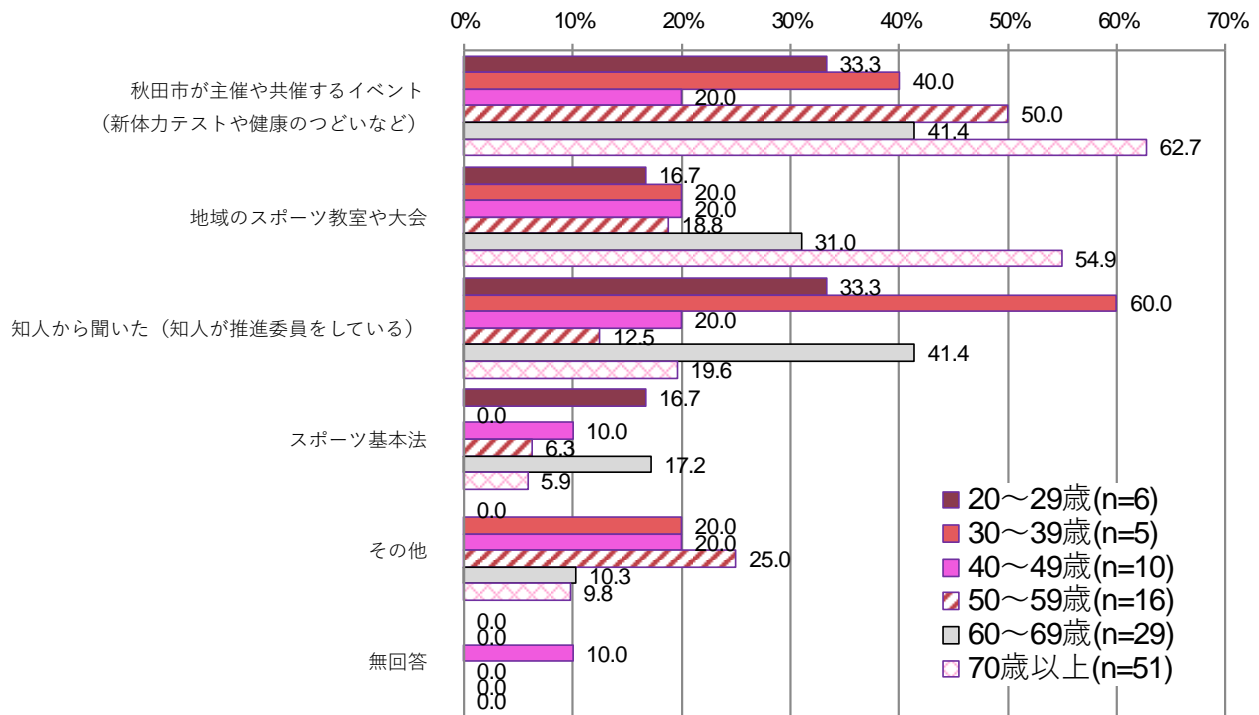
年代別にみると、「秋田市が主催や共催するイベント」の割合は 50～59 歳で5割台、70 歳以上6割台と特に高い割合となった一方、その他の年代ではいずれも 4割台前半以下となっている。「知人から聞いた」の割合は 30～39 歳で6割となり、その他の年代に比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、「地域のスポーツ教室や大会」が 12.2 ポイント上昇し、2 位と3位の順位が入れ替わった。



※性別：「その他」は回答なし

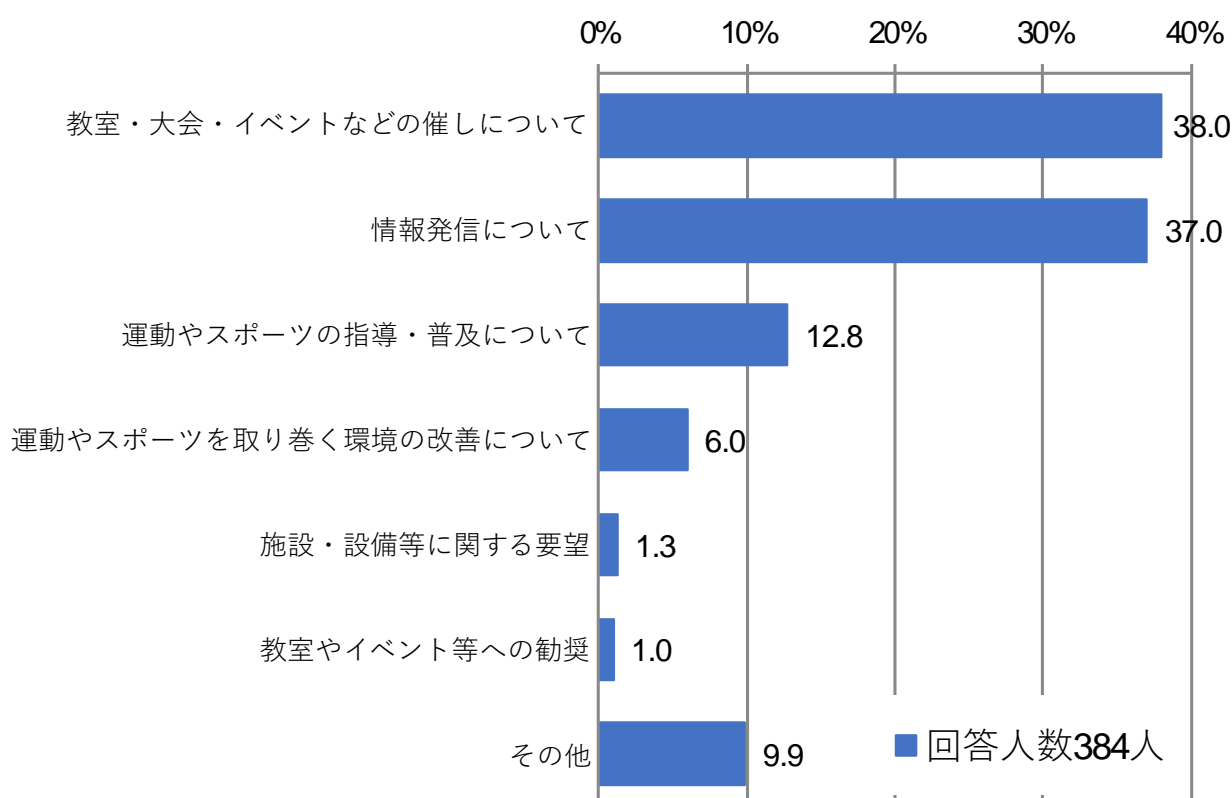
⇒グラフは次頁に続きます



問 46 あなたは、スポーツ推進委員に対し、地域でどんな活動をしてほしいですか？（自由記述）

スポーツ推進委員に対し、地域でどんな活動をしてほしいかについて、384 人の回答者から意見が寄せられた。

自由記述方式で寄せられた回答を整理すると、「教室・大会・イベントなどの催しについて」の割合が38.0%で最も高く、「情報発信について」が37.0%で続き、この2項目が3割台で特に高くなっている。以下は「運動やスポーツの指導・普及について」（12.8%）、「運動やスポーツを取り巻く環境の改善について」（6.0%）などが1割未満で続いている。



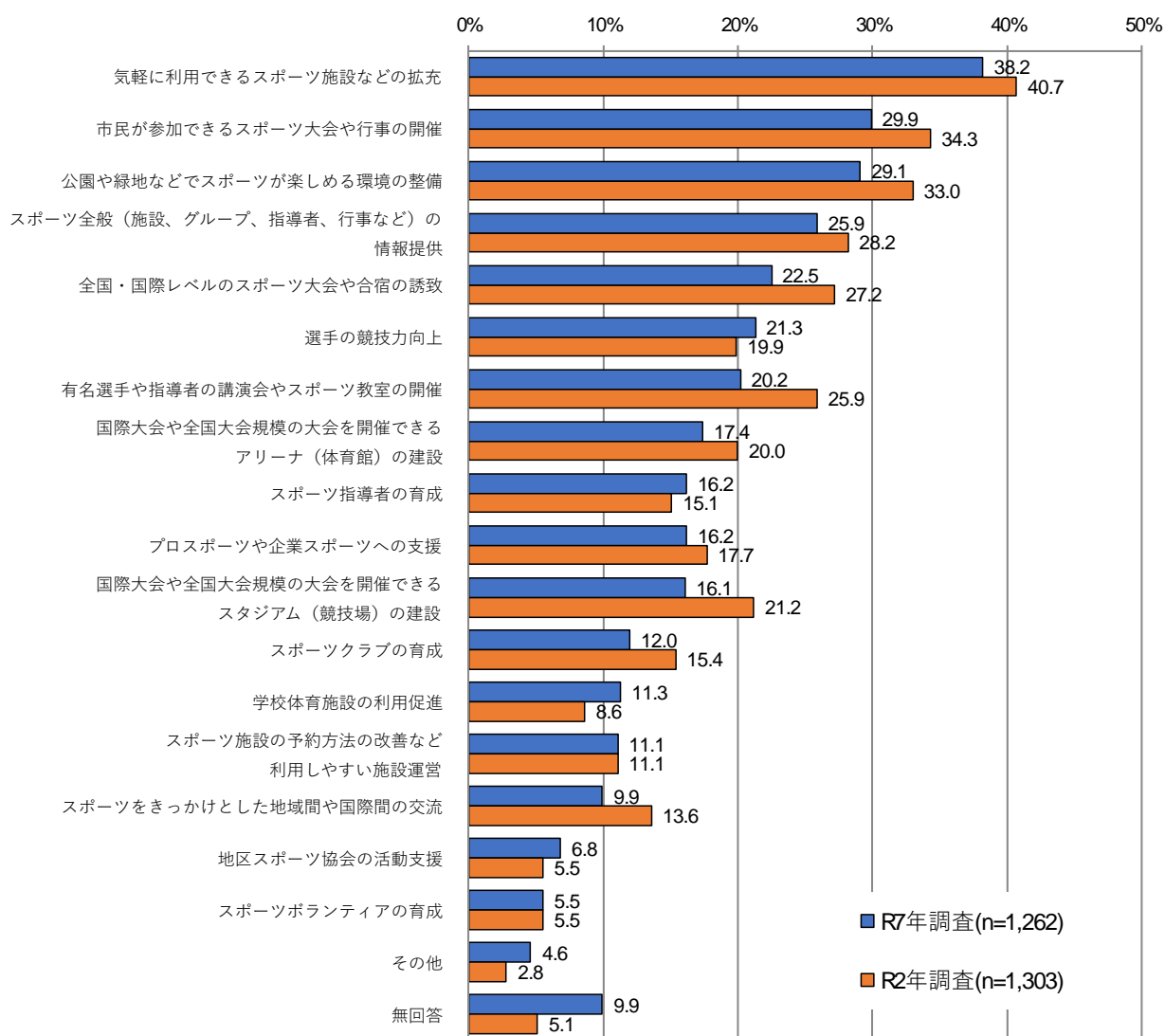
(12) 今後の本市のスポーツ振興施策について

問 47 今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の増加や地域のにぎわい創出を図るためには何が必要だと思いますか？（主なもの5つまでに○）

今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の拡大や地域のにぎわい創出を図るためには何が必要だと思うかについては、「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」が38.2%で最も割合が高く、「市民が参加できるスポーツ大会や行事の開催」(29.9%)が続き、以下は「公園や緑地などでスポーツが楽しめる環境の整備」(29.1%)、「スポーツ全般の情報提供」(25.9%)などの順となっている。

男女別にみると、いずれも「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」(男性37.0%、女性39.1%)の割合が最も高く、この割合は女性の方が高くなっている。

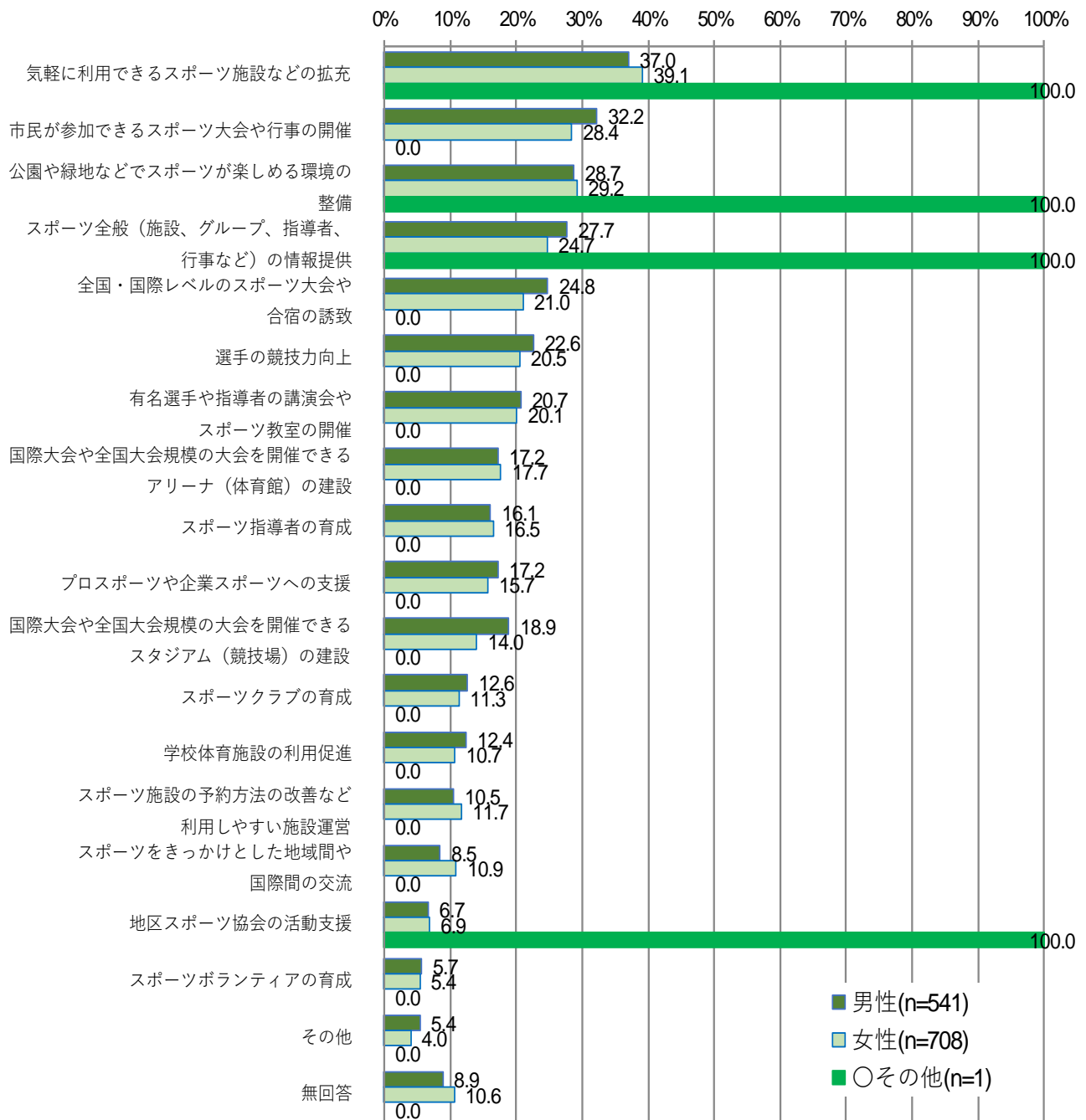
年代別にみると、すべての年代で「気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充」の割合が最も高くなっている。



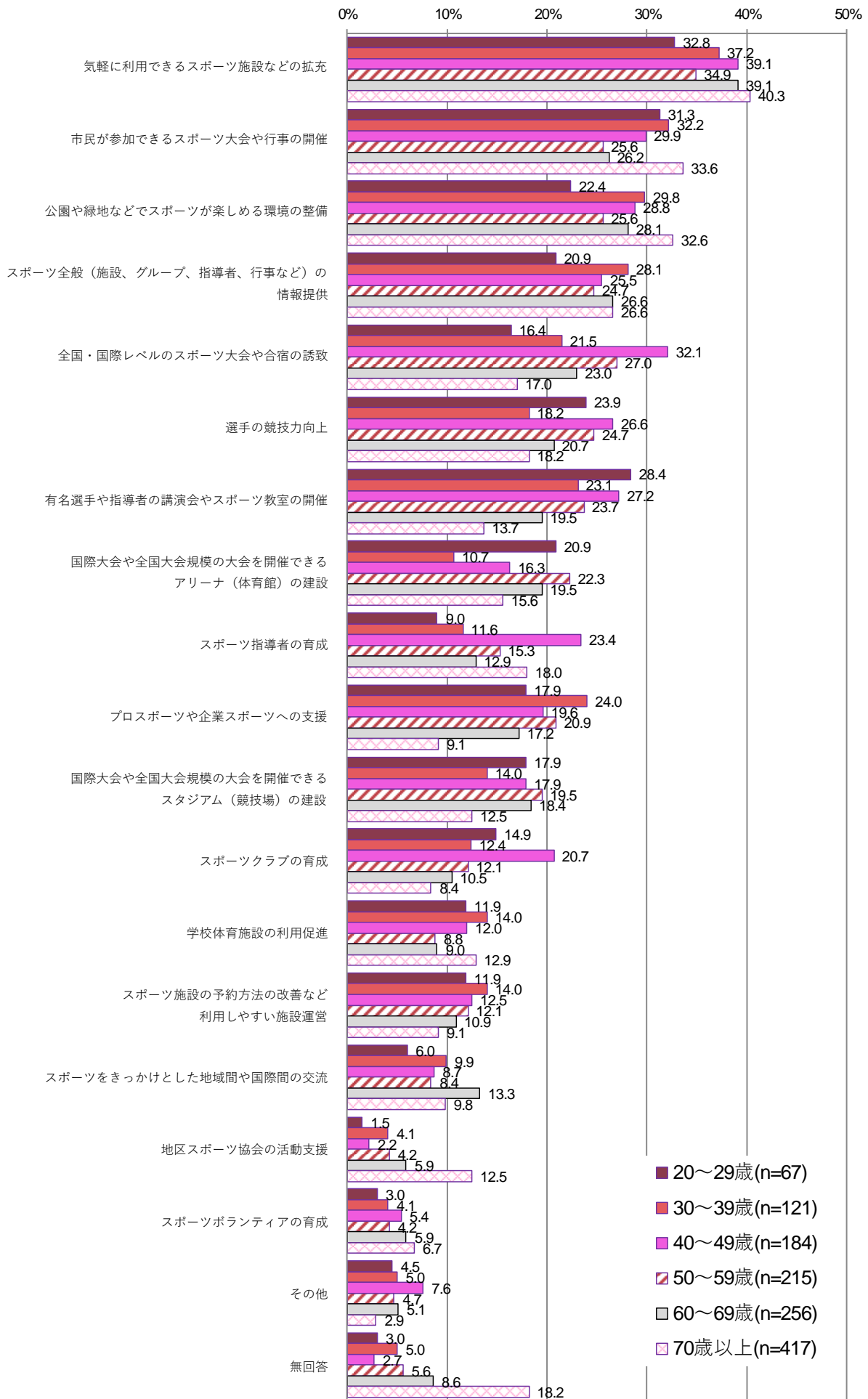
-----過去調査と比較する上での注意点-----

地区スポーツ協会の活動支援：R2年調査では「地区体育協会の活動支援」としていた。

⇒グラフは次頁に続きます



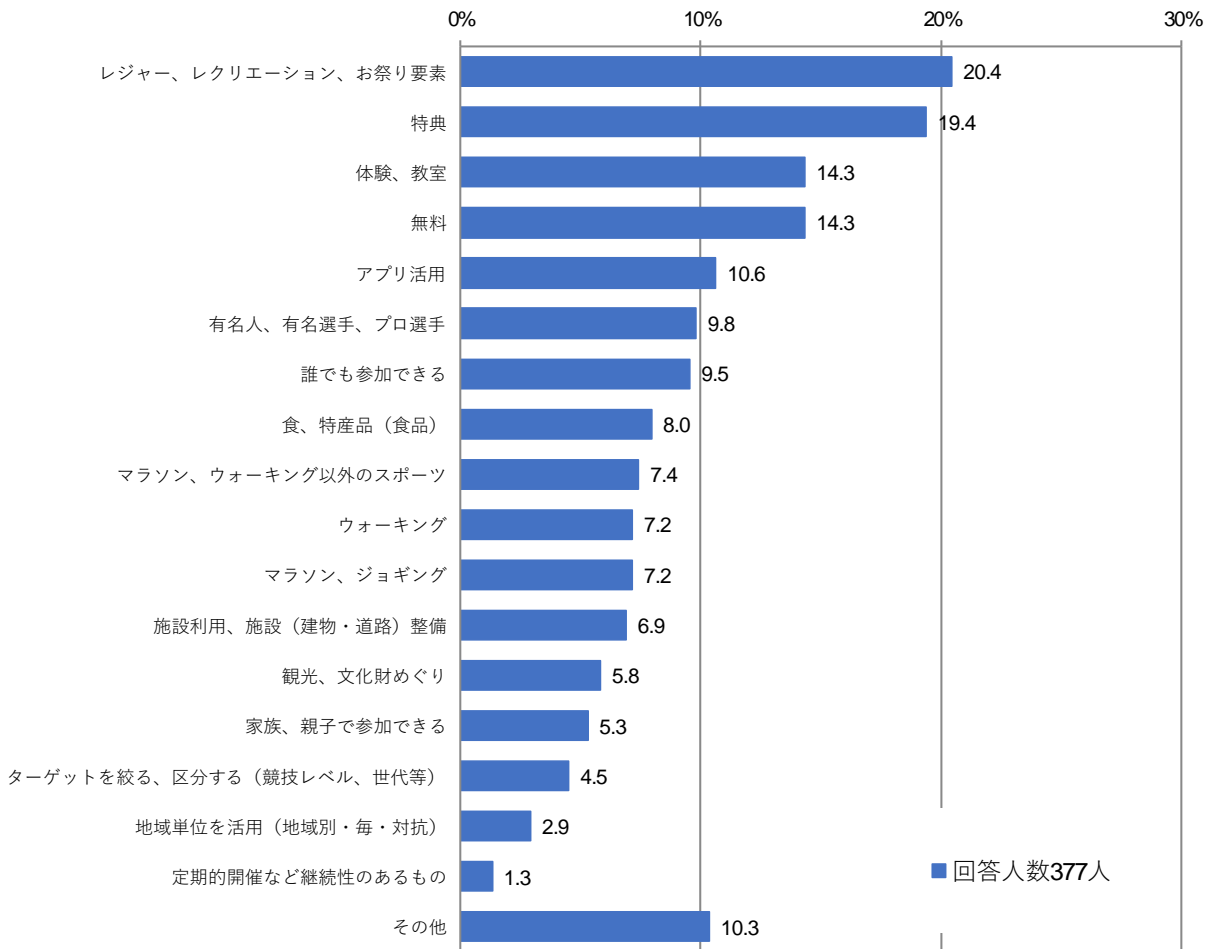
⇒グラフは次頁に続きます



問 48 多くの市民が気軽に参加でき、地域の活性化につながるものとして、具体的にどのようなイベントや大会などがあればいいと思いますか？（自由記述）

多くの市民が気軽に参加でき、地域の活性化につながるものとして、具体的にどのようなイベントや大会などがあればいいかについて、377人の回答者から意見が寄せられた。

自由記述方式で寄せられた回答を整理すると、「レジャー、レクリエーション、お祭り要素」で20.4%となっており、「特典」が19.4%で続き、以下は「体験、教室」（14.3%）、「無料」（14.3%）などの順となっている。また、多くの回答において、複数のキーワードを組み合わせたイベントや大会のアイデアが寄せられていた。



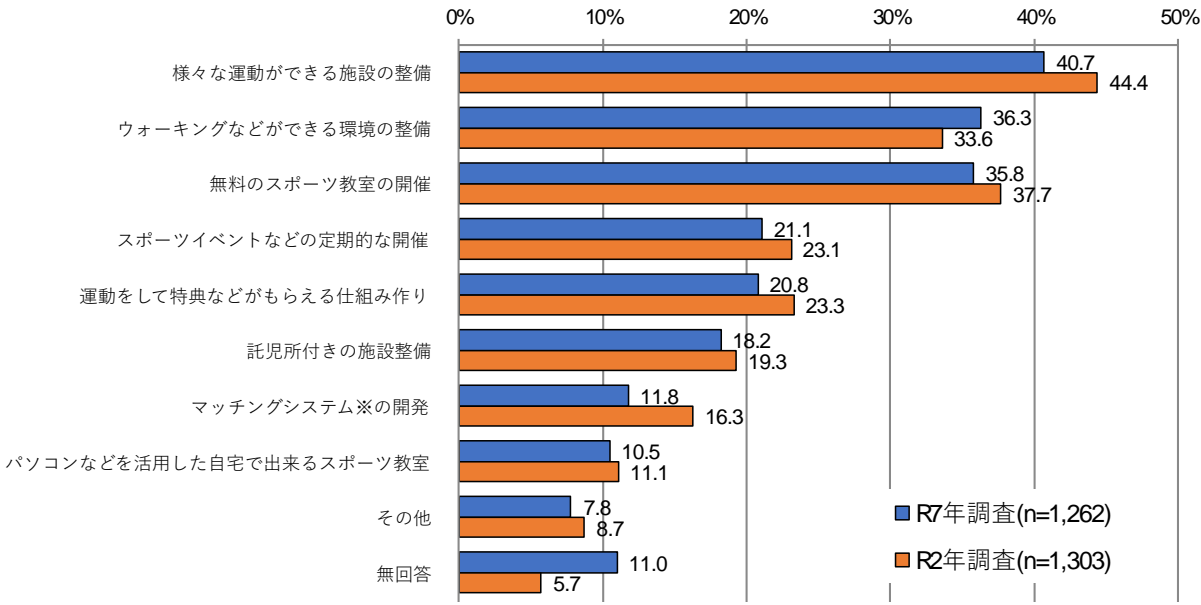
問 49 近年、全国的に 20 代～50 代の「働き盛り世代」のスポーツ実施率が低い傾向にあります。
 あなたは、「働き盛り世代」のスポーツ実施率を高めるためには何が必要だと思いますか？
 （主なもの3つまでに○）

「働き盛り世代」のスポーツ実施率を高めるためには何が必要だと思うかについては、「様々な運動ができる施設の整備」の割合が 40.7%で最も高く、「ウォーキングなどができる環境の整備」（36.3%）が続き、以下は「無料のスポーツ教室の開催」（35.8%）、「スポーツイベントなどの定期的な開催」（21.1%）などの順となった。

男女別にみると、男性は「様々な運動ができる施設の整備」（44.0%）の割合が最も高くなった一方、女性では「無料のスポーツ教室の開催」（38.7%）の割合が最も高くなっている。

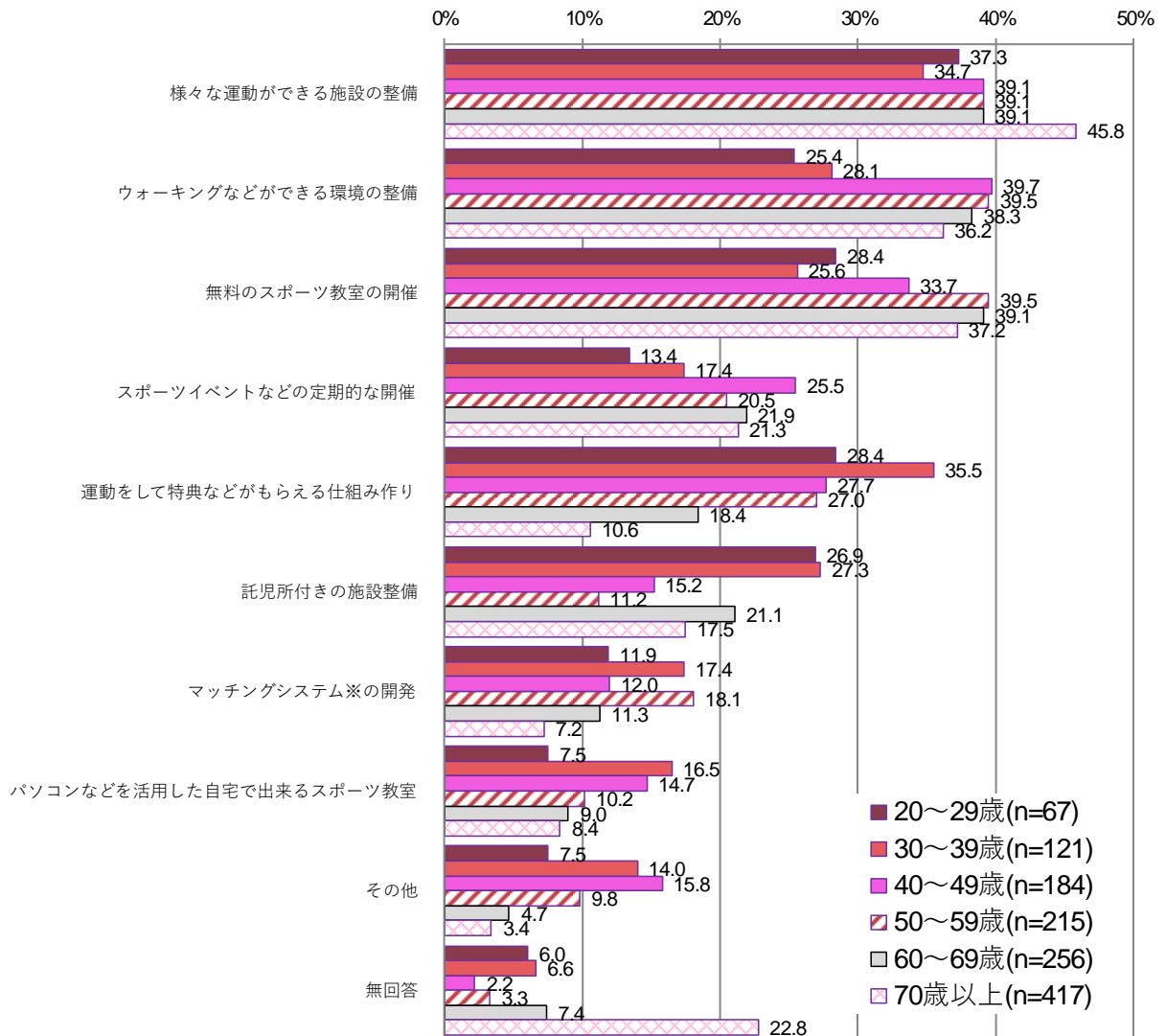
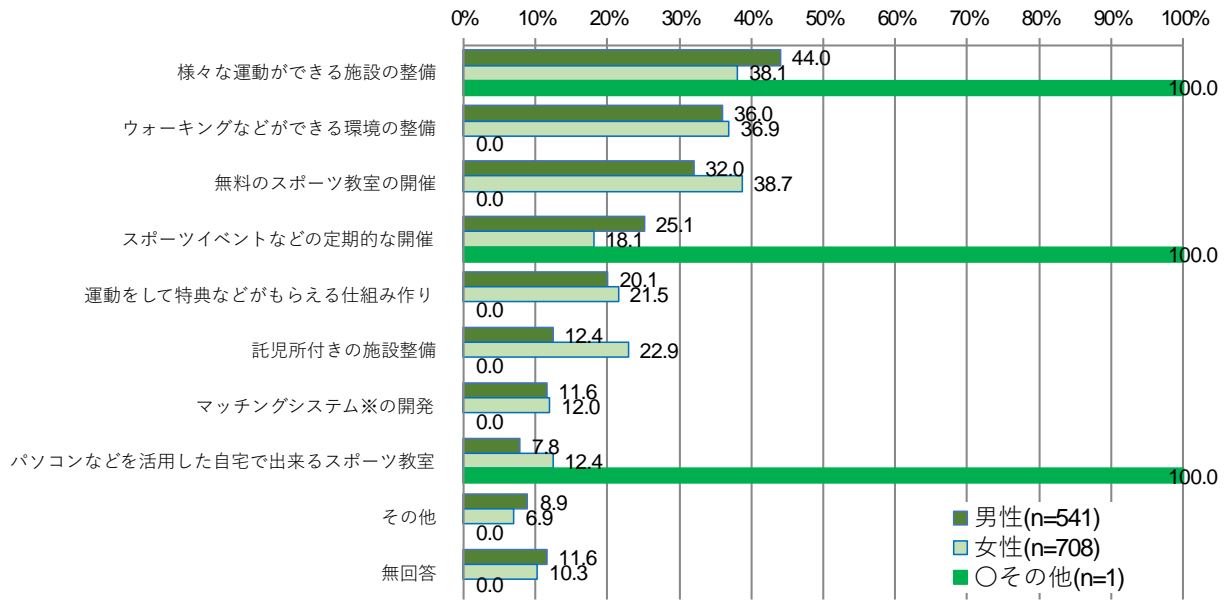
年齢別にみると、20～29 歳、60～69 歳、70 歳以上で「様々な運動ができる施設の整備」の割合が最も高く（同率含む）、30～39 歳では「運動をして特典などがもらえる仕組みづくり」、40～49 歳では「ウォーキングなどができる環境の整備」、50～59 歳では「ウォーキングなどができる環境の整備」・「無料のスポーツ教室の開催」、となるなど、年代によってばらつきがある。

前回調査と比較すると、「ウォーキングなどができる環境の整備」を除くすべての項目で低下した。



「マッチングシステム※の開発」

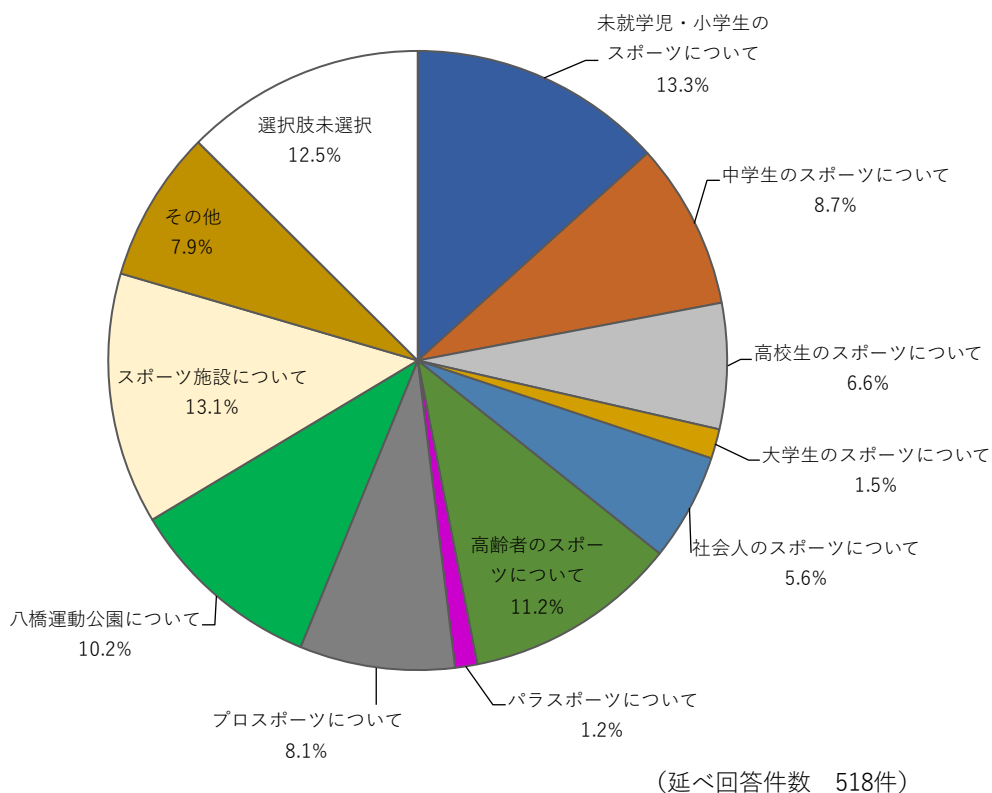
※おこないたい運動に合わせて、サークルや実施可能場所を紹介するもの



問 50 秋田市におけるスポーツ振興に関するご意見、ご要望などがございましたら、番号を選択のうえ、お書きください。(複数回答可)

秋田市におけるスポーツ振興に関する意見、要望として、381 人の回答者から 518 件の意見が寄せられた。

最も多かったのは「未就学児・小学生のスポーツについて」で全体の 13.3%となっており、「スポーツ施設について」(13.1%) が続き、以下は「高齢者のスポーツについて」(11.2%)、「八橋運動公園について」(10.2%) などの順となっている。



項目	件数	割合 (%)
未就学児・小学生のスポーツについて	69	13.3
中学生のスポーツについて	45	8.7
高校生のスポーツについて	34	6.6
大学生のスポーツについて	8	1.5
社会人のスポーツについて	29	5.6
高齢者のスポーツについて	58	11.2
パラスポーツについて	6	1.2
プロスポーツについて	42	8.1
八橋運動公園について	53	10.2
スポーツ施設について	68	13.1
その他	41	7.9
(選択肢未選択)	65	12.5
延べ回答件数 合計	518	

○ 内容別集計

意見分類	件数	意見分類	件数
未就学児・小学生のスポーツについて	69	高齢者のスポーツについて	58
指導者・指導方針について	9	施設や設備について	18
スポーツイベントについて	7	スポーツを取り巻く環境について	8
スポーツを取り巻く環境について	7	スポーツイベントについて	7
施設や設備について	6	教室等の場づくりについて	6
教室等の場づくりについて	5	情報発信について	4
保護者の負担について	4	振興策・振興策について	2
情報発信について	3	指導者・指導方針について	1
支援策・振興策について	1	その他	12
その他	27	パラスポーツについて	6
中学生のスポーツについて	45	情報発信について	3
指導者・指導方針について	14	スポーツを取り巻く環境について	2
施設や設備について	7	教室等の場づくりについて	1
選手（チーム）の育成について	5	プロスポーツについて	42
スポーツを取り巻く環境について	4	施設や設備について	16
教室等の場づくりについて	3	支援策・振興策について	8
保護者の負担について	2	スポーツイベントについて	3
スポーツイベントについて	1	情報発信について	2
情報発信について	1	その他	13
支援策・振興策について	1	八橋運動公園について	56
その他	7	既存施設・設備について	35
高校生のスポーツについて	34	プロスポーツ施設について	8
選手（チーム）の育成について	13	施設整備について	3
指導者・指導方針について	9	利用料金について	2
スポーツイベントについて	2	スポーツイベントについて	2
スポーツを取り巻く環境について	1	施設管理について	1
施設や設備について	1	振興策・振興策について	1
支援策・振興策について	1	その他	4
保護者の負担について	1	スポーツ施設について	68
その他	6	既存施設・設備について	21
大学生のスポーツについて	9	施設整備について	16
指導者・指導方針について	3	プロスポーツ施設について	8
スポーツイベントについて	2	情報発信について	5
スポーツを取り巻く環境について	1	施設管理について	5
その他	3	利用予約について	3
社会人のスポーツについて	29	利用料金について	3
教室等の場づくりについて	10	その他	7
施設や設備について	7	その他	42
スポーツイベントについて	4	施設や設備について	16
情報発信について	2	スポーツを取り巻く環境について	5
支援策・振興策について	1	支援策・振興策について	3
その他	5	情報発信について	2
		スポーツイベントについて	2
		教室等の場づくりについて	2
		指導者・指導方針について	1
		その他	11
		(選択肢未選択)	65
		意見総数	523

※寄せられた意見が複数の内容（小分類）にかかわる場合は各小分類で件数をカウントしているため、前ページにおける選択肢の選択件数（518件）と、内容別集計における意見総数（523件）は一致しない。

○ 寄せられた意見からうかがえる課題（アンケートの設問順）

【未就学児・小学生のスポーツについて】

指導者不足や指導方針への不安を示す意見が最も多く、専門指導者の育成や待遇改善を求める声が寄せられた。あわせて、スポーツ少年団少や部活動では送迎・費用など保護者の負担が大きく、共働き家庭では参加が難しいとの指摘も多かった。さらに、屋内多目的運動場を望む意見や情報発信の弱さにより、子どもが気軽にスポーツへ参加しにくい環境改善を求める声がみられた

【中学生のスポーツについて】

指導者不足や未経験教員による指導への不安が多く寄せられ、専門的な指導体制の整備を求める声が強かった。また、指導力格差が選手育成や試合結果に影響し、有望選手の県外流出を招いているとの指摘もあった。子どもが安心して練習できる環境を、地域全体で高める仕組みづくりが必要とされている。

【高校生のスポーツについて】

選手育成には多様なスポーツ経験が重要であるとの指摘が多く、特定の競技に早期に固定される環境への懸念が示された。また、有望選手の県外流出や学校間の指導力格差が課題とされ、県内全域で競技力を底上げし、成長できる仕組みづくりを求める声が寄せられた。

【大学生のスポーツについて】

指導者の質や方針への不安が多く、勝利偏重の指導や未経験者による指導体制への改善を求める声が寄せられた。選手が楽しみ向上できる指導環境の整備と、専門性をもった指導者育成が必要とされている。

【社会人のスポーツについて】

教室やサークルなど、誰もが参加しやすいスポーツの場が不足しているとの意見が多く、初心者向け教室や社会人が個人で参加できる環境づくりを求める声が寄せられた。屋内多目的運動場の充実や予約の取りにくさも課題とされ、気軽に体を動かせる機会の拡充が望まれている。

【高齢者のスポーツについて】

施設や設備に関する課題として、冬季でも安全に運動できる屋内多目的運動場の充実や、高齢者が気軽に通える場所が少ないとの意見が多く寄せられた。交通手段の確保や予約のしやすさ、低料金での利用を求める声も強く、地域の身近な場所で継続的に運動できる環境づくりが求められている。

【パラスポーツについて】

パラスポーツを含むスポーツ情報の発信不足が指摘され、参加方法やイベント情報が届かないとの声が多く寄せられた。メディアや SNS を活用した広報強化や、誰でもわかりやすい情報提供体制の整備が求められている。

【プロスポーツについて】

人口減少が続く本市において、秋田を元気にするツールとして県内のトップスポーツチームに期待する声が多く寄せられた。また、プロ野球や相撲などの大会誘致を通じて、地域活性化につなげてもらいたいとの意見もあった。

観戦にあたっては、交通アクセスや駐車場の不足、老朽化した設備の改善を求める声も目立った。

【八橋運動公園について】

プロスポーツや高校野球の観戦時における駐車場不足を指摘する声が多く寄せられた。公園内施設に関しては、市民利用とプロスポーツ利用の両立、老朽化した設備の改修、子どもが遊べる運動遊具の整備など、幅広い世代が安心して利用できる環境づくりを求める意見が目立った。

【スポーツ施設について】

既存の施設では、老朽化を指摘する声が多く、特に冬季間におけるテニス・フットサル、ウォーキングなどに対応できる多目的な屋内運動場を求める声が多かった。また、駐車場不足や交通アクセスの不便さも意見として多く、幅広い世代が安全かつ気軽に利用できるよう、改修・拡充を求める意見が多かった。

【その他】

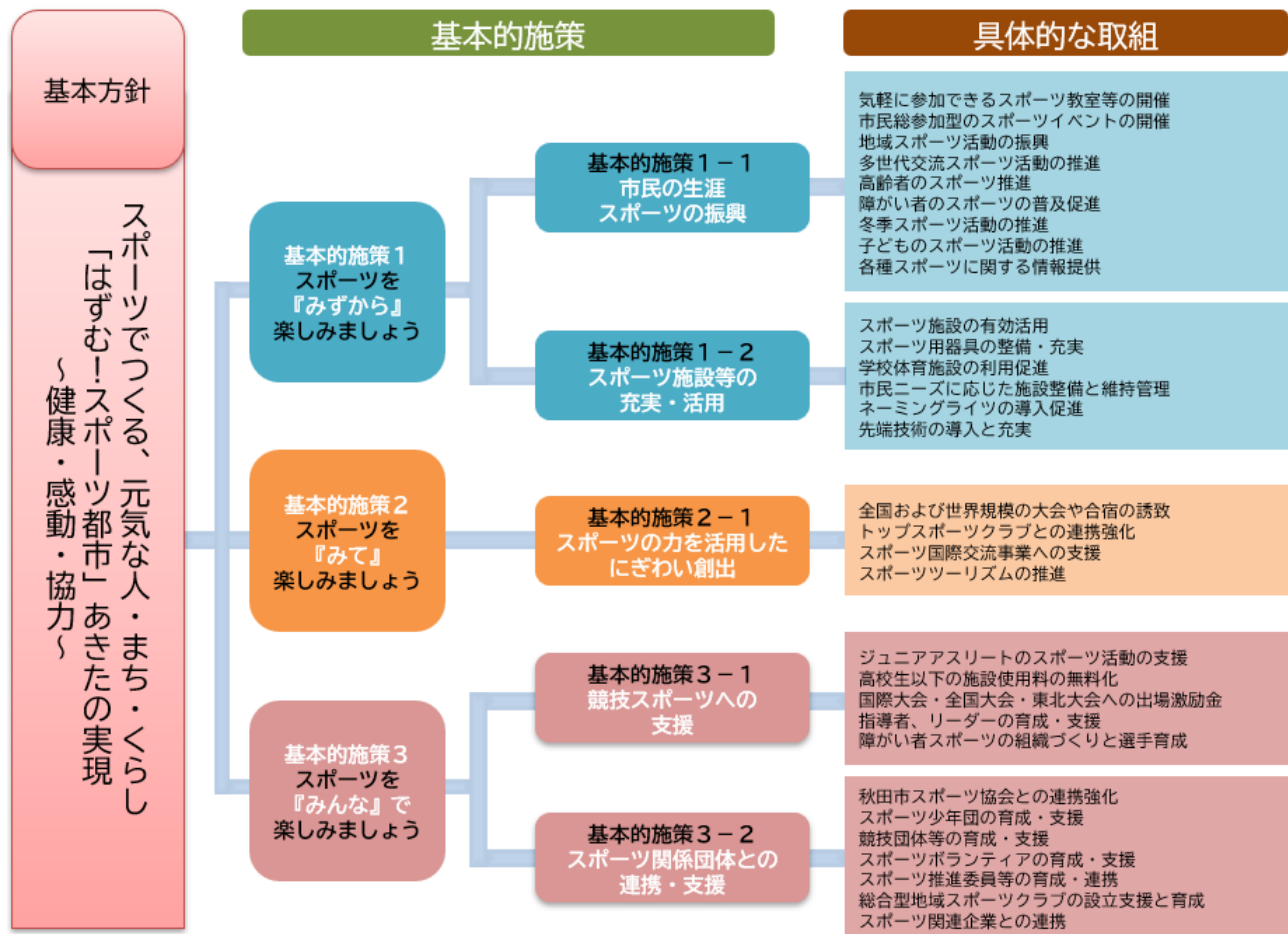
熊対策や交通・駐車環境の改善を前提に、身近で通年利用できる運動施設の整備、無料・託児付き教室や送迎支援の拡充、指導者の質向上とハラスメント防止、地域間の連携強化、オンライン広報の一本化など幅広い意見が寄せられており、子どもから高齢者まで気軽にスポーツができる環境づくりが求められている。

IV これまでの取り組みと課題

秋田市では、令和4年3月に、スポーツ振興に関する基本計画として、第4次秋田市スポーツ振興マスタープランを策定し、スポーツを「みずから」楽しむ、「みて」楽しむ、「みんなで」楽しむ、の3つの基本施策のもと、スポーツで作る、元気な人・まち・くらし「はずむ！スポーツ都市」の実現に向け、各種スポーツ施策に取り組んできた。

ここでは、マスタープランの基本的施策にそってアンケート調査結果を整理し、現在の状況や成果を確認し、課題について整理する。

【第4次秋田市スポーツ振興マスタープランの施策体系】



(1) スポーツを『みずから』楽しむことができるか

アンケート調査結果より

運動やスポーツをすることが“好き”と答えた人の割合は69.4%と、前回調査(70.5%)から1.1ポイント低下したものの6割台後半と高く【問9】、また、この1年間に何らかの運動やスポーツをやった人が60.1%と前回調査(58.9%)から1.2ポイントと上昇して6割台となっている【問11】ことから、運動やスポーツを好む人や実践している人が多い状況が維持されていることがうかがえる。

一方、この1年間に運動やスポーツをおこなっていない人(38.3%)の調査結果を見ると、運動やスポーツをやらなかった理由では、「機会がないから」(39.3%)の割合が突出して高く、2位以下の「時間がないから」(25.9%)、「年をとっているから」(20.7%)を大きく上回っている【問16】。また、条件などが整えば今後運動やスポーツをやってみたい人の割合は46.8%と4割台となり、これは前回調査(51.0%)から4.2ポイント下降している【問17】。

また、施設に関しては、「屋内多目的運動場」や「トレーニング室」の不足感が高い【問20】ほか、「気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設」や「交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設」【問22】へのニーズが高くなっている。

今後に向けて

運動やスポーツを「みずから」楽しむ人を増やすためには、運動をしていない人のうち、条件が整えば実施したいと考えている層が行動に移れる環境づくりが重要である。特に理由として多い「機会がない」「時間がない」といった課題を解消するため、短時間で参加しやすいプログラムの設定や、利用しやすい時間帯での機会提供、その情報発信の強化などの取り組みが求められる。

また、既に運動やスポーツをしている人の満足度向上のためには、施設に関するニーズを踏まえた環境整備が効果的である。屋内多目的運動場の充実に加え、市民が気軽に利用できるよう、老朽化への対応や交通アクセスの改善など、利用者の利便性を高めることが必要である。

(2) スポーツを『みて』楽しむことができるか

アンケート調査結果より

運動やスポーツを観ることが“好き”と答えた人の割合は84.1%と、前回調査(80.3%)から3.8ポイント上昇し、引き続き8割台と高くなっている。【問10】。一方、この1年間にトップスポーツの試合を会場で観戦したことがある人の割合は16.6%と前回調査(13.4%)に比べて3.2ポイント上昇したものの引き続き1割台と低く【問39】、運動やスポーツを観ることを好む人は多いながらも、会場に足を運んでトップスポーツを観る人は少ないといえる。

また、この1年間にトップスポーツクラブの試合を会場に行って観戦したことがない人(81.1%)の観戦しなかった理由をみると、「テレビなどで観戦するから」(39.6%)が3割台と、会場に足を運ばずとも別の方法でスポーツ観戦を楽しんでいるという意見も一定数みられたものの、「仕事や家事、学業が忙しいから」(30.8%)、「好きなチームや選手がないから」(23.7%)といった理由についても回答割合が高くなっている【問39】。

今後に向けて

運動やスポーツを「観る」ことを好む人は8割を超えている一方、会場で観戦する人は依然1割台にとどまっている。観戦しなかった理由としては、テレビなどでの観戦や忙しさ、好きなチーム・選手がないことなどが挙げられる。これらを踏まえると、会場観戦ならではの魅力を高める工夫や、チーム・選手の魅力を市民へ伝える取り組みを継続することが重要である。

また、テレビや配信での観戦を楽しむ層に向けて、オンラインでも会場の一体感を感じられる仕掛けを充実させ、満足度向上を図る必要がある。加えて、スタジアム観戦ならではの臨場感や楽しさを積極的に発信することで来場の動機づけを高め、スポーツを「みて」楽しむ交流人口の拡大につなげることが期待される。

(3) スポーツを『みんなで』楽しむことができているか

アンケート調査結果より

過去1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動を行ったことがある人は3.6%と1割未満の極めて低い割合にとどまっており、この割合は前回調査(4.5%)から0.9ポイント低下している

【問35】。参加したボランティアの内容では、「その他の大会・イベントの手伝い」(35.6%)が第1位、「団体・クラブ運営の手伝い」(28.9%)が第2位(同率あり)と、高い専門性を必要としない内容が高くなっている。また、ボランティア活動を行ったことがない人のうち、機会があれば行いたいと思っている人の割合は7.8%と、前回調査(12.6%)から4.8ポイント低下している【問35】。

地域におけるスポーツ振興の推進を担うスポーツ推進委員については、配置していることを知っていた人の割合は9.3%と1割台にとどまり、また、この割合は前回調査(10.9%)から1.6ポイント低下している【問44】ことから、認知度は低いといえる。一方で、スポーツ推進委員にどのような活動をしてほしいかについては「教室・大会・イベントなどの催しについて」(38.0%)や「情報発信について」(37.0%)に関するニーズが高くなっている【問46】。

スポーツ振興に関する意見や要望については、「未就学児・小学生のスポーツについて」が69件と最も多く、指導者の確保や指導者の質の向上を求める意見が目立った【問50】。

今後に向けて

過去1年間にスポーツボランティアへ参加した人は3.6%と1割未満にとどまり、前回からも減少している。参加内容では大会やイベントの手伝い、クラブ運営補助といった専門性を必要としない活動が多いが、全体として参加者はごく一部に限られる。さらに、機会があれば参加したいと考える人の割合も低下しており、今後の大幅な増加は見込みにくい。一方で、スポーツを支える楽しさを感じられるよう、未経験者でも気軽に参加できるメニューや機会の整備が重要となる。

また、地域のスポーツ振興を担うスポーツ推進委員の認知度は9.3%と低いものの、その役割への期待は高い。市民が求める活動としては、教室や大会・イベントの開催、情報発信が上位に挙げられることから、これらの場面で積極的に活動を行い、認知度を高めていくことが、地域スポーツの振興につながると考えられる。

指導者の確保や指導者の資質向上を求める声も多くあり、広く市民がスポーツに親しむためには、スポーツを教える側に対する取り組みも必要と考える。

資料

自由記述意見

本調査におけるその他回答および自由記述回答は
別冊「その他回答および自由記述集」に掲載する

秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査票

秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査票

※本調査の設問に「この1年間」という表記がありますが、「この1年間」は、令和6年4月から現在までの期間とします。

1 あなたご自身についてお伺いします。

問1 あなたのお住まいの地区（小学校区）（当てはまる番号1つに○）

- | | | | | | |
|---------|---------|------------|---------|----------|---------|
| 1. 保戸野 | 2. 明德 | 3. 築山 | 4. 旭北 | 5. 中通 | 6. 旭南 |
| 7. 牛島 | 8. 川尻 | 9. 旭川 | 10. 土崎 | 11. 港北 | 12. 土崎南 |
| 13. 高清水 | 14. 広面 | 15. 日新 | 16. 勝平 | 17. 外旭川 | 18. 飯島 |
| 19. 下新城 | 20. 浜田 | 21. 豊岩 | 22. 仁井田 | 23. 四ツ小屋 | 24. 上北手 |
| 25. 下浜 | 26. 金足西 | 27. 八橋 | 28. 東 | 29. 泉 | 30. 大住 |
| 31. 桜 | 32. 飯島南 | 33. 寺内 | 34. 御所野 | 35. 岩見三内 | 36. 河辺 |
| 37. 戸島 | 38. 雄和 | 39. その他（ ） | | | |

問2 あなたの年齢（令和7年10月1日現在の年齢をお聞かせください。）（当てはまる番号1つに○）

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

問3 あなたの性別（当てはまる番号1つに○）

1. 男性 2. 女性 3. その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

問4 あなたの職業（当てはまる番号1つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 |
| 3. 農林水産業 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 公務員 | 6. 学生 |
| 7. 専業主婦・専業主夫 | 8. 無職（7を除く） |
| 9. その他（ ） | |

2 健康についてお伺いします。

問5 あなたは、ご自身の健康についてどのようにお考えですか？（当てはまる番号1つに○）

1. 健康である
2. まあまあ健康である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問6 次の各項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

項目	大いに感じる	ある程度感じる	あまり感じない	ほとんど感じない
(1) 肉体的な疲労	1	2	3	4
(2) 精神的な疲労・ストレス	1	2	3	4
(3) 体力のおとろえ	1	2	3	4
(4) 運動不足	1	2	3	4
(5) 体重や体脂肪率の増加	1	2	3	4

問7 あなたは、健康を保つために心がけていることはありますか？（主なもの3つまでに○）

1. 運動やスポーツをする
2. 睡眠・休養を十分とる
3. 規則正しい生活をする
4. 定期的に健康診断を受ける
5. 栄養や食事に気をつける
6. たばこ・酒などのしこう品をひかえる
7. 趣味や自己啓発活動など余暇を充実させる
8. 特に何もしていない
9. その他（ ）

問8 あなたの休日における1日の余暇時間（自由に使える活動時間）は通常どのくらいありますか？（当てはまる番号1つに○）

1. 8時間以上
2. 5～8時間
3. 3～5時間
4. 3時間以下

3 運動やスポーツについてお伺いします。

問9 あなたは、運動やスポーツをすることが好きですか？（当てはまる番号1つに○）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 好き | 2. どちらかといえば好き |
| 3. どちらかといえば嫌い | 4. 嫌い |

問10 あなたは、運動やスポーツを観ることが好きですか？（テレビやビデオなどの鑑賞を含みます。）
（当てはまる番号1つに○）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 好き | 2. どちらかといえば好き |
| 3. どちらかといえば嫌い | 4. 嫌い |

問11 あなたは、この1年間何らかの運動やスポーツをおこないましたか？
（どちらか当てはまる番号1つに○） ※15分間以上の運動（散歩やラジオ体操などを含む）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. はい ⇒ <u>問12へ</u> | 2. いいえ ⇒ <u>問16へ</u> |
|---------------------|----------------------|

<問12から問16は、問11で「1 はい」に○をつけた方に伺います。>

問12 あなたは、どのような目的、あるいは理由で運動やスポーツをおこなっていますか？
（主なもの3つまでに○）

- | | | |
|--------------|---------------|-------------------------------|
| 1. 楽しい、好き | 2. 運動不足の解消 | 3. 健康や体力の保持、増進 |
| 4. ストレス解消 | 5. 美容、肥満予防、減量 | 6. 人格形成、精神鍛錬 |
| 7. 友人、仲間との交流 | 8. 家族とのふれあい | 9. 町内会や職場のつきあい |
| 10. 試合、競技会参加 | 11. 競技技術の向上 | 12. その他（ ） |

問 13 あなたが、この1年間におこなった運動やスポーツについてお伺いします。

- (1) 実施した種目について、「スポーツ一覧」から選んで①種目番号・種目名に記入してください。
 (主なもの3つまで)
- (2) どのくらい実施したかについて、②おおよその実施回数1つに○をつけてください。
- (3) どこで実施したかについて、③主な実施場所1つに○をつけてください。

①種目番号・種目名		②おおよその実施回数						③主な実施場所					
種目番号	種目名	週に5日以上	週に3日以上	週に1日以上	月に1～2日程度	年に5～6日程度	年に1～2日程度	公共スポーツ施設	民間スポーツ施設	学校体育施設	職場体育施設	公園や道路など	その他
例	6 ジョギング	1	2	③	4	5	6	1	②	3	4	5	6
	18 水泳	1	②	3	4	5	6	①	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

「スポーツ一覧」

1 軽い体操（ラジオ体操など）	2 有酸素運動（エアロビなど）	3 器具を使ったトレーニング
4 ダンス（社交・フォーク）	5 散歩、ウォーキング	6 ランニング・ジョギング
7トラック&フィールド陸上競技	8 バレーボール	9 バasketボール
10 バドミントン	11 ハンドボール	12 卓球
13 テニス	14 ソフトボール	15 野球
16 ラグビー	17 サッカー（フットサル含む）	18 水泳
19 体操競技	20 ボクシング	21 レスリング
22 柔道	23 剣道	24 弓道
25 空手	26 ゴルフ	27 ボウリング
28 ゲートボール	29 アーチERY	30 スキー・スノーボード
31 アイススケート	32 釣り	33 カヌー・カヤック
34 乗馬	35 登山	36 ミニテニス
37 バウンドテニス	38 ファミリーバドミントン	39 ユニカール
40 グラウンドゴルフ	41 ターゲットバードゴルフ	42 ビームライフル
43 スポーツ吹矢	44 フロアカーリング	45 スラックライン
46 スケートボード	47 ポッチャ	48 その他（ ）

<問 18 は、問 17 で「1 してみたい」に○をつけた方に伺います。>

問 18 今後してみたい運動やスポーツについてお伺いします。

- (1) 今後してみたい種目について、4 ページの「スポーツ一覧」から選んで①種目番号・種目名に記入してください。(複数回答可)
- (2) どのくらい実施したいかについて、②おおよその実施回数1つに○をつけてください。
- (3) どんな場所で実施したかについて、③主な実施場所1つに○をつけてください。

①種目番号・種目名		②おおよその実施回数						③主な実施場所					
種目番号	種目名	週に5日以上	週に3日以上	週に1日以上	月に1〜2日程度	年に5〜6日程度	年に1〜2日程度	公共スポーツ施設	民間スポーツ施設	学校体育施設	臨場体育施設	公園や道路など	その他
例	6 ジョギング	1	2	③	4	5	6	1	②	3	4	5	6
	18 水泳	1	②	3	4	5	6	①	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

4 秋田市にあるスポーツ施設についてお伺いします。

問 19 あなたが運動やスポーツをするにあたって、施設や場所はどの程度確保(予約)できていますか？
(当てはまる番号1つに○)

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. いつも確保できる | 2. だいたい確保できる |
| 3. 確保できないことがある | 4. ほとんど確保できない |
| 5. 運動やスポーツをしていないのでわからない | |

問 20 あなたの身近な場所に、運動やスポーツを気軽に楽しめる施設がありますか？
(当てはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 十分にある ⇒ <u>問 22 へ</u> | 2. やや不足している ⇒ <u>問 21 へ</u> |
| 3. 不足している ⇒ <u>問 21 へ</u> | 4. わからない ⇒ <u>問 22 へ</u> |

<問 20 で「2 やや不足している」「3 不足している」に○をつけた方に伺います。>

問 21 あなたが不足していると思うスポーツ施設は何ですか？現在あるものも含めて、次の中からお選びください。(主なもの3つまでに○)

- | | | |
|----------------------|-------------------------------|----------------------|
| 1. 屋内多目的運動場 | 2. 屋外人工芝運動場 | 3. 体育館 |
| 4. トレーニング室（器具を使ったジム） | | 5. フィットネス室（体操用フローアー） |
| 6. テニスコート | 7. 野球場 | 8. 球技場（サッカー、ラグビーなど） |
| 9. 専用ジョギングコース | 10. 屋内温水プール | 11. 屋外プール |
| 12. 武道館 | 13. ゲートボール場 | 14. グラウンド・ゴルフ場 |
| 15. 公園内運動広場 | 16. アーバンスポーツ施設（BMX、スケートボードなど） | |
| 17. その他（ | | ） |

問 22 あなたは身近なスポーツ施設をつくるとしたら、どのような機能をもった施設を望みますか？(主なもの3つまでに○)

1. 気軽な遊びや健康づくりのための運動、スポーツができる施設
2. 競技スポーツの練習や大会ができる施設
3. 体育館に温水プールやトレーニング室などが併設されている施設
4. 運動やスポーツだけでなく、文化活動や地域集会などができる施設
5. 託児室など幼児が遊べるスペースがある施設
6. シャワー室や冷暖房などの設備が充実し、バリアフリーにも配慮した施設
7. Wi-Fi 機能などが整備されている施設
8. 食堂や売店が併設された施設
9. 交通の利便性がよく、十分な駐車スペースが整備されている施設
10. その他（

5 八橋運動公園の利用についてお伺いします。

問 23 あなたは八橋運動公園にどの程度訪れますか？（主なもの1つに〇）

1. 週1回以上 2. 月1回以上 3. 年に2～3回 4. ほとんど訪れることはない

問 24 1回あたりの滞在時間はどのくらいですか？（主なもの1つに〇）

1. 1時間未満 2. 1～2時間 3. 2～3時間 4. 3時間以上

問 25 八橋運動公園を何の目的で訪れますか？（主なもの3つまでに〇）

1. 散歩（ペットとの散歩も含む）・ジョギング 2. スポーツ施設の利用
3. ピクニック 4. 子どもの遊び場 5. アマチュアスポーツ観戦 } ⇒ 問 27 へ
6. プロスポーツ観戦 ⇒ 問 26 へ
7. その他（ ） ⇒ 問 27 へ

<問 26 は、問 25 で「6 プロスポーツ観戦」に〇をつけた方に伺います。>

問 26 試合観戦前後の飲食はどのようにしていますか？

●試合前（主なもの1つに〇）

1. キッチンカー 2. 自身で持ち込み 3. 周辺の飲食店 4. 飲食しない

●試合後（主なもの1つに〇）

1. キッチンカー 2. 自身で持ち込み 3. 周辺の飲食店 4. 飲食しない

問 27 八橋運動公園にはどのような交通手段で来られますか？（主なもの1つに〇）

1. 自家用車（自分で運転） 2. 自家用車（家族などが運転する車に同乗）
3. 鉄道・バス 4. タクシー
5. 徒歩・自転車 6. その他（ ）

問 28 現在の八橋運動公園に追加や充実させてほしい機能などがありますか？

（主なもの3つまでに〇）

1. 遊具 2. ベンチ 3. あずまや 4. 駐車場
5. 屋外トイレ 6. 売店 7. 飲食スペース 8. 案内板・サイン
9. 水飲み場 10. その他（ ）

6 秋田市や各地域・町内会・PTAなどが主催するスポーツ・レクリエーション行事についてお伺いします。

問 29 あなたは、この1年間に秋田市、各地域、町内会およびPTAなどが開催した運動やスポーツ・レクリエーションを目的とした行事に参加したことがありますか？（当てはまる番号1つに○）

1. ある（参加した行事： _____） ⇒ 問 32 へ
2. ない ⇒ 問 30 へ

<問 30・問 31 は、問 29 で「2 ない」に○をつけた方に伺います。>

問 30 参加しなかった（できなかった）理由は何ですか？（主なもの3つまでに○）

1. そのような行事を知らなかった
2. 日程や時間が合わなかった
3. 内容がつまらなかった
4. 希望する種目（プログラム）がなかった
5. 参加費が高かった
6. スポーツが嫌い、興味がない
7. 地域（近隣）との交流が希薄である
8. その他（ _____ ）

問 31 今後、秋田市や各地域等でスポーツ行事が開催される場合どのような行事に参加したいと思いますか？（主なもの3つまでに○）

1. レクリエーション的行事（運動会やニュースポーツ大会、ファミリースポーツ大会など）
2. 野外活動的行事（ハイキング、キャンプ、サイクリングなど）
3. 健康づくり的行事（ウォーキング、ジョギング、ランニングなど）
4. 競技会的行事（一般市民が参加できる種目別スポーツ大会など）
5. 体力テスト
6. スポーツ教室、スポーツ講習会
7. 指導者講習会、審判講習会などの研修
8. わからない（参加はしない）
9. その他（ _____ ）

7 スポーツクラブや同好会などについてお伺いします。

問 32 あなたは、スポーツクラブや同好会、サークルに加入（参加）していますか？（当てはまる番号1つに○）

1. 加入している ⇒ 問 33 へ
2. 加入していない ⇒ 問 34 へ

問 33 問 32 で「1 加入している」に○をつけた方に伺います。加入しているクラブや同好会、サークルは次のどれですか？（当てはまる番号すべてに○）

1. 職場のクラブや同好会
2. 大学、専門学校のクラブや同好会
3. 地域の仲間をつくるクラブや同好会
4. PTAなどの学校関係のクラブや同好会
5. 民間スポーツクラブなどが開設している会員制のクラブ
6. 学校時代の仲間をつくるクラブや同好会
7. 総合型地域スポーツクラブ
8. 広く同好者（1～7以外の趣味の仲間）をつくるクラブや同好会
9. その他（ _____ ）

⇒ 問 33 をお答えになった方は問 35 へ

12 今後の本市のスポーツ振興施策についてお伺いします。

問 47 今後、スポーツを活用し、本市を訪れる交流人口の増加や地域のにぎわい創出を図るためには何が必要だと思いますか？（主なもの5つまでに○）

1. 市民が参加できるスポーツ大会や行事の開催
2. スポーツ全般（施設、グループ、指導者、行事など）の情報提供
3. 選手の競技力向上
4. 有名選手や指導者の講演会やスポーツ教室の開催
5. スポーツクラブの育成
6. スポーツ指導者の育成
7. スポーツボランティアの育成
8. 地区スポーツ協会の活動支援
9. 全国・国際レベルのスポーツ大会や合宿の誘致
10. プロスポーツや企業スポーツへの支援
11. スポーツをきっかけとした地域間や国際間の交流
12. 気軽に利用できるスポーツ施設などの拡充
13. 学校体育施設の利用促進
14. スポーツ施設の予約方法の改善など利用しやすい施設運営
15. 公園や緑地などでスポーツが楽しめる環境の整備
16. 国際大会や全国大会規模の大会を開催できるスタジアム（競技場）の建設
17. 国際大会や全国大会規模の大会を開催できるアリーナ（体育館）の建設
18. その他（ ）

問 48 多くの市民が気軽に参加でき、地域の活性化につながるものとして、具体的にどのようなイベントや大会などがあればいいと思いますか？（自由記述）

（記入例1：様々な民間企業等の有料スポーツ教室が無料で体験できるようなイベント。）

（記入例2：地元の特産品や観光名所を走ることができる公認マラソン大会の開催。）

（記入例3：歩数計アプリなどを利用して、歩数に応じて特典が受けられるような取り組み。）

[]

問 49 近年、全国的に20代～50代の「働き盛り世代」のスポーツ実施率が低い傾向にあります。あなたは、「働き盛り世代」のスポーツ実施率を高めるためには何が必要だと思いますか？（主なもの3つまでに○）

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. パソコンなどを活用した自宅で出来るスポーツ教室 | 2. スポーツイベントなどの定期的な開催 |
| 3. 無料のスポーツ教室の開催 | 4. ウォーキングなどができる環境の整備 |
| 5. 様々な運動ができる施設の整備 | 6. 託児所付きの施設整備 |
| 7. 運動をして特典などがもらえる仕組み作り | 8. マッチングシステム [*] の開発 |
| 9. その他（ ） | |
- ※おこないたい運動に合わせて、サークルや実施可能な場所を紹介するもの

問 50 秋田市におけるスポーツ振興に関するご意見、ご要望などがございましたら、番号を選択のうえ、お書きください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 未就学児・小学生のスポーツについて | 2. 中学生のスポーツについて |
| 3. 高校生のスポーツについて | 4. 大学生のスポーツについて |
| 5. 社会人のスポーツについて | 6. 高齢者のスポーツについて |
| 7. パラスポーツについて | 8. プロスポーツについて |
| 9. 八橋運動公園について | 10. スポーツ施設について |
| 11. その他() | |

番号	ご意見・要望など

質問は以上となります。ご協力ありがとうございました。
同封の封筒に入れ(切手不要) 11月25日(火)までにご投函ください。

令和7年度 秋田市スポーツ振興に関する市民意識調査 調査報告書

発行日	令和8年3月
発行・企画	秋田市観光文化スポーツ部 スポーツ振興課 〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号 電話：018-888-5611 FAX：018-888-5612
編集	株式会社 東京商工リサーチ
